

令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）

（ A 2 ― A 3 71% 縮小版 ）

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

図 面 リ ス ト									
E－01	工事概要 図面リスト 改修仕上表	E－18-1	コンセント設備 1階平面図（改修前）	E－29-2	自動火災報知設備 越屋根平面図（改修後）				
E－02	電気設備特記仕様書 共通事項・仮設工事（1）	E－18-2	コンセント設備 1階平面図（改修後）	E－30	屋外便所 電灯設備（改修前・改修後）				
E－03	電気設備特記仕様書（電気・改修）（2）	E－19-1	コンセント設備 2階平面図（改修前）	E－31	外灯配置図（改修後）				
E－04	配置図（改修後）	E－19-2	コンセント設備 2階平面図（改修後）	E－32	屋外照明器具姿図・分電盤結線図（改修後）				
E－05	既設受変電設備（改修前）	E－20-1	コンセント設備 越屋根平面図（改修前）	E－33	グラウンド照明柱（改修前・改修後）				
E－06	受変電設備（改修後）	E－20-2	コンセント設備 越屋根平面図（改修後）	E－34	テニスコート照明柱（改修前・改修後）				
E－07	分電盤結線図（1）（改修後）	E－21	拡声設備系統図（改修後）	E－35	照度分布図（改修後）（参考図）				
E－08	分電盤結線図（2）（改修後）	E－22	放送機器姿図（改修後）	K－01	概略工事工程表				
E－09	発電機設備（改修後）	E－23	放送機器・弱電機器姿図（改修後）						
E－10	照明器具姿図（改修後）	E－24-1	弱電設備 1階平面図（改修前）						
E－11-1	電灯設備 1階平面図（改修前）	E－24-2	弱電設備 1階平面図（改修後）						
E－11-2	電灯設備 1階平面図（改修後）	E－25-1	弱電設備 2階平面図（改修前）						
E－12-1	電灯設備 2階平面図（改修前）	E－25-2	弱電設備 2階平面図（改修後）						
E－12-2	電灯設備 2階平面図（改修後）	E－26	自動火災報知設備系統図（改修後）						
E－13-1	電灯設備 越屋根平面図（改修前）	E－27-1	自動火災報知設備 1階平面図（改修前）						
E－13-2	電灯設備 越屋根平面図（改修後）	E－27-2	自動火災報知設備 1階平面図（改修後）						
E－14	電灯設備（誘導灯）1階平面図（改修後）	E－28-1	自動火災報知設備 2階平面図（改修前）（1）						
E－15	電灯設備（誘導灯）2階平面図（改修後）	E－28-2	自動火災報知設備 2階平面図（改修前）（2）						
E－16	幹線・動力設備 1階平面図（改修後）	E－28-3	自動火災報知設備 2階平面図（改修後）						
E－17	幹線・動力設備 2階平面図（改修後）	E－29-1	自動火災報知設備 越屋根平面図（改修前）						

工事概要			
１．工事場所		三重県志摩市磯部町恵利原　５５７－１	
２．改修建物		磯部ふれあい公園　体育館　屋外便所	
３．改修内容			
A １	電灯設備	A 14	グラウンド照明設備改修
A ２	動力設備	A 15	テニスコート照明設備改修
A ３	受変電設備	A 16	屋外照明改修
A ４	発電設備		
A ５	構内情報通信網設備		
A ６	構内交換設備		
A ７	情報表示設備		
A ８	拡声設備		
A ９	誘導支援設備		
A 10	テレビ共同受信設備		
A 11	火災報知設備		
A 12	構内配電線路		
A 13	屋外便所電灯設備		

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和 4 年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）			E — 01
				工事概要 図面リスト	A2：N・S A3：N・S	

特記仕様書： 共通事項・仮設工事		章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」による。(以下「標準仕様書」という。) (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 (3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。 (4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査（同法第7条の3の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項の中で選択する事項（・印の付いたもの）は、○印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 南海トラフ地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）によって処理されたものとする。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。		①	共通事項	・別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ○建築設備 ○有 ○手作業 ・屋根ふき材 ・有 ・手作業 ・外装材・上部構造部分 ・有 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・その他 ・有 ・手作業 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・別表2 建築物に係る新築工事等（・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ・造成等 ・有 ・手作業 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・外装材、上部構造部分 ・有 ・手作業 ・屋根 ・有 ・手作業 ・建築設備、内装等 ・有 ・手作業 ・その他 ・有 ・手作業 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・別表3 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等（・外構 ・工作物等） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工 程 作業内容 分別・解体の方法 ・仮設 ・有 ・手作業 ・土工 ・有 ・手作業 ・基礎 ・有 ・手作業 ・本体構造 ・有 ・手作業 ・本体付属品 ・有 ・手作業 ・その他 ・有 ・手作業 () ・無 ・手作業と機械作業の併用 手作業・機械作業を併用する理由 建築設備の取り外し () 内装材料の取り外し () 屋根ふき材の取り外し () ⑦環境への配慮 化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1）から5）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難燃性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 5）1）、3）及び4）の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 該当する材料 規制対象外 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通省大臣認定品 ③次の表示のあるJ A S適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料 第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通省大臣認定品 ③旧J I SのE0品 ④旧J I SのF0品 1）本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。	①	共通事項	3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4）本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書等の写し等）を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5）製造業者等に関する資料等の提出を求める材料 ・有 ・無 ・() ・() ・() ・() 6）製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。 7）本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。 9 建設発生土の処理 [3.2.5] ・構外搬出適切処理 ・ ・処分地指定 処分地（ 未定別途協議 ） ・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km 10 建設汚泥の処理 本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」の策定について（国営計第36号 平成18年6月12日）、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について」（国営計第38号 平成18年6月12日）に基づき建設汚泥の再生利用を行う。 再生利用の種別 ・埋戻し及び盛土材として利用 再生処理方法 ・脱水処理 ・安定処理（セメント、石灰による改良処理） 要求品質 「建設汚泥処理土利用技術基準について（国営計第41号 平成18年6月12日）表－4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。 ・第3種処理土 測定室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、報告すること。 測定対象化学物質（●で示したものとする。） 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジクロロベンゼン 学校教育施設 ● ● ● ● ● ● 住宅 ● ● ● ● ● その他 ● ● ● ● ● 報告書提出部数 2 部 対象箇所（・図示 ・ ） 測定方法 ・バツシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 [1.7.1-1～3][表1.7.1] ・完成図（施工図、施工計画書を除く） ・新規に作成 ・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 完成図C A Dデータ（C D－R） ○保全に関する資料 提出 ・1部 ・ ○施工図（・ ・ ） 提出 ・原図及びその複写図1部 ・ ○施工計画書（・ ・ ） 提出 ・1部 ・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。 製作図等が原因として提出が出来ないものは、原図に変わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 ○設計G L＝B M±0 mm（現状地盤高は図示） 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 本工事の施工範囲 ○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ○図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。	①	共通事項	16) 工事写真 17) 完成写真 18) 事故報告 19) 養生その他 20) 消防提出書類 21) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 22) 官公署その他の届出手続及び検査 23) 総合図の作成 24) その他 ○関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監督職員に提出する。 ○関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監督職員と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監督職員に報告する。 ○bの検査の結果、不合格の箇所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行い、その結果を監督職員報告する。 ○cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。 ○総合図は、施工者が、発注者の直接発注工事を含めた工事の全体概要と相互関係を把握し、工種別施工図の適正化と効率化の為に活用することを目的とする。 工種別施工図に先行して作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○監督職員の指示により、建築工事施工者が元図（平面図、展開図、天井伏図等）を作成する。 設備その他の各関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整をおこなう。 ○施工に関する調整は施工者間で行い、設計図書の調整、発注者の直接発注工事、及び設計変更に関する調整は監督職員が行う。 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風速（Vo） ・30 ・32 ・34 ・36 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・積雪荷重 建設省告示 第1455号における区域 別表（ ） 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと ○アスベスト有無の事前調査結果を関係法令に基づき報告すること。 ○工事の着手については仮設ふれあい公園事務所が完成し、引越越し完了後とする。 ○外部の工事は原則 9月～12月の間に言い、1月以後、野球場・テニスコートが一般利用出来るようにすること。	①	共通事項	工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備（建設大臣官房官庁営繕部監修）を参考に撮影する。 提出部数 1 部 撮影箇所数 ・外観4面程度 本完成写真の著作権の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ・電子データ 1部 画素：長辺で2880P I X以上 記録方式：R G B（フルカラー）、J P E G最高画質 記録媒体：C D－R（ I S O） ○カラプリント（ 1 ）部 アルバム（大きさ335mm×290mm程度） ・無し ・有り 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。 ・消火器の設置層については、電気及び機械設備について設置層が不要な場合は、建築にて設置層を提出するものとする。 ・防火対象物使用開始層については書類作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。 ・現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの）期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ・検査終了後の期間 検査完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。） ・事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。 a 関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監督職員に提出する。 b 関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監督職員と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監督職員に報告する。 c bの検査の結果、不合格の箇所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行い、その結果を監督職員報告する。 d cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。 ○総合図は、施工者が、発注者の直接発注工事を含めた工事の全体概要と相互関係を把握し、工種別施工図の適正化と効率化の為に活用することを目的とする。 工種別施工図に先行して作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○監督職員の指示により、建築工事施工者が元図（平面図、展開図、天井伏図等）を作成する。 設備その他の各関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整をおこなう。 ○施工に関する調整は施工者間で行い、設計図書の調整、発注者の直接発注工事、及び設計変更に関する調整は監督職員が行う。 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風速（Vo） ・30 ・32 ・34 ・36 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・積雪荷重 建設省告示 第1455号における区域 別表（ ） 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと ○アスベスト有無の事前調査結果を関係法令に基づき報告すること。 ○工事の着手については仮設ふれあい公園事務所が完成し、引越越し完了後とする。 ○外部の工事は原則 9月～12月の間に言い、1月以後、野球場・テニスコートが一般利用出来るようにすること。
【特記事項】		西 沢 建 築 設 計 事 務 所			令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）			特記仕様書（1）		E — 02			
		一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦						共通事項・仮設工事					
								N/S					

令和4年度 磯部ふれあい公園 体育館大規模改修工事（電気設備工事）

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

三重県志摩市磯部町恵利原 557-1

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	国・延面積	建・延面積	消法令の適用	備 考
体育館	RC造 一部S造 2階建		2454.07	別表第一 (15) 項	
屋外便所	RC造 平屋		29.55	別表第一 (15) 項	

国: 国有財産法延面積 (㎡) 建: 建築基準法延面積 (㎡)

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)

工事項目	建物別及び屋外	工 事 種 別				
		体育館	屋外体育	アミッド照明	フット照明	屋外灯照明
○ 電灯設備		改設一式	改設一式	改設一式	改設一式	改設一式
○ 動力設備		改設一式				
・ 電気自動車用充電設備						
・ 電熱設備						
・ 雷保護設備						
○ 受変電設備		改設一式				
・ 電力貯蔵設備						
○ 発電設備		改設一式				
○ 構内情報通信網設備		改設一式				
○ 構内交換設備		改設一式				
○ 情報表示設備		改設一式				
・ 映像・音響設備						
○ 伝声設備		改設一式				
○ 排煙支援設備		改設一式				
○ テレビ共同受信設備		改設一式				
・ 監視カメラ設備						
・ 駐車場管制設備						
・ 防火・入退室管理設備						
○ 火災報知設備		改設一式				
・ 中央監視制御設備						
○ 構内配電線路		改設一式				
・ 構内通信線路						
・ テレビ電波障害防除設備						
・ 建築工事		別図による				
・ 機械設備工事		別図による				

4. 指定部分

对象部分

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印が付いたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。
- (3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する被害（臨時）が象徴から想定された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。上記事項が発生した場合は、契約書第26条（随時の措置）の規定による。

	項 目	特 記 事 項
● 1 — 設 事 項	① 環境への配慮	1)本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第109号)」に基づき、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 2)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、紙断材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスフェノールを発散しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスフェノールを発散しないが、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 3)設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分(第2種)とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	② 材料・機材の品質等	1)本工事に使用する機材等とは、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2)別表-1に機材名が記載された製造業者等は次の①から⑤すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。 ただし、次の①から⑤すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

③

足場その他

・

別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が設定したものは無償で使用できる。

・

本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編第2章2.2より足場の種別は以下による。

○

内脚足場

(

・

A種

○

B種

・

C種

・

D種

・

E種

)

○

外脚足場

(

・

A種

・

B種

・

C種

・

D種

・

E種

・

F種

・

G種

)

④

施工図等

工事が完成(指定部分に係わる完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原因及び描写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等と原因として提出できないものは、原因に代わるものとしてよい。

なお、施工図等の著作権に係る該当建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。

機器製作図

一式、

制御システム図

一式

試験成績書

一式、

機器・配管固定の施工図

一式

⑤

電源周波数

○

60Hz

○

50Hz

⑥

耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築物耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

1) 設計用水平地震力

機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次のとおり。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は2層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・

中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・

水槽類には燃料小出槽を含む。

・

重要機器とは次のものを示す。

○

配電盤

○

自家発電装置

・

直流電源装置

○

交流無停電電源装置

○

総合装置

・

自動火災報知受信機

○

中央監視制御装置

○

映像装置

・

放送案

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑦

他工又は他工種との取合い

図面に特記なき場合は、次表の「工事区分表」による。

「工事区分表」

他工又は他工種との取合い	補強	電気設備工事	機械設備工事	建築工事	土木工事
間	梁・床・壁・貫通部	スリブ・仮枠	○	○	
	増設分室・増設扉・プルボックス	補強	○	○	
口	経路経下地天井・壁・ボード間の切込	仮枠	○	○	
		増設有りの場合(増地共)	○	○	
部	床・デッキ・プレート	増設無しの場合	○	○	
		切込	○	○	
基礎等	既設開口仕切壁の位置ボックス及びその取付	○	○		
	屋上設置の設備機器の基礎			○	
	大型設備機器の基礎			○	
	防水層に影響する基礎			○	
	上記以外の機器の基礎	○			
階段、ファンポート	○				
配線ビッド及び敷			○		
自立型設置装置を付ける防火戸の切込・増設及び「防火戸2727」			○		
照明器具・幹線等の吊吊り用のインサート	○				
別添機器などへの接続(直接接続するもの)	○				
機器付属制御盤への配管配線(増地共)			○	○	
機器付属制御盤への電源供給の配管配線(増地共)			○	○	
機器付属制御盤への操作回路の配管配線			○	○	
天井吊り「H」及び全乾文型吊り具と操作スイッチとの接続配線			○	○	
感煙感知器から運動制御盤を経て防煙スイッチに至る配管配線			○	○	
小便器用尿水装置の制御盤からの配管配線			○	○	
自動扉及び電動シャッターなどの制御装置に至る配管配線			○	○	
防虫網			○		
天井点検口			○		
エレベータ制御盤までの動力・照明用電源、接地線、防突感知及び			○		
圧入設置(室内排気用)の配管配線工事			○		
エレベータ制御盤からエレベータ監視又は警報装置までの配管配線工事				○	
エレベータ停泊待機室用(電話回線)配管工事			○		
エレベータ緊急地震速報受信用配管工事			○		
エレベータ制御盤から外部センターホンまでの配管配線工事				○	
エレベータ制御盤からエレベータ監視カメラまでの配管配線工事				○	

⑧

発生材の処理等について

引渡しを要するもの以外は、機外搬出適切処理とする。

○

引渡しを要するもの

(

・

金属類

・

電線、ケーブル・ブーム

・

盤類

・

POB使用機器

)

○

特定管理産業廃棄物

(

・

一体化式感知器

・

蓄電池

)

○

再生資源化を図るもの

(

・

蛍光灯ツグ

・

白熱灯、H10灯

)

○

石綿含有品

(

・

)

⑨

特定建設資材の再資源化等

本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」(平成11年11月29日政令第495号)又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により異なる場合は、監督職員と協議するものとする。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等を受ける施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を電書に監督職員へ報告する。(電書は「建設副産物情報交換システム」で作成したものである)

①分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建設設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業、機械作業併用
・ 模様替		

②特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等を行う施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等を行う施設名称	所在地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ 737161、コンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る。))を受注者が提示した場合は、当該施設に届出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象となしない。

●

1

一

般

事

項

⑩

建設発生土の処理

○

構内敷きなし

・ 本工事は、建設発生土情報交換システム(以下「システム」という。)の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更が有った場合、速やかに当該システムでのデータ更新を行うものとする。
なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

11

室内空気中の化学物質の濃度測定

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。
なお、測定はパッチ型採取機器により行う。
測定時期
・ 工事終了時
測定対象室
・ 図示
測定箇所
・ 図示

12

天井仕上区分

△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

●

2

共通

事

項

①

電気工事事

-最大電力 500 kW 以上の場合、第一種電気工事士により施工を行う。
○最大電力 500 kW 未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。

②

機器姿図

姿図の形状及び寸法は、概略を示す。

3

呼び線

長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を導入する。

④

フラッシュレット

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。
○ 金属製(ステンレス、新金属も含む) 樹脂製

⑤

電線本数・管路等

分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径等は、監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

6

合成樹脂管配線

合成樹脂製可とう電線管(「P管」)及び付属品は、タイプ-25 のものを使用する。
なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。
ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。

⑦

薄鋼電線管

薄鋼電線管が表示されているものと同一外形の柱などに電線管を使用しても良い。

⑧

厚鋼電線管

厚鋼電線管は、図面に特記なき場合は溶融亜鉛メッキ(Z30)仕上げとする。

⑨

保護管

ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線及び合成樹脂管配線の項による。

10

最上階の埋め込み配管

最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。

⑪

地中配線の埋設深さ等

地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とし、標準シート(2倍長以上重合せ)幅150mmを設ける。
なお、埋設幅が0.6m以上の箇所は、標準シートを2列以上並列に設ける。

12

ハンドホールの蓋

ハンドホール等の鉄蓋は、鋼製流し込みで用途名を表示する。
構内配電線路の用途名 (・ 電力 ・)
構内通信線路の用途名 (・ 通信 ・)
共用する場合の用途名 (・ 電気 ・)

13

電力・電話の引き込み

電力及び電話引き込み線の引付方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金等の調査報告を監督職員に速やかに行う。

⑭

機器取付高さ

図面に特記なき場合は、次表の「機器標準取付高さ」による。

「機器標準取付高さ」			
名 称	測 点	取付高さ [mm]	備 考
電力・通信	経路計測	地上 ～ 1,800～2,000	計測方法 ・ 図面表示 ・ 現場表示
	引込開口部	地上 ～ 中心 1,800～2,200	
	分電盤	床上 ～ 中心 1,500 (上壁 900以下)	
	スイッチ	床上 ～ 中心 1,300	
	スイッチ(多目的機能)	床上 ～ 中心 1,100	
	スイッチ(自動型)	床上 ～ 中心 1,300	
	コール機(一般)	床上 ～ 中心 300	
	・ (和室)	床上 ～ 中心 150	
	・ (倉上)	台上 ～ 中心 150～200	
	・ (土間)	床上 ～ 中心 500	
灯	・ (外壁・屋外)	地上 ～ 中心 800	
	・ (一般)	地上 ～ 中心 2,100～2,300	
	・ (倉庫)	地上 ～ 中心 2,000～2,500	
	・ (路上)	路上端 ～ 中心 150	
	・ 壁掛け型	床上 ～ 中心 1,500 (上壁 900以下)	
	・ 力	床上 ～ 中心 1,500	
	・ 制御スイッチ	床上 ～ 中心 1,300	
	構内・外	・ 室内用分電盤	地上 ～ 下壁 300
		・ 安全保安装置	天井下 ～ 上壁 200
		・ 壁付電話機	床上 ～ 中心 1,300
・ 時計		地上 ～ 中心 1,500 (上壁 900以下)	
計	・ 手時計	床上 ～ 中心 天井高×0.8	
	・ 壁掛けスピーカー	地上 ～ 中心 天井高×0.8	
	・ 声	壁付アンテナホータ	
	・ 地上 ～ 中心 1,300		

⑮

接地極

図面に特記なき接地極は、次表の「接地極一覧表」による。

「接地極一覧表」			
接 地 の 種 類	記 号	接 地 極 抗 値	接 地 極 の 規格・数 量
・ 共同接地	EA-D	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ 共同接地	EA-C、D	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ A線	EA	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ B線	EB	Q 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ C線	EC	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ D線	ED	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は H=30、L=900) × 1
・ 電圧変動抑制用	EE、CE	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は H=30、L=900) × 1
○ 高圧避雷器	ELH	100 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ 文書保管用	EA	100 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ 通信用	EAt	100 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は H=40、L=1200 × 3 重 - 3 重
・ 通信用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は H=30、L=900) × 1
・ 電話引込口の保安用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は H=30、L=900) × 1
・ 測定用	EO	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は H=30、L=900) × 1
・ 構造体接地		Ω 以下	
・ 等電位接地		Ω 以下	

●

3

電力

受

電

機

1

照明制御

総合動作試験

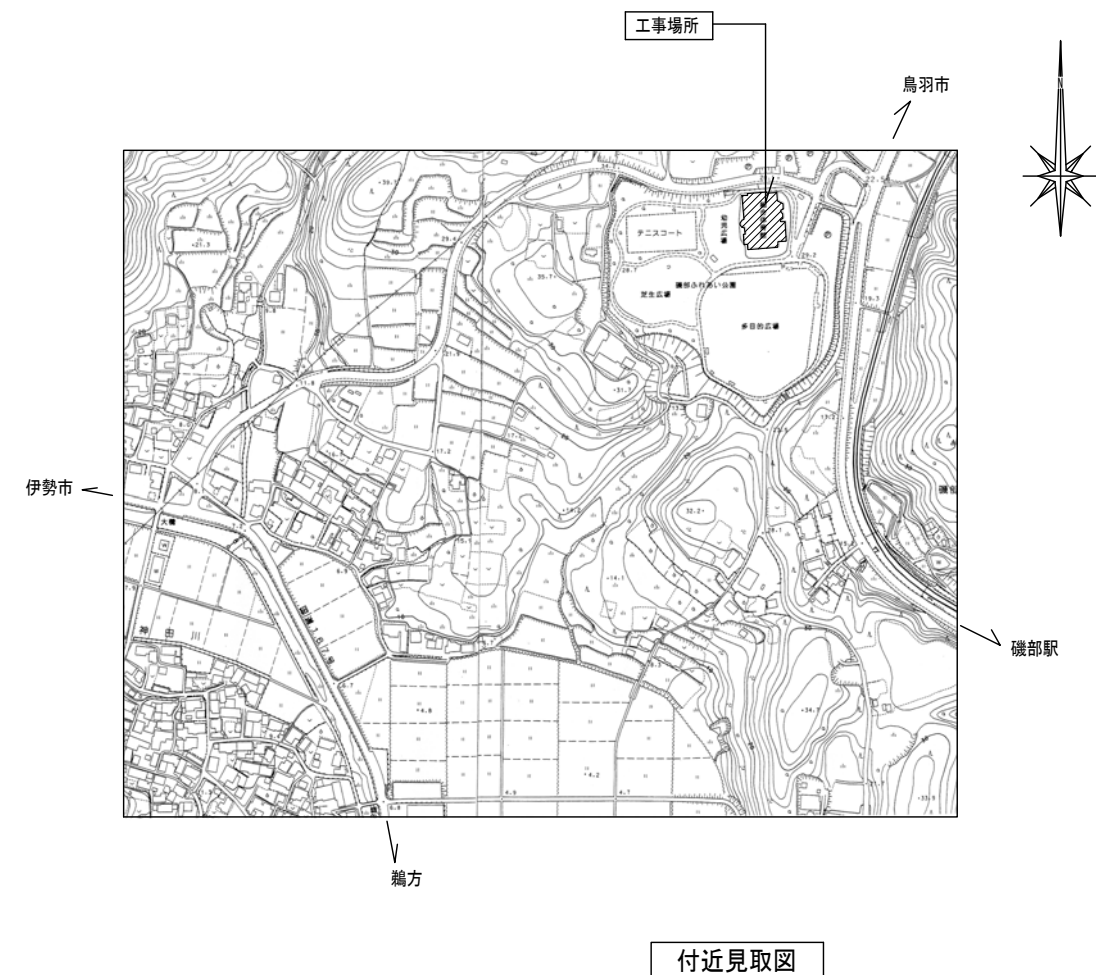
照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督職員に試験成績書を提出し、承諾を受ける。

- ・ 目標照度設定のための各観光センター(夜間及び日中)
- ・ 在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための観光人感センサー
- ・ タイムスケジュール制御における点滅及び観光制御の動作確認
- ・ 外光センサーによる点滅及び観光制御のための動作確認

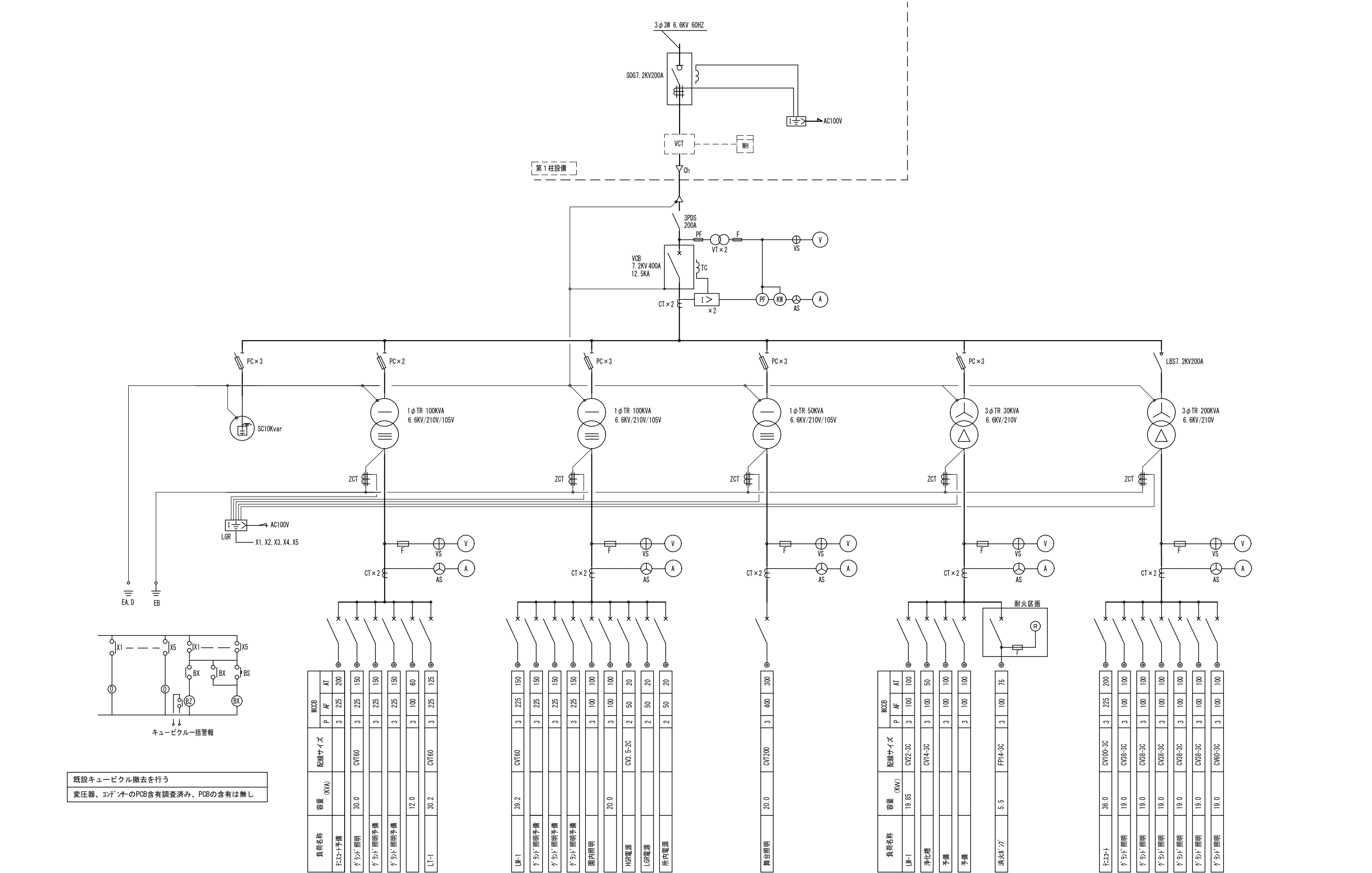
注)上記試験項目は全数確認とする。

[illegible]

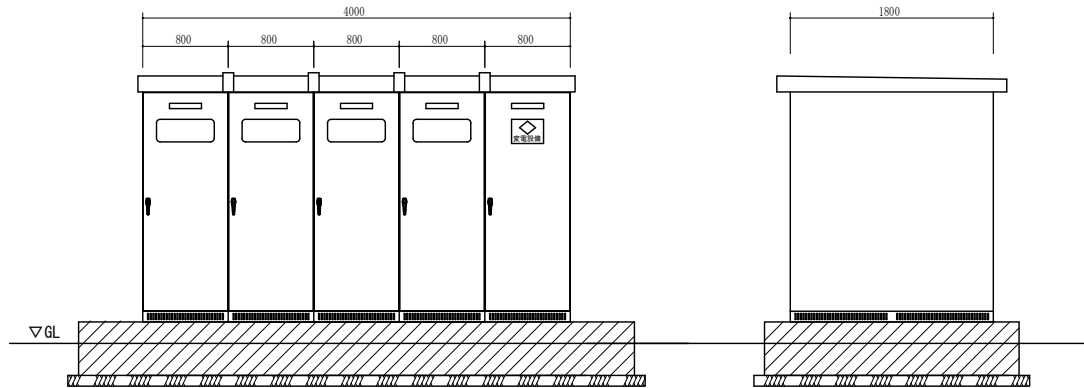
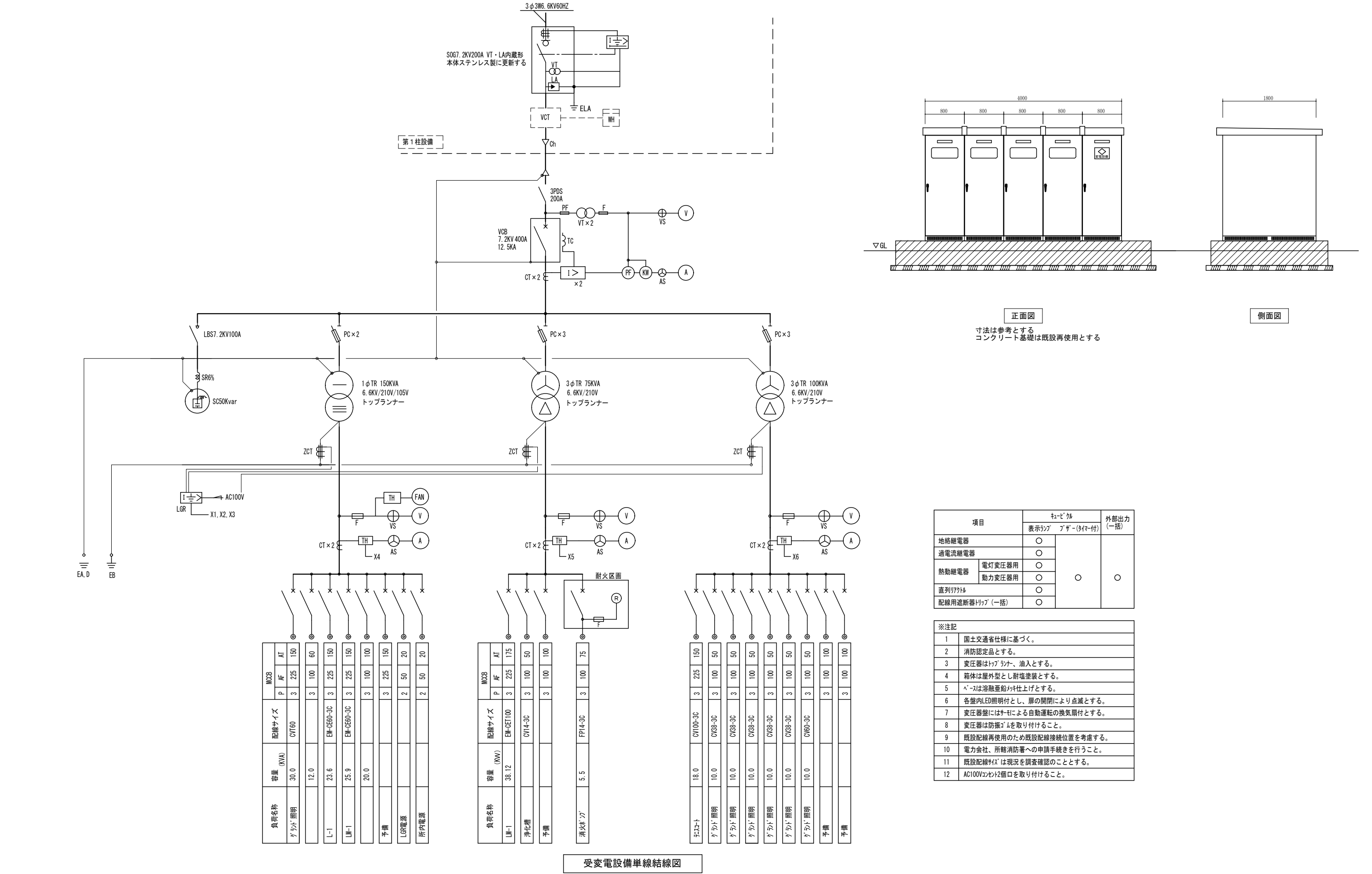
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）			E — 03
			特記仕様書（電気：改修）(2)	N/S	



面 積 表					(㎡)
	体育館	屋外便所棟	車庫棟 (改修工事範圈外)	合計	
敷地面積				50,000.00	
建築面積	2,185.53	29.55	16.65	2,231.70	
1階床面積	2,042.52	29.55	16.65	2,088.72	
2階床面積	386.89	—	—	386.89	
延床面積	2,429.41	29.55	16.65	2,475.61	



既設キュービクル単線結線図 屋外型 6面体



正面図

寸法は参考とする
コンクリート基礎は既設再使用とする

側面図

項目	仕様		外部出力 (一括)
	表示	リレー(タイマー付)	
地絡継電器	○	○	○
過電流継電器	○		
熱動継電器	電灯変圧器用		
	動力変圧器用		
直列リレー	○		
配線用遮断器トリップ(一括)	○		

※注記	
1	国土交通省仕様に基づく。
2	消防認定品とする。
3	変圧器はトランス、油入とする。
4	箱体は屋外型とし耐塩塗装とする。
5	ベースは溶融亜鉛メッキ仕上げる。
6	各盤内LED照明付とし、扉の開閉により点滅とする。
7	変圧器盤にはサージによる自動運転の換気扇付とする。
8	変圧器は防振ゴムを取り付けること。
9	既設配線再使用のため既設配線接続位置を考慮する。
10	電力会社、所轄消防署への申請手続きを行うこと。
11	既設配線サイズは現況を調査確認のこととする。
12	AC100Vコンセント2個口を取り付けること。

受変電設備単線結線図

[illegible]

凡 例	
記 号	名 称
	電灯分電盤
	動力分電盤
	警報盤
	手元開閉器
	LED灯 ベースライト
	LED灯 高天井器具
	LED灯 ブラケット
	LED灯 ダウンライト
	LED灯 屋外灯
	誘導灯 LED灯
	換気扇 機械設備工事
● AS	自動点滅器 3A プラグイン式
● ●3	埋込スイッチ 片切 3路 ネームカード付
● L	パイロットスイッチ 片切 ネームカード付
	リモコンセレクトースイッチ 多重伝送式
⊖ ⊖2	埋込コンセント 2P15A 1ヶ 2ヶ
⊖ ET ⊖2ET	埋込コンセント 2P15A 1ヶ 2ヶ 接地端子付
⊖ EWP	埋込コンセント 防水型 2P15A 1ヶ 接地端子付
⊖ 2	フロア-コンセント 2P15A 2ヶ
⊖	埋込コンセント T型 20A兼用A 接地端子付
	端子盤
	電話受口 ノズルプレート
	電話受口 フロア- ローション
	情報用受口 Cat6モジュラジャック
	放送アンプ
	天井埋込型-カー
	天井埋込型-カー ATT付
	壁掛型型-カー ATT付
	トランベツト型-カー
	アンテナ
	ワイヤレスアンテナ
⊖ ⊖R	直列ユニット 中間 端末
⊖ ⊖	インターン 親機 子機
	トイレ呼出表示装置
	廊下灯
	トイレ呼出押しボタン
	復旧ボタン
	貫通補修を示す
□ CB	1種金属線び コーキングス
□	ジャンクションボックス
	プルボックス
	接地工事
	ハンドヘル
⊖	引掛埋込コンセント 接地2P20A

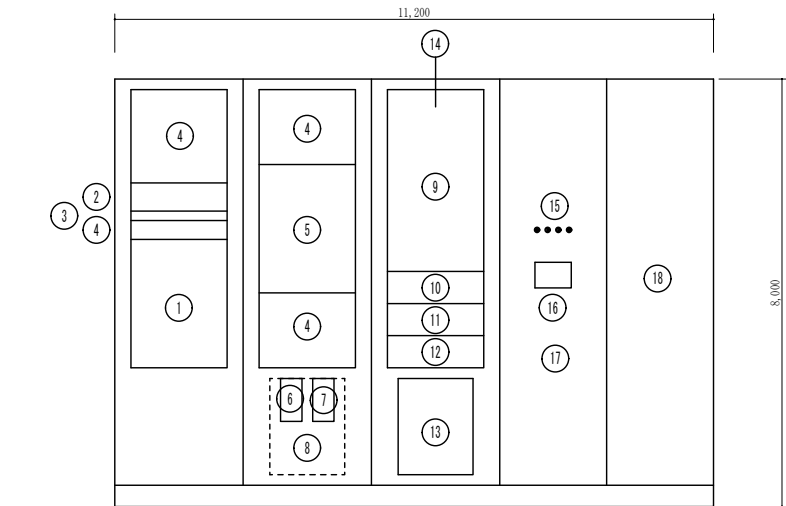
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）			E — 07
			分電盤結線図(1)改修後	A2 : N・S A3 : N・S	

電 灯 分 電 盤 リ ス ト

協約型1Pモジュールサイズ、2P型とする

盤 名 称	盤 結 線 図	回 路 番 号	電 圧 (V)	分 岐 種 類	開 閉 器 P AF AT	負 荷 容 量 (VA)	負 荷 名 称	備 考	
L-1 内器のみ 520×1860程度		(誘導)	100	MCCB	2 50 20	84.3	誘導灯		
		(火警)	100	MCCB	2 50 20	200	自動火災報知設備		
		(非放)	100	MCCB	2 50 20	200	非常放送設備		
		(誘信)	100	MCCB	2 50 20	160	誘導灯信号装置		
1φ3W 105/210V		(総合)	100	MCCB	2 50 20	200	総合盤内 電話・情報等		
		(総合)	100	MCCB	2 50 20	200	総合盤内テレビ、インターン等		
		(1)	100	ELCB	2 50 20	544.6	管理室等 照明		
		(2)	100	MCCB	2 50 20	700	ミーティングルーム 照明		
		(3)	100	MCCB	2 50 20	333.5	廊下 照明		
		(4)	100	MCCB	2 50 20	607	トレーニング室 照明		
		(5)	100	MCCB	2 50 20	796	トレーニング室 照明		
		(6)	100	MCCB	2 50 20	467.5	玄関ホール 照明	R-RY×2 RA,B	
		(7)	100	ELCB	2 50 20	63.8	玄関ホール 照明	R-RY×2 RC,D	
		(8)	100	MCCB	2 50 20	388.5	玄関ホール 照明	R-RY×2 RE,F	
		(9)	100	MCCB	2 50 20	388.5	玄関ホール 照明	R-RY×2 RG,H	
		(10)	100	ELCB	2 50 20	512	アリナ換気扇	R-RY×1 RI	
		(11)	100	MCCB	2 50 30	2000	屋外便所 照明		
		(12)	100	MCCB	2 50 20	100	リモコンタス		
							伝送ユニット×1		
							リレー制御用T/U×3		
							リモコンリレー1P×10		
		(1)	200	ELCB	2 50 20	1200	屋外灯	Mg+OS+24Hタイマー 停電補償付	
		(1)	100	MCCB	2 50 20	400	管理室 コンセント		
		(2)	100	MCCB	2 50 20	1000	管理室 コンセント		
		(3)	100	MCCB	2 50 20	200	管理室 コンセント		
		(4)	100	ELCB	2 50 20	1000	湯沸 コンセント		
		(5)	100	ELCB	2 50 20	1500	湯沸 IH コンセント		
		(6)	100	ELCB	2 50 20	1200	湯沸 温水器 コンセント		
		(7)	100	ELCB	2 50 20	800	管理室 コンセント		
		(8)	100	MCCB	2 50 20	400	端子盤 コンセント		
		(9)	100	MCCB	2 50 20	300	廊下 コンセント		
		(10)	100	ELCB	2 50 20	1000	自動販売機 コンセント		
		(11)	100	ELCB	2 50 20	1500	自動販売機 コンセント		
		(12)	100	ELCB	2 50 20	500	自動ドア	R-RY×1 RJ	
		(13)	100	ELCB	2 50 20	700	ロビー コンセント		
		(14)	100	ELCB	2 50 20	50	洗面器 コンセント		
		(15)	100	MCCB	2 50 20	800	トレーニング室 コンセント		
		(16)	100	MCCB	2 50 20	1000	トレーニング室 コンセント		
		(17)	100	MCCB	2 50 20	700	2階 コンセント		
		(18)	100	MCCB	2 50 20	500	2階 コンセント		
		(19)	100	MCCB	2 50 20	900	ミーティングルーム コンセント		
		予備	100	MCCB	2 50 20				
		予備	100	MCCB	2 50 20				
		予備	100	ELCB	2 50 20				
		予備	100	ELCB	2 50 20				

電 灯 分 電 盤 リ ス ト							協約型1Pモジュールサイズ、2P型とする				
盤 名 称	盤 結 線 図	回 路 番 号	電 圧 (V)	分 岐 種 類 P	開 閉 器 AF	開 閉 器 AT	負 荷 容 量 (VA)	負 荷 名 称	備 考		
LM-1 動力盤と一体とする 1φ3W 105/210V 25917VA			105/210	MCCB	3	100	75	7512.6	L-2		
		①	200	ELCB	2	50	20	1376.1	アリーナ 照明	R-RY×2 R1.2	
		②	200	ELCB	2	50	20	625.5	アリーナ 照明	R-RY×1 R3	
		③	200	ELCB	2	50	20	1501.2	アリーナ 照明	R-RY×2 R4.5	
		④	200	ELCB	2	50	20	1500.8	アリーナ 照明	R-RY×2 R6.7	
		⑤	200	ELCB	2	50	20	1125.6	アリーナ 照明	R-RY×1 R8	
		⑥	200	ELCB	2	50	20	1500.8	アリーナ 照明	R-RY×2 R9.10	
		⑦									
		⑧									
		⑨									
		⑩									
		⑪	100	ELCB	2	50	20	284.3	倉庫3等		
		⑫	100	MCCB	2	50	20	382.8	多目的スペース	R-RY×1 R11	
		⑬	100	MCCB	2	50	20	207.3	倉庫2等		
		⑭	100	MCCB	2	50	20	100	リモコンラス		
		⑮							伝送ユニット×1		
		⑯							リレー制御用T/U×4		
		⑰							リモコンリールP×11		
		⑱							T/U付リレーユニット×4(ケラフック付 兼用)		
		⑲									
		⑳	①	200	ELCB	2	50	20	1500	トレーニング室 コンセント	
		\r\n㉑	②	200	ELCB	2	50	20	1500	トレーニング室 コンセント	
		\r\n㉒	③	200	ELCB	2	50	20	1500	トレーニング室 コンセント	
		\r\n㉓	予備	200	ELCB	2	50	20			
		\r\n㉔	①	100	MCCB	2	50	20	400	アリーナ コンセント	
		\r\n㉕	②	100	MCCB	2	50	20	400	アリーナ コンセント	
		\r\n㉖	③	100	MCCB	2	50	20	200	倉庫3 コンセント	
		\r\n㉗	④	100	ELCB	2	50	20	900	電動カーテン コンセント	
		\r\n㉘	⑤	100	ELCB	2	50	20	1100	電動カーテン コンセント	
		\r\n㉙	⑥	100	ELCB	2	50	20	600	電動カーテン コンセント	
\r\n㉚	⑦	100	MCCB	2	50	20	500	機械室等 コンセント			
\r\n㉛	⑧	100	MCCB	2	50	20	500	多目的スペース コンセント			
\r\n㉜	⑨	100	MCCB	2	50	20	700	倉庫2等 コンセント			
\r\n㉝	予備	100	MCCB	2	50	20					
\r\n㉞	予備	100	MCCB	2	50	20					
\r\n㉟	予備	100	ELCB	2	50	20					
\r\n㊱	予備	100	ELCB	2	50	20					

[illegible]

既設総合盤参考寸法:2800×2000×450

既設総合壁の移設を行う			
記号	改修前機器	改修後機器	改修内容
①	壁掛防災アンプ 120W	壁掛防災アンプ 120W	更新
②	ﾀﾞﾌﾞﾙｶﾍﾞﾂﾄﾞﾞﾞﾂｷ	ﾀﾞﾌﾞﾙｶﾍﾞﾂﾄﾞﾞﾞﾂｷ	既設再使用
③	CDﾌﾞﾚｰｷ	CDﾌﾞﾚｰｷ	更新
④	ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ	ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ	更新
⑤	複合型受信機 P型1級15窓+5窓	複合型受信機 P型1級15窓+5窓	更新
⑥	火報電話機		撤去
⑦	携帯用電話機		撤去
⑧	内部に誘導灯信号装置	内部に誘導灯信号装置	更新
⑨	ｱﾘｰﾅ部照明ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾞﾙﾌﾞ(LED)	ｱﾘｰﾅ部照明ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾞﾙﾌﾞ(LED)	既設再使用
⑩	警報盤 8窓	警報盤 8窓	既設再使用
⑪	ｱﾘｰﾅ換気扇ｽｲｯﾁ+自動ﾄﾞﾗｽﾃｯﾁ+送風機表示ﾗﾝﾌﾟ	ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ ｱﾘｰﾅ換気扇1L+自動ﾄﾞﾗｲﾙ+送風機表示ﾗﾝﾌﾟ	更新
⑫	照明ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ 23L	照明ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ 21L	更新
⑬	誘導灯信号装置	化粧ﾊﾞﾙﾌﾞ取付 400×500程度	新設
⑭	内部電灯盤	内部電灯盤	更新
⑮	ｸﾞﾗﾝﾄﾞ照明操作ｽｲｯﾁ	ｸﾞﾗﾝﾄﾞ照明操作ｽｲｯﾁ	既設再使用
⑯		ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ表示装置	新設
⑰	内部端子盤 ﾘﾓﾚﾞ機器収納	内部端子盤 ﾘﾓﾚﾞ機器収納	既設再使用
⑱	端子盤 電話主装置	端子盤 電話主装置	既設再使用

既設総合盤

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）			E — 08
	一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		分電盤結線図(2)改修後	A2 : N・S A3 : N・S	

機種名称		(屋内)	機種名称	(屋内)		
発電機	形 式	横軸回転界磁形同期発電機	エンジン	形 式	立形水冷4サイクルディーゼル機関	
	容 量	25 kVA		燃焼形式	直接噴射式	
		20.0 kW		定格出力	29.4 kW	
	電 圧	220 V		回転速度	3600 min ⁻¹	
	電 流	65.6 A		総排気量	1.496 L	
	周波数	60 Hz		冷却方式	ラジエータ冷却	
	回転速度	3600 min ⁻¹		冷却水量	3.7 L	
	相 数	3相3線		始動方式	セルモータによる電気始動	
	極 数	2極		使 用 燃 料	種 類	ディーゼル油
	力 率	80%			搭載タンク容量	28 L
	励磁方法	ブラシレス			燃料消費量	7.8 L/h
耐 熱 クラス	発電機	電機子：F 界磁：H	潤滑油量（全量/有効量）	7.2/4.7 L		
	励磁機	電機子：F 界磁：F		ラジエータファン排気量	53 m ³ /min	
保護方式	開放保護形（IP20）		バッテリー	種 類	REH	
冷却方式	自由通流形（IC01）			容 量	DC12V-24AH	
充電方式	半導体式自動充電		始動時間	40秒		
キュービクル	騒音値※	85dB（A）以下	乾燥質量	650kg		
	塗装色	5Y7/1 半ツヤ	装備質量	684kg		
ベース	仕 様	溶融亜鉛メッキ	認 定	（社）日本内燃力発電設備協会		

項 目	デバイス	警報表示灯	警 報	機 関 自動停止	主回路遮断	外 部 信 号
潤滑油油圧低下	63Q	○	○	○	○	○ (一括)
冷却水温度上界	26W	○	○	○	○	
過 回 転	12	○	○	○	○	
始 動 渋 滞	48T	○	○	○	—	
過 電 流	51	○	○	×	○	
緊 急 停 止	5E	○	○	○	○	

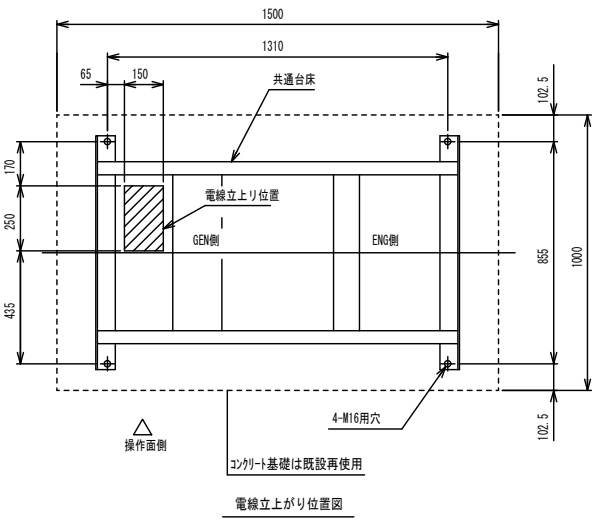
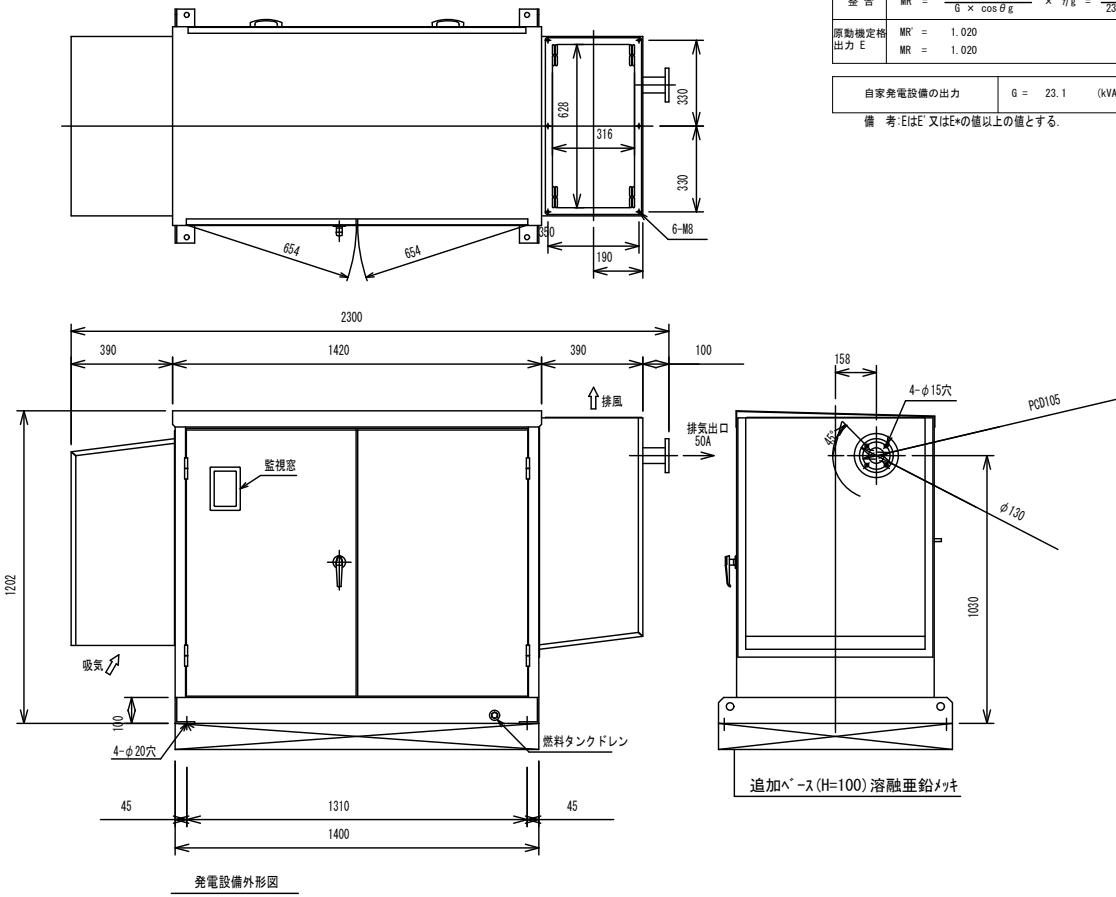
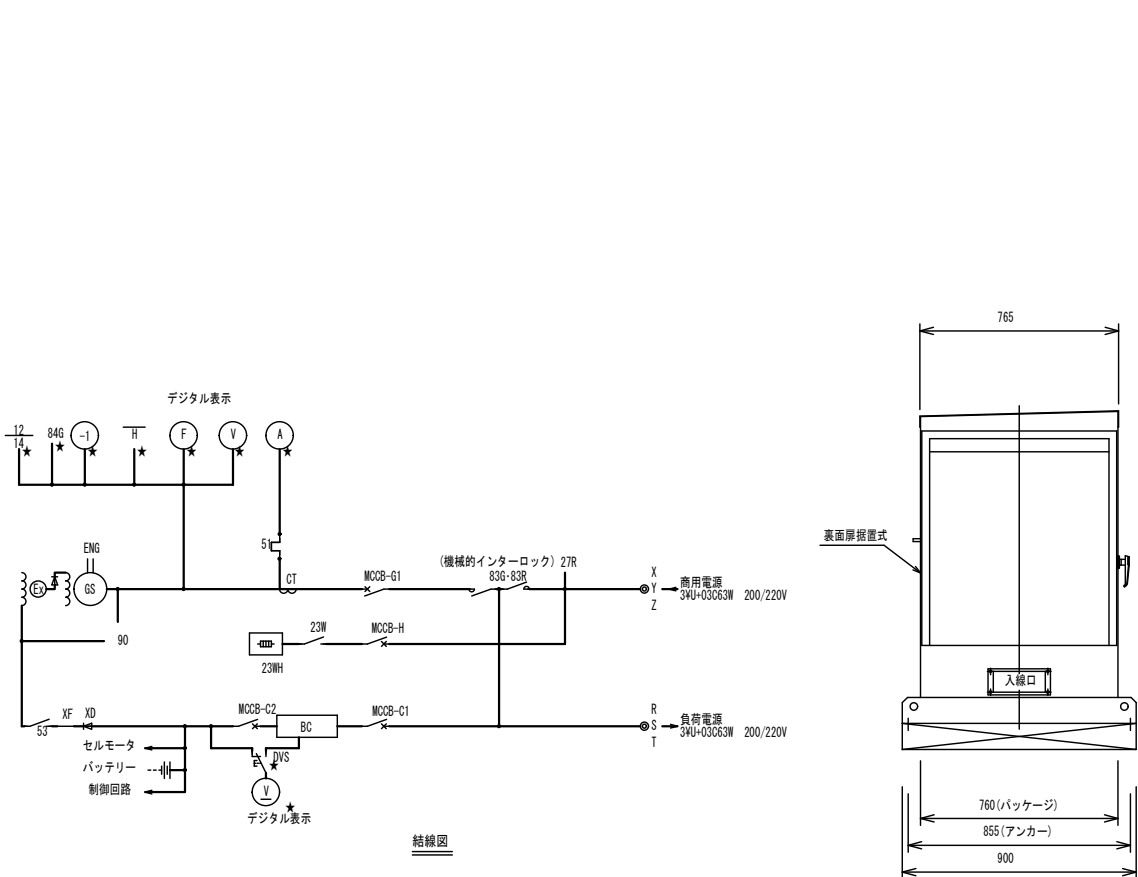
	特性等
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり
(2)	発電機 特性 $KG3 = 1.500$ $KG4 = 0.150$ $x_d' g = 0.125$ $\Delta E = 0.250$ $\eta g = 0.807$
(3)	原動機 特性 $\varepsilon = 1.000$ $\gamma = 1.000$ $a = 0.250$
(4)	負荷機器 $**d = 1.000$ $**w = 1.000$

※:1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

自家発電設備			
(1)	種 類	屋内用キュービクル式普通形	
(2)	定格出力	25kVA/29.4kW	
(3)	発電機出力		
	定格出力	23.1kVA	極 数 2 極
	定格電圧	220V	定格周波数 60 Hz
	定格力率	0.800	定格回転速度3,600min ⁻¹
(4)	原動機出力		
	原動機の種別	ディーゼルエンジン(普通形)	
	定格出力	23.4kW	31.8PS
	使用燃料	軽 油	定格回転速度3,600min ⁻¹
(5)	整合比	1.020	
作成者	会社名		
	氏 名	印	
	資 格		

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算 入出力 kW kVA	出力 mi (kW)	始動方式	単相負荷 (kW)			需要率 di	分負荷 相当出力 Mp (kW)	M2の選定 (A)	M3の選定 (B)	M' 2の選定 (C)	M' 3の選定 (D)
									R-S	S-T	T-R						
1	単	消火栓ポンプ	F-L	MLO	1	5.50	5.50	L	0.00	0.00	0.00	—	5.50	39.29	31.20	18.72	17.10
									</								

(A): $=\{k s / Z^{\prime} m \times m i$ (ただしエレベーター負荷のときは、各式に $U v / n$ を掛けた値とする。)
(B): $=\{k s / Z^{\prime} m \cdot d /(\eta b \times \cos \theta b)\} \times m i$
(C): $=\{k s / Z^{\prime} m \times \cos \theta s-(\varepsilon-a) \times d / \eta b\} \times m i$
(D): $=\{k s / Z^{\prime} m \times \cos \theta s \cdot d / \eta b\} \times m i$

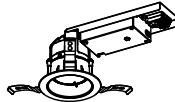
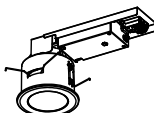
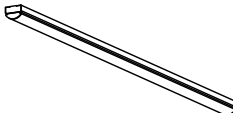
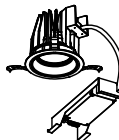
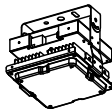
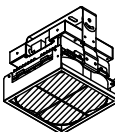
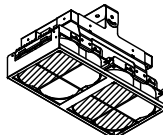
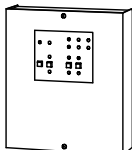


様式-3 (最終検) 件名: 盛部ふれあい公園体育館			
自家発電設備出力計算シート (発電機)			
RG1	$= \frac{1}{\eta} \times D \times S_f \times \frac{1}{\cos \theta_g} = \frac{0.850}{1.000} \times 1.000 \times \frac{1.000}{0.800} = 1.471$ $\Delta P = A + B - 2C = \frac{0.00}{0.00} + \frac{0.00}{0.00} - 2 \times \frac{0.00}{0.00} = 0.00$ $u = \frac{(A - C)}{\Delta P} = \frac{(0.00 - 0.00)}{0.00} = 1.000$ $S_f = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0.00}{5.50} + \left(\frac{0.00}{5.50}\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)} = 1.000$	定常負荷出力係数 RG1 1.471	
RG2	エレベーター $W (0) = \frac{\left(\frac{(1 - \Delta E)}{\Delta E}\right) \times x d_g}{\frac{(1 - 0.250)}{0.250}} \times \frac{\frac{ks}{Z_m}}{0.125} \times \frac{\frac{W}{K}}{0.140} \times \frac{5.50}{5.50} = 2.679$	許容電圧降下出力係数 RG2 2.679	
RG3	$= \frac{fv1}{K03} \times \left[\frac{d}{(\eta b \times \cos \theta b)} \times \left(1 - \frac{M3}{K}\right) + \frac{ks}{Z_m} \times \frac{M3}{K} \right]$ $= \frac{0.880}{1.500} \times \left[\frac{1.000}{(0.850 \times 0.800)} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50}\right) + \frac{1.000}{0.140} \times \frac{5.50}{5.50} \right]$ $= 4.191$	恒時開通電流耐力出力係数 RG3 4.191	
RG4	$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{K04} \times \sqrt{(\theta - RAF)^2 + \left(\Sigma \frac{A1}{\eta1 \times \cos \theta1} + \Sigma \frac{B1}{\eta1 \times \cos \theta1} - 2 \times \Sigma \frac{C1}{\eta1 \times \cos \theta1}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $\times H = hb \times \sqrt{\left[\Sigma \frac{R6i}{\eta1 \times \cos \theta1} \times hki\right]^2 + \left[\Sigma \frac{R3i}{\eta1 \times \cos \theta1} \times hki\right]^2 \times \eta gh^2}$ $= \frac{1}{5.50} \times \frac{1}{0.150} \times \sqrt{\left(0.00 - 0.00\right)^2 + \left(0.00\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$ $= 0.000$	許容逆相電流出力係数 RG4 0.000	
RG	$= RG < 2 > = 4.191$	RG1, RG2, RG3, RG4のうち最大値	RG 4.191
発電機計算出力 G'		$G' = RG \times K = 4.191 \times 5.50 = 23.05 \text{ (kVA)}$	発電機定格出力 G $G = 23.1 \text{ (kVA)}$

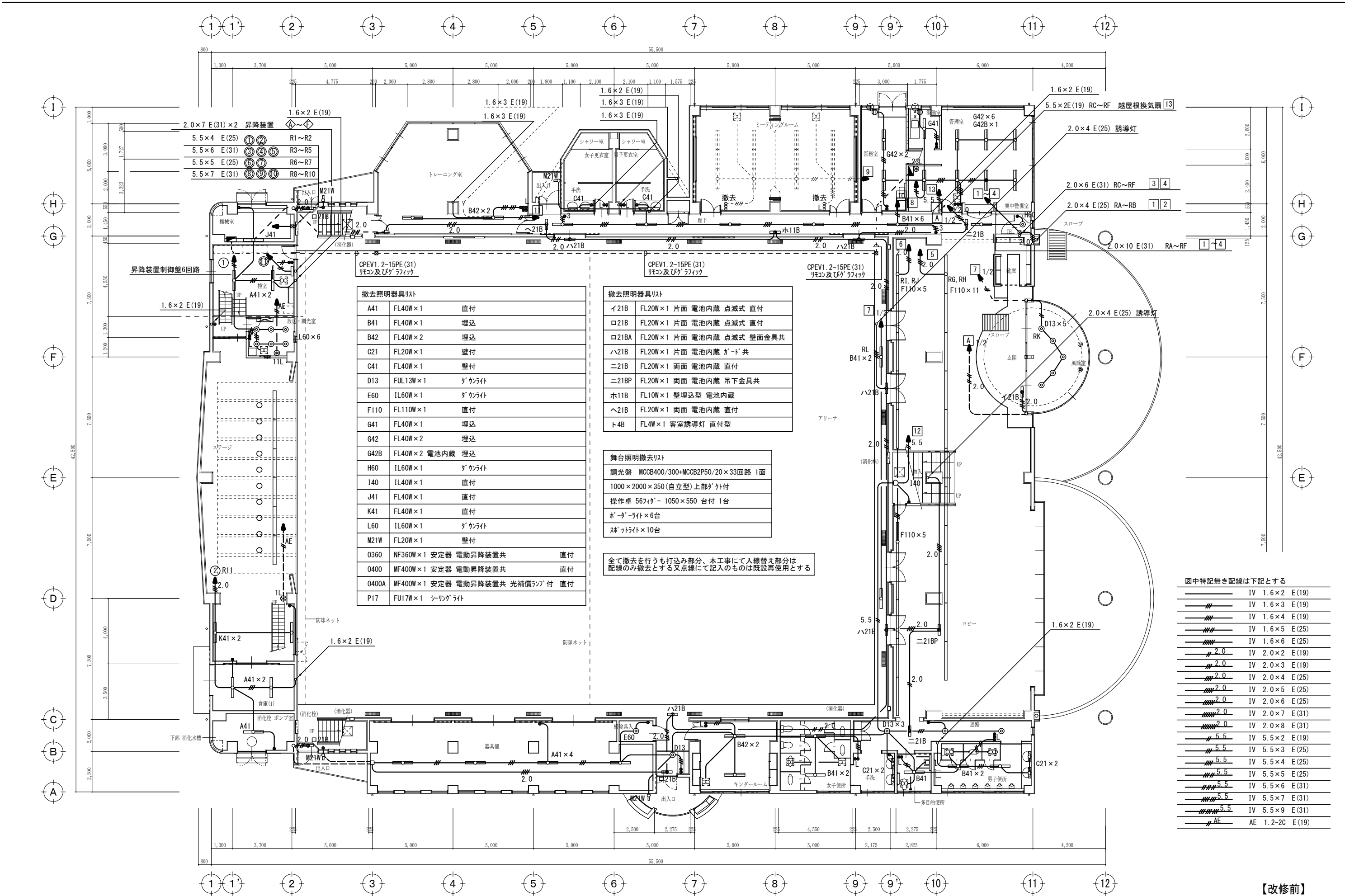
備考: G は G' の値の95%以上の値とする.

様式-4 「最大最終」 件名:滋部ふれあい公園体育館			
自家発電設備出力計算シート(原動機、整合)			
RE1	$= \left(\frac{1}{\eta L} \right) \times D \times \left(\frac{1}{\eta g} \right) = \left(\frac{1}{0.850} \right) \times 1.000 \times \left(\frac{1}{0.807} \right) = 1.458$	定常負荷出力係数 RE1	1.458
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{f v_2}{\eta g} \times \left[\left(\varepsilon - a \right) \times \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{W^2}{K} \right) + \frac{k s}{Z m} \times \cos \theta s \times \frac{W^2}{K} \right]$ $= \frac{1}{1.000} \times \frac{0.760}{0.767} \times \left[\left(1.000 - 0.250 \right) \times \frac{1.000}{0.850} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50} \right) + \frac{1.000}{0.140} \times 0.600 \times \frac{5.50}{5.50} \right]$ $= 4.249$	許容回転速度変動出力係数 RE2	4.249
RE3	$= \frac{1}{\gamma} \times \frac{f v_3}{\eta g} \times \left[\frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{W^3}{K} \right) + \frac{k s}{Z m} \times \cos \theta s \times \frac{W^3}{K} \right]$ $= \frac{1}{1.000} \times \frac{0.760}{0.767} \times \left[\frac{1.000}{0.850} \times \left(1 - \frac{5.50}{5.50} \right) + \frac{1.000}{0.140} \times 0.600 \times \frac{5.50}{5.50} \right]$ $= 4.249$	許容最大出力係数 RE3	4.249
RE	$= RE < 2 > = 4.249$	RE1, RE2, RE3 のうち最大値	RE 4.249
原動機計算出力 E'	$E' = RE \times K = 4.249 \times 5.50 = 23.37 \text{ (kW)}$		
整合	$MR = \frac{E'}{6 \times \cos \theta g} \times \eta g = \frac{23.37}{23.1 \times 0.800} \times 0.807 = 1.020$		
原動機定格出力 E	$MR = \frac{1.020}{1.020}$	$E* = 23.37 \text{ (kW)}$	E= 23.4 (kW)
自家発電設備の出力		0 = 23.1 (kVA) 力率 = 0.800	E = 23.4 31.8 (kW) (PS) ディーゼル機関(普通形)

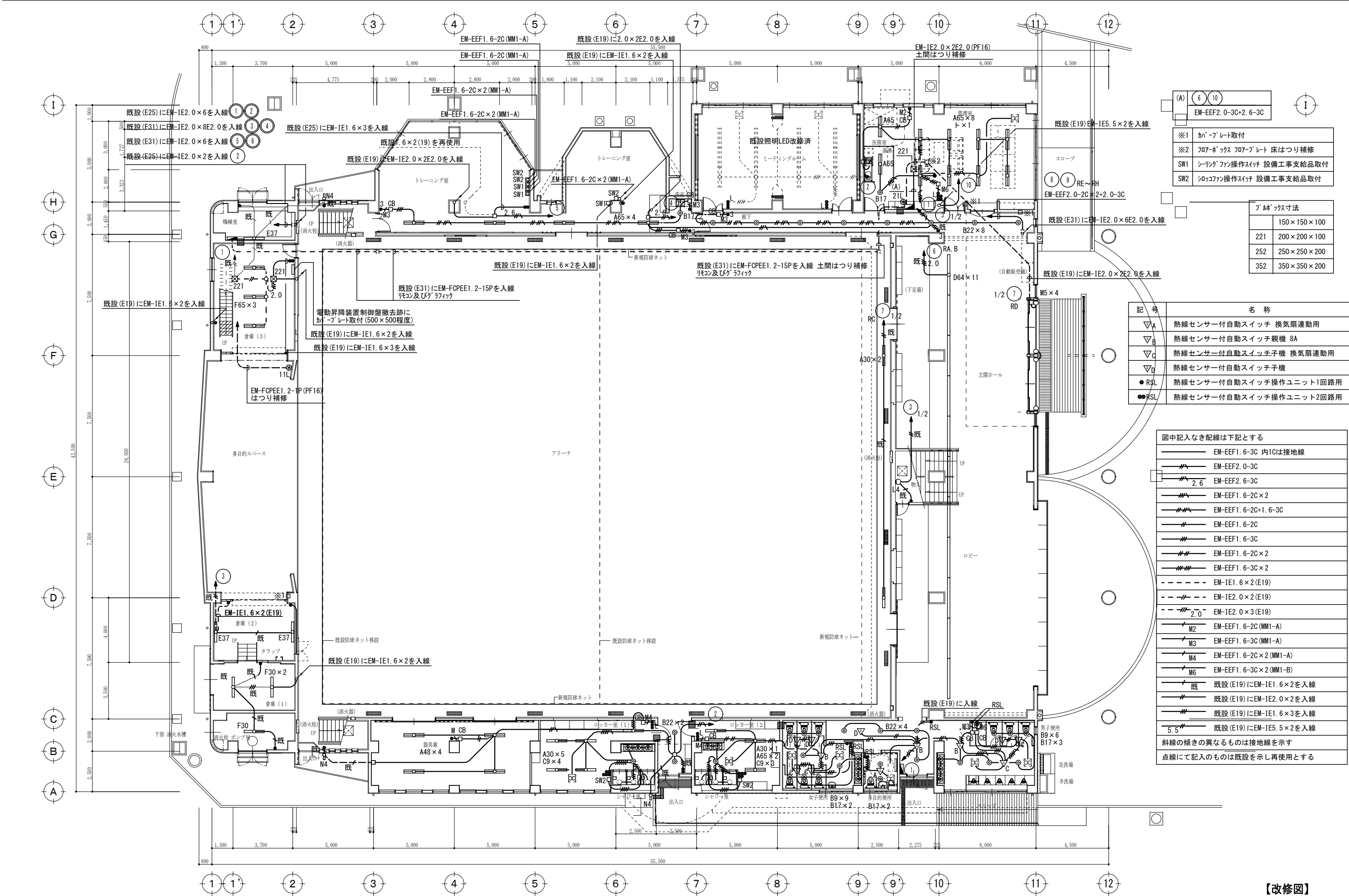
備考: E は E' 又は E^* の値以上の値とする.

		 埋込穴寸法:φ100 電源ユニット内蔵 本体:アルミダイカスト 化粧枠:プラスチック(バージンホワイト) 反射板:バージンホワイト 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):83 非調光 一般形(高効率 広角タイプ)		 埋込穴寸法:φ100 電源ユニット内蔵 本体:アルミダイカスト 化粧枠:銅板(バージンホワイト) 下面カバー:アクリル(透明) 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):83 非調光 軒下用(防雨形 高効率 広角タイプ)		 LED(昼白色) 本体:銅板 白 LEDカバー:ポリカーボネート 乳白 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):83 非調光 直付形 幅70タイプ																																									
A30	LED 3100lm 消費電力19.5W 5000K LRS6-4-30	B9	LED 920lm 消費電力8.1W LEKD103013N-LS9	C9	LED 950lm 消費電力10.6W	D64	LED 6400lm 消費電力42.5W	E37	LED 4000lm 消費電力24.8W 5000K LSS1-4-37	F30	LED 3200lm 消費電力19.5W 5000K LSS9-4-30																																				
A48	LED 4900lm 消費電力32.5W 5000K LRS6-4-48	B17	LED 1700lm 消費電力13.7W LEKD203013N-LS9			LEKT807643N-LS9		F65	LED 6900lm 消費電力43.0W 5000K LSS9-4-65																																						
A65	LED 6600lm 消費電力43.0W 5000K LRS6-4-65	B22	LED 2280lm 消費電力17.5W LEKD253013N-LS9			LEKD153913N-LS9																																									
 埋込穴寸法:φ150 電源ユニット内蔵 本体:アルミダイカスト 化粧枠:銅板(バージンホワイト) 反射板:銀色製地 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):83 調光対応		 LED(昼白色) 埋込穴寸法:φ150 本体:アルミダイカスト バージンホワイト 枠:アルミダイカスト バージンホワイト 反射板:銀色鏡面・梨地仕上げ 下面カバー:ガラス 透明・拡散仕上げ 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):70 屋内用 広角タイプ		 相関色温度:5000K(昼白色) 平均演色評価数(Ra):80 アングル:SGC 下面カバー:ポリカーボネート樹脂 落下防止ワイヤー同梱 高天井器具		 相関色温度:5000K(昼白色) 平均演色評価数(Ra):70 アングル:SGC 下面カバー:ポリカーボネート樹脂 落下防止ワイヤー同梱 高天井器具まぶし低減広角 下面ガード		 相関色温度:5000K(昼白色) 平均演色評価数(Ra):70 アングル:SGC 下面カバー:ポリカーボネート樹脂 落下防止ワイヤー同梱 高天井器具まぶし低減広角 下面ガード		 本体:アルミダイカスト(マイルドホワイト) グローブ:ガラス(乳白・フロスト) 相関色温度:2700K 平均演色評価数(Ra):80 屋内用 天井面・壁面取付け兼用形																																					
LEKD35751N2-LD9		LEDD-75011FN-LD9		LEDJ-10506N-LD9		LEDJ21003DN-LD9+LEDX-10071G		LEDJ34003DN-LD9+LEDX-20071G		LEDG88690																																					
G36	LED 3600lm 消費電力28.5W	H76	LED 7650lm 消費電力55.5W	I113	LED 11300lm 消費電力63.8W	J200	LED 20000lm 消費電力125.1W	K307	LED 30700lm 消費電力187.6W	L4	LED 450lm 消費電力7.8W																																				
 寸法:径φ140×出131 本体:アルミダイカスト ガード:アルミダイカスト グローブ:ポリカーボネート 乳白 標準色:グレイッシュブラック(□N-30) 相関色温度:5000K 平均演色評価数(Ra):70 天井・壁面・床直取付兼用		 LED(電球色) 本体:プラスチック(ライトグレー) セード:アクリル樹脂(乳白) ガード:プラスチック(ブラック) 相関色温度:2700K(電球色) 平均演色評価数:(Ra)80 LED一体形マルチセンサー付ポーチ灯 屋外用 防雨形 壁面取付け専用		屋外便所  LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと(熱線)セン・EEセン付(ON/OFF型) 5000K、Ra83 本体:スチール、白・黒・ダーク・ホワイト(乳白) 天井直付型、保護等級:IP23		 SH1-FBF20F-BL 消費電力4.0W 型式認定番号:1AM111-3534		 SH1-FBF20F-BL形壁取付金具、型式認定番号:1AM111-3534		 SH1-FBF20-BL 避難口誘導灯片面型 消費電力2.7W SH1-FBF20-BL 型式認定番号:1AM111-3209																																					
M5	LED 500lm 消費電力6.2W	N4	LED 420lm 消費電力6.5W	O14	LED 1470lm 消費電力14.9W	イBF	LED B級・BL形 点滅型避難口誘導灯片面型 SH1-FBF20F-BL 消費電力4.0W 型式認定番号:1AM111-3534	ロBFA	LED B級・BL形 点滅型避難口誘導灯片面型 消費電力4.0W SH1-FBF20F-BL形壁取付金具、型式認定番号:1AM111-3534	ハB	LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型 消費電力2.7W SH1-FBF20-BL 型式認定番号:1AM111-3209																																				
 ST1-FSF23-BL 型式認定番号:1AM221-3210		 ST1-FSF23-BL+天井吊り金具 型式認定番号:1AM221-3210		 LEDモジュール×1 自己点検機能付 本体:SPC(銅板) カバー:PC(ポリカーボネート樹脂)白 常時:非常時LED点灯 ニッケル水素蓄電池使用 型式認定番号:4AE-1006		 非常灯評定番号:LALF-004 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.3m</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.6m</td><td>2.7m</td><td>2.8m</td><td>2.9m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.9m</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.6</td><td>3.2</td><td>3.0</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.2m</td><td>9.4</td><td>9.6</td><td>9.9</td><td>10.1</td><td>10.3</td><td>10.4</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4m</td><td>7.6</td><td>7.8</td><td>8.1</td><td>8.3</td><td>8.5</td><td>8.9</td></tr></table>		器具取付高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	2.9m	3.0m	単体配置	A1	3.9m	4.0	4.0	4.0	3.6	3.2	3.0	直線配置	A2	9.2m	9.4	9.6	9.9	10.1	10.3	10.4	四角配置	A4	7.4m	7.6	7.8	8.1	8.3	8.5	8.9	 FHD-104			
器具取付高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	2.9m	3.0m																																							
単体配置	A1	3.9m	4.0	4.0	4.0	3.6	3.2	3.0																																							
直線配置	A2	9.2m	9.4	9.6	9.9	10.1	10.3	10.4																																							
四角配置	A4	7.4m	7.6	7.8	8.1	8.3	8.5	8.9																																							
二B	LED B級・BL形 通路誘導灯両面型 消費電力3.6W ST1-FSF23-BL 型式認定番号:1AM221-3210	ホC	LED C級 通路誘導灯片面埋込型 消費電力2.0W ST1-FBC22-G+H+ニ-787 レード 型式認定番号:1AS111-3303	ヘ	LED客席誘導灯壁直付形	ト	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 K1-LRS11-1 消費電力0.9W	誘導灯用信号装置																																							
二BP	LED B級・BL形 通路誘導灯両面型 消費電力3.6W ST1-FSF23-BL+天井吊り金具 型式認定番号:1AM221-3210																																														

型番は参考とする



図中特記無き配線は下記とする	
	IV 1.6×2 E(19)
	IV 1.6×3 E(19)
	IV 1.6×4 E(19)
	IV 1.6×5 E(25)
	IV 1.6×6 E(25)
	IV 2.0×2 E(19)
	IV 2.0×3 E(19)
	IV 2.0×4 E(25)
	IV 2.0×5 E(25)
	IV 2.0×6 E(25)
	IV 2.0×7 E(31)
	IV 2.0×8 E(31)
	IV 5.5×2 E(19)
	IV 5.5×3 E(25)
	IV 5.5×4 E(25)
	IV 5.5×5 E(25)
	IV 5.5×6 E(31)
	IV 5.5×7 E(31)
	IV 5.5×9 E(31)
	IV 5.5×7 E(31)
	AE 1.2-2C E(19)

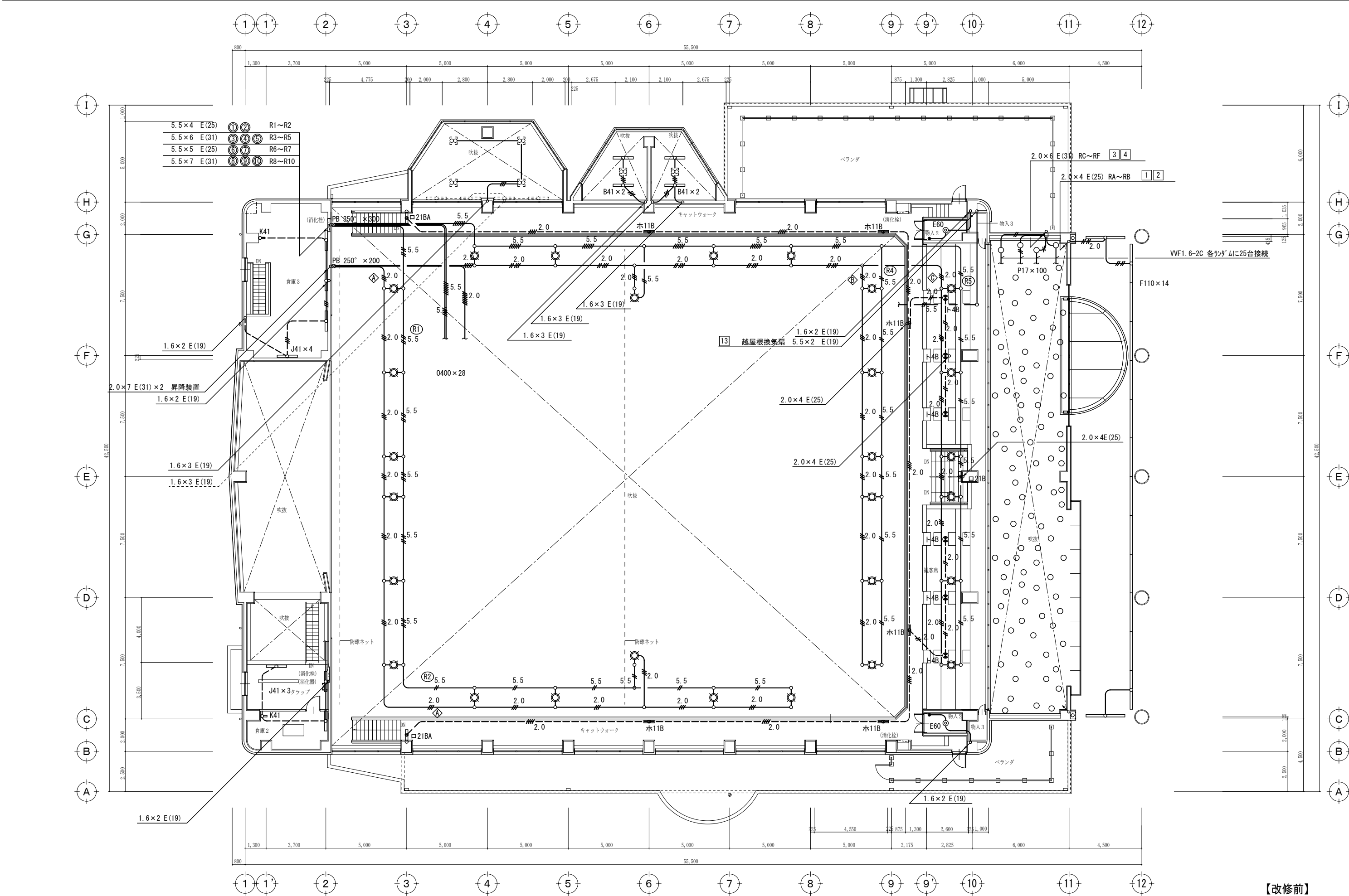


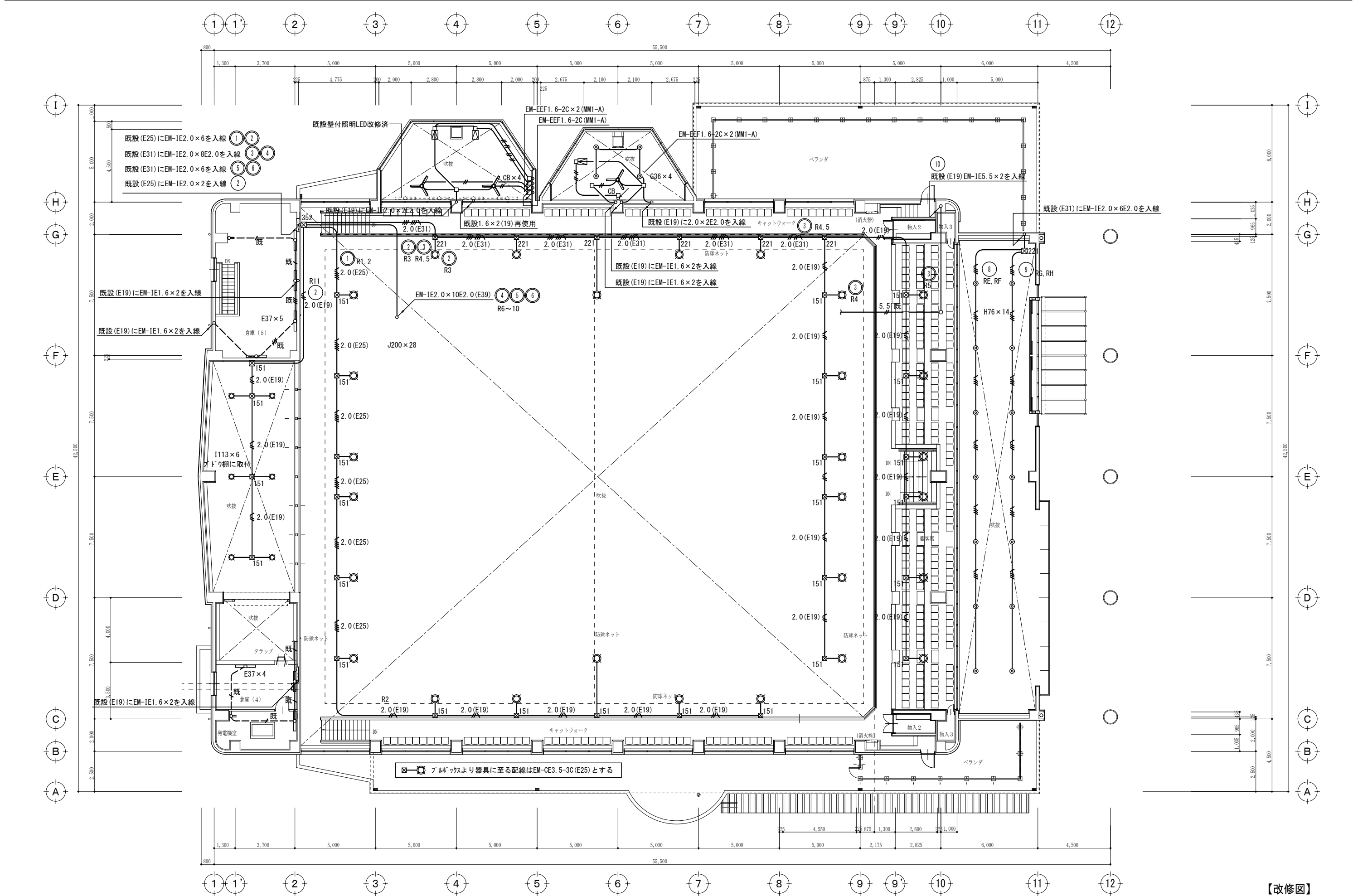
(A)	6	10
	EM-EEF2.0-3C+2.6-3C	
※1	カバープレート取付	
※2	フロアボックスフロアプレート床はつり補修	
SW1	シーリングファン操作スイッチ 設備工事支給品取付	
SW2	シロッコファン操作スイッチ 設備工事支給品取付	

プレート寸法	
	150×150×100
221	200×200×100
252	250×250×200
352	350×350×200

記号	名称
▽A	熱線センサー付自動スイッチ 換気扇連動用
▽B	熱線センサー付自動スイッチ親機 8A
▽C	熱線センサー付自動スイッチ子機 換気扇連動用
▽D	熱線センサー付自動スイッチ子機
●RSL	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット1回路用
●●RSL	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット2回路用

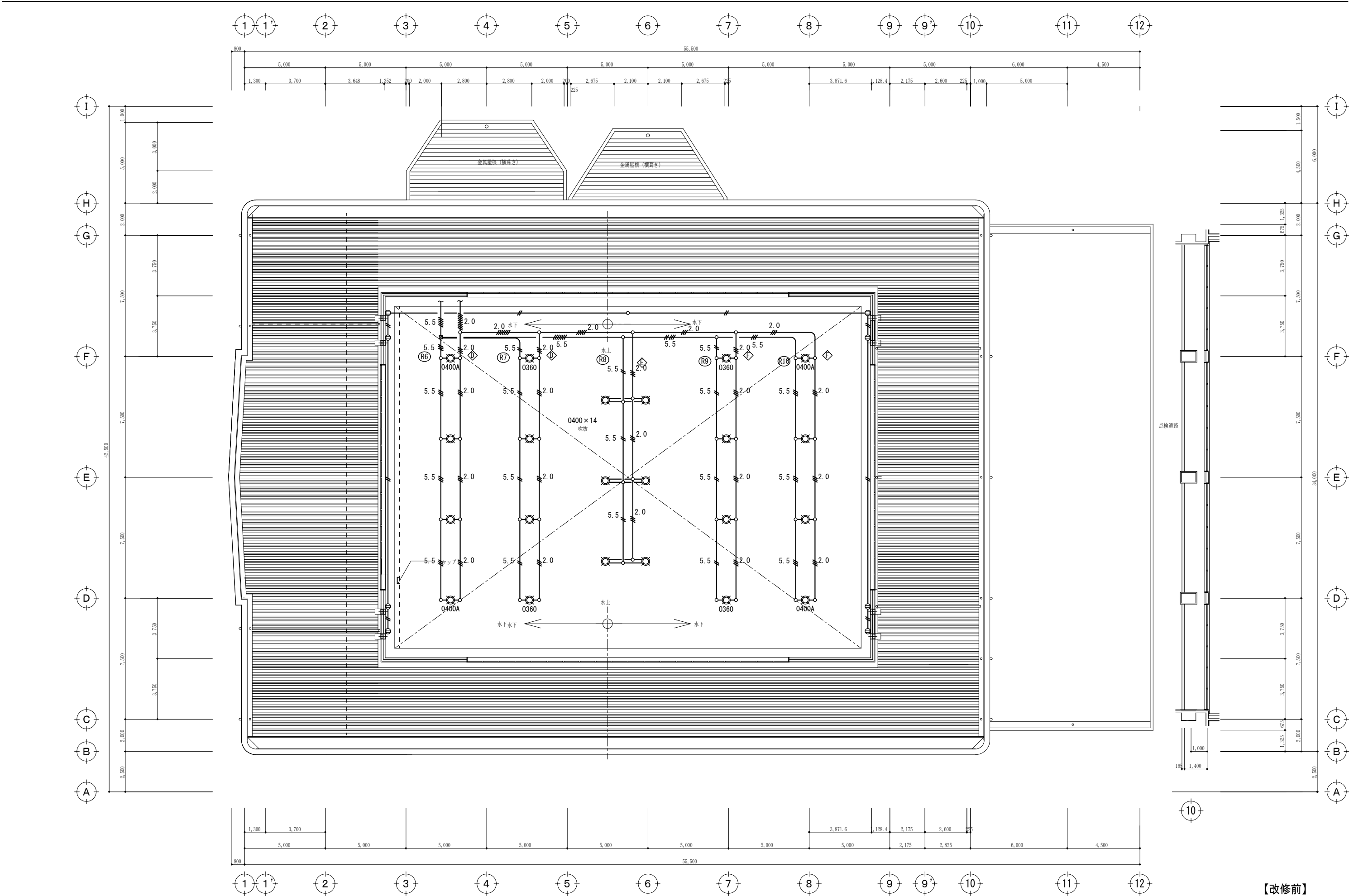
図中記入なき配線は下記とする	
——	EM-EEF1.6-3C 内1Cは接地線
——	EM-EEF2.0-3C
——	EM-EEF2.6-3C
——	EM-EEF1.6-2C×2
——	EM-EEF1.6-2C+1.6-3C
——	EM-EEF1.6-2C
——	EM-EEF1.6-3C
——	EM-EEF1.6-2C×2
——	EM-EEF1.6-3C×2
----	EM-IE1.6×2(E19)
----	EM-IE2.0×2(E19)
----	EM-IE2.0×3(E19)
——	M2 EM-EEF1.6-2C(MM1-A)
——	M3 EM-EEF1.6-3C(MM1-A)
——	M4 EM-EEF1.6-2C×2(MM1-A)
——	M6 EM-EEF1.6-3C×2(MM1-B)
——	既設(E19)にEM-IE1.6×2を入線
——	既設(E19)にEM-IE2.0×2を入線
——	既設(E19)にEM-IE1.6×3を入線
——	既設(E19)にEM-IE5.5×2を入線
斜線の傾きの異なるものは接地線を示す	
点線にて記入のものは既設を示し再利用とする	





【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 磯 部 ふ れ あ い 公 園 体 育 館 等 大 規 模 改 修 工 事（電 気 設 備 工 事）	電 灯 設 備 改 修 後	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 12-2
			2 階 平 面 図		

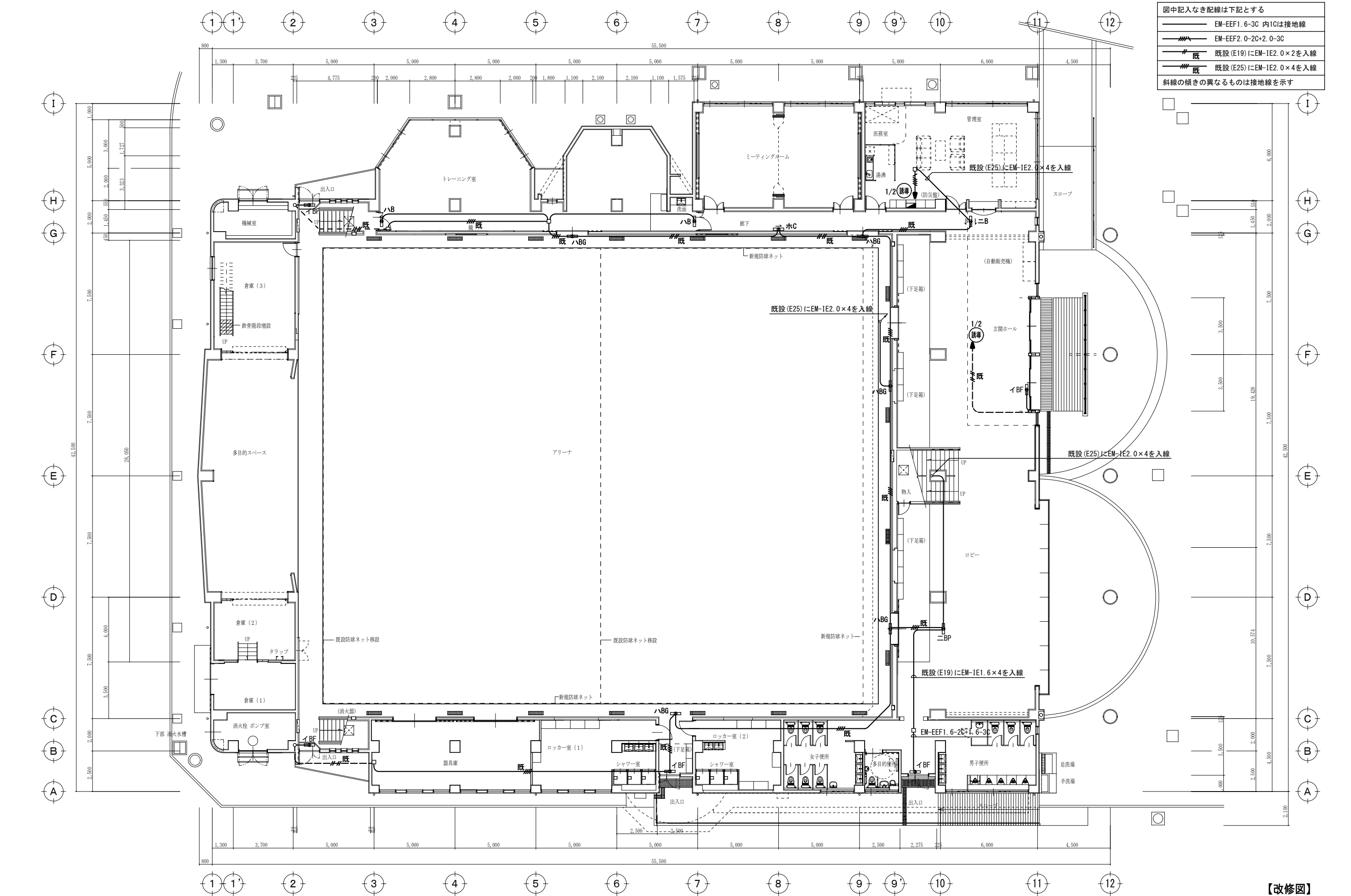
【改修図】

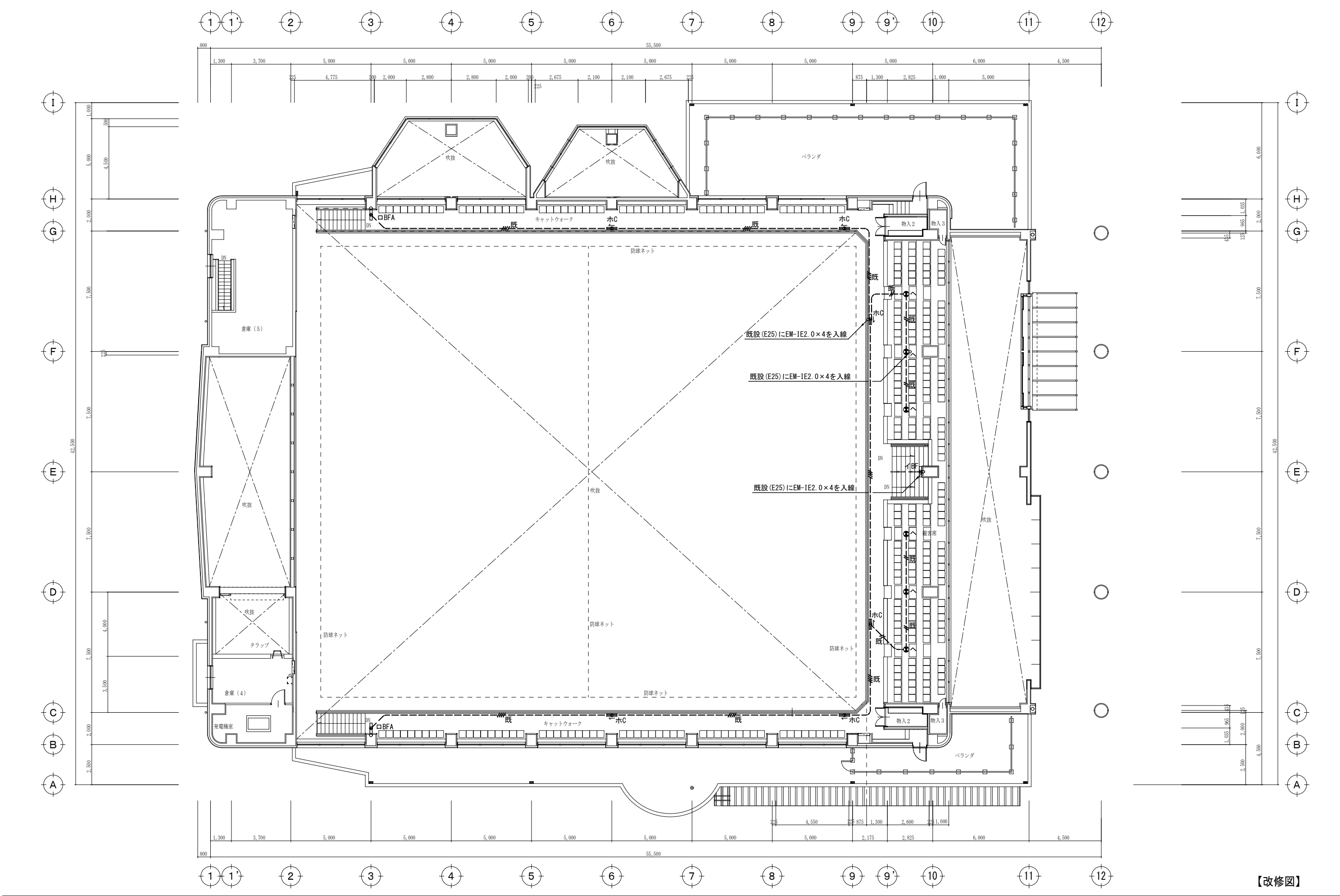


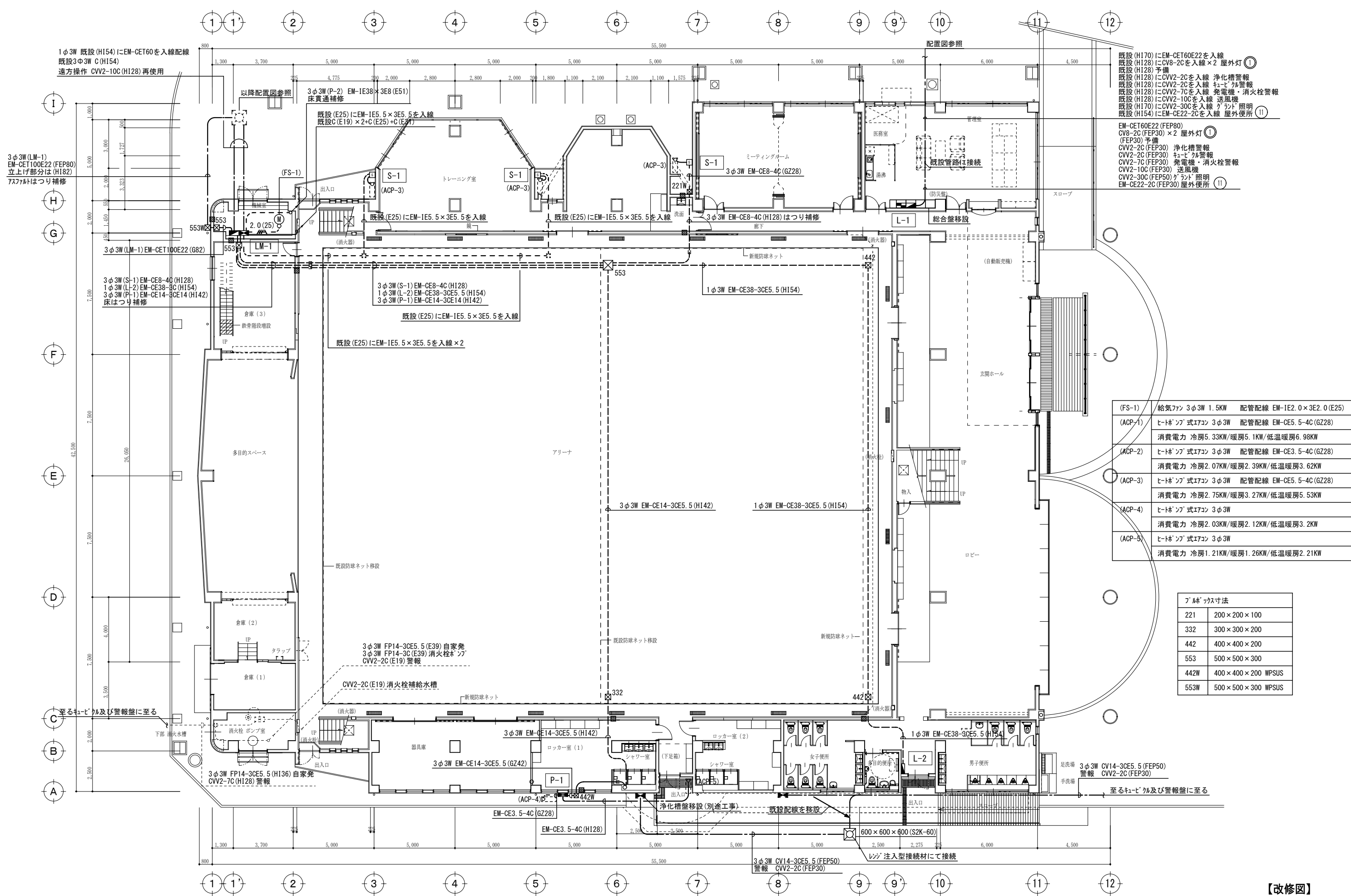
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 磯 部 ふ れ あ い 公 園 体 育 館 等 大 規 模 改 修 工 事（電 気 設 備 工 事）	電 灯 設 備 改 修 前	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 13-1
			越 屋 根 平 面 図		



E — 13-2







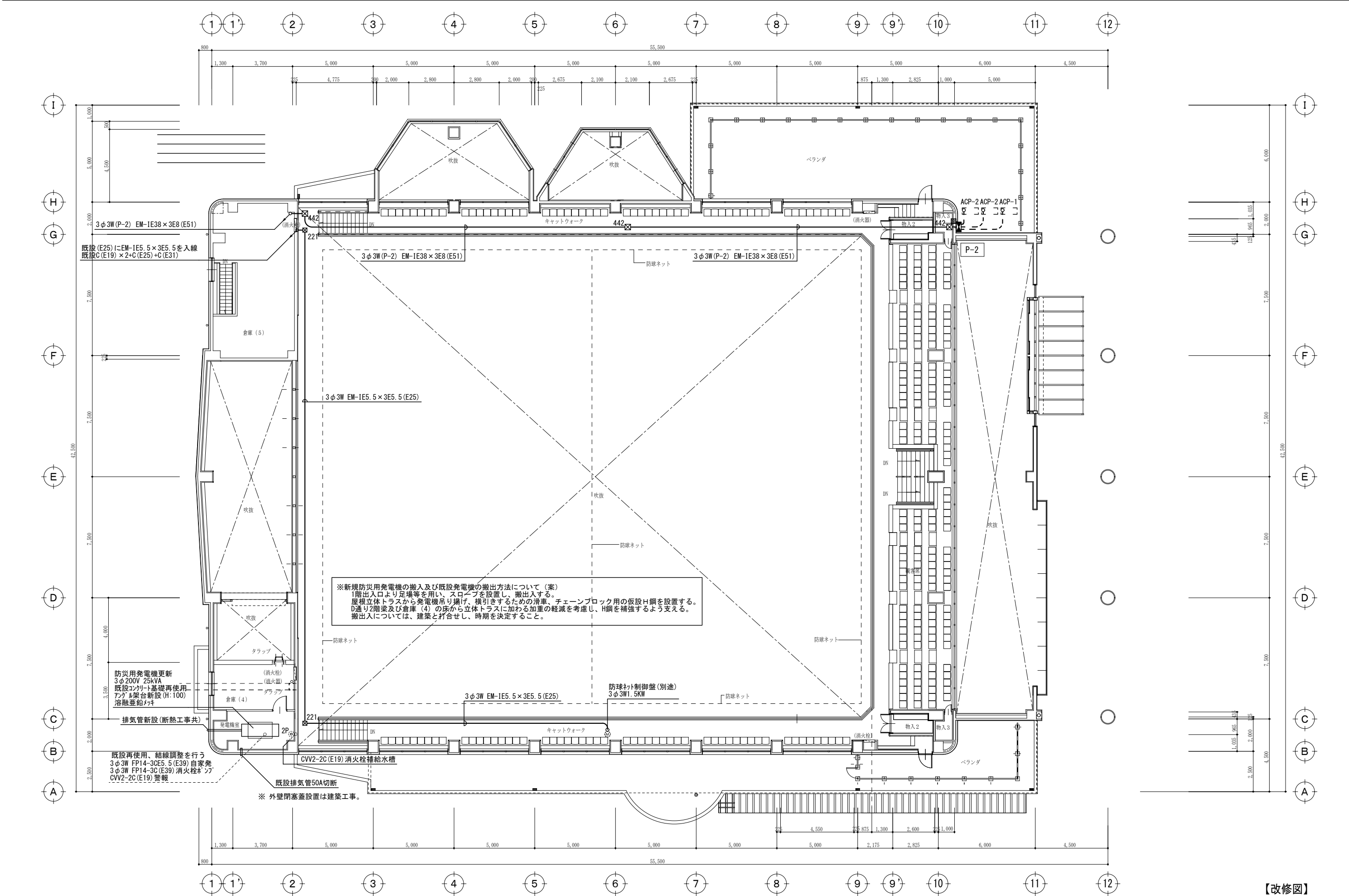
既設(H170)にEM-CET60E22を入線
既設(H128)にCV8-2Cを入線×2 屋外灯 ①
既設(H128)予備
既設(H128)にCVV2-2Cを入線 浄化槽警報
既設(H128)にCVV2-2Cを入線 警報
既設(H128)にCVV2-7Cを入線 警報機・消火栓警報
既設(H128)にCVV2-10Cを入線 送風機
既設(H170)にCVV2-30Cを入線 クラウド照明
既設(H154)にEM-CE22-2Cを入線 屋外便所 ①②

EM-CET60E22 (FEP80)
CV8-2C (FEP30) ×2 屋外灯 ①
(FEP30) 予備
CVV2-2C (FEP30) 浄化槽警報
CVV2-2C (FEP30) 警報
CVV2-7C (FEP30) 警報機・消火栓警報
CVV2-10C (FEP30) 送風機
CVV2-30C (FEP50) クラウド照明
EM-CE22-2C (FEP30) 屋外便所 ①②

(FS-1)	給気ファン 3φ3W 1.5KW	配管配線 EM-IE2.0×3E2.0 (E25)
(ACP-1)	ヒートポンプ式エアコン 3φ3W	配管配線 EM-CE5.5-4C (GZ28)
	消費電力 冷房5.33KW/暖房5.1KW/低温暖房6.98KW	
(ACP-2)	ヒートポンプ式エアコン 3φ3W	配管配線 EM-CE3.5-4C (GZ28)
	消費電力 冷房2.07KW/暖房2.39KW/低温暖房3.62KW	
(ACP-3)	ヒートポンプ式エアコン 3φ3W	配管配線 EM-CE5.5-4C (GZ28)
	消費電力 冷房2.75KW/暖房3.27KW/低温暖房5.53KW	
(ACP-4)	ヒートポンプ式エアコン 3φ3W	
	消費電力 冷房2.03KW/暖房2.12KW/低温暖房3.2KW	
(ACP-5)	ヒートポンプ式エアコン 3φ3W	
	消費電力 冷房1.21KW/暖房1.26KW/低温暖房2.21KW	

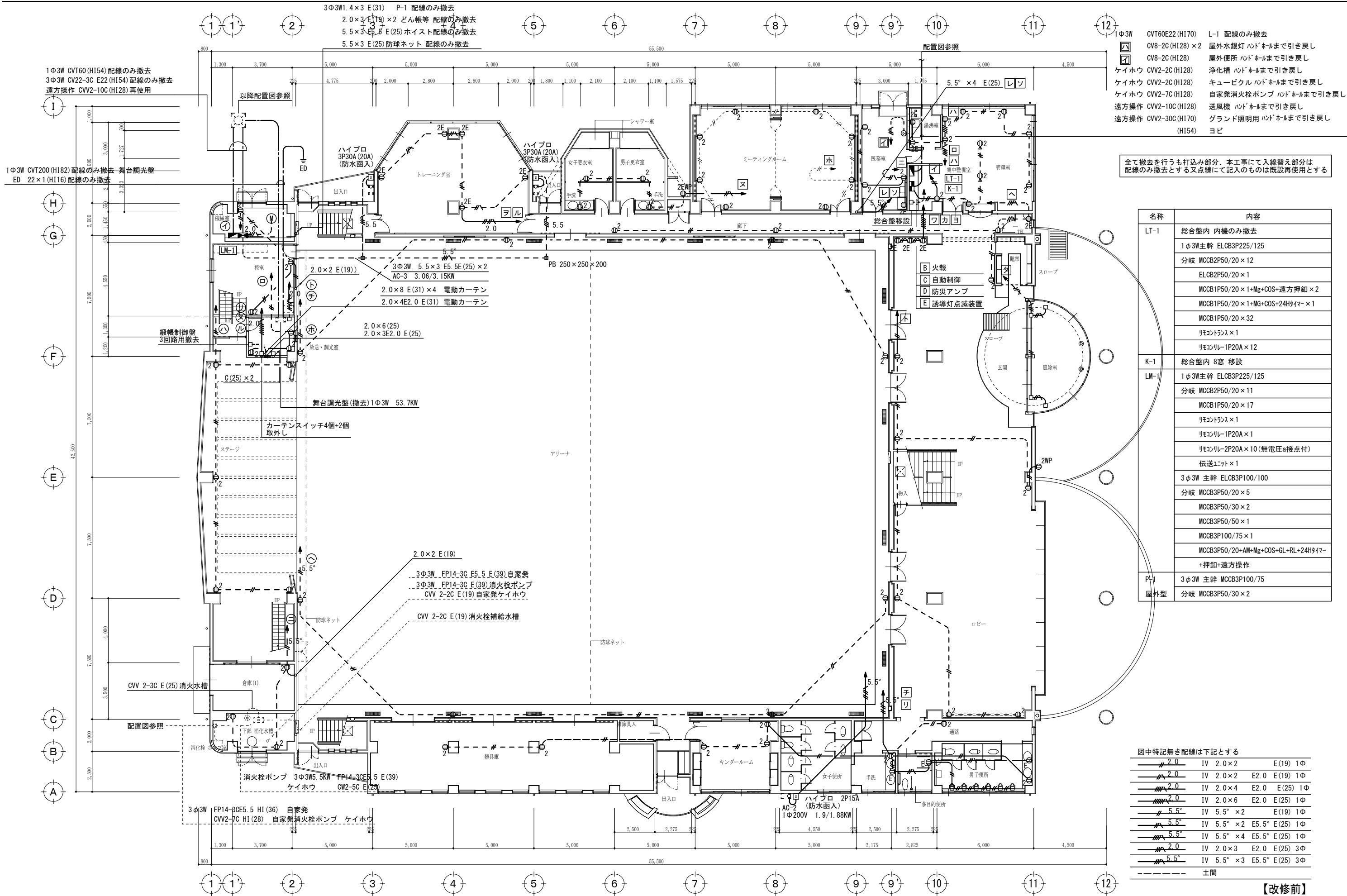
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ寸法	
221	200×200×100
332	300×300×200
442	400×400×200
553	500×500×300
442W	400×400×200 WPSUS
553W	500×500×300 WPSUS

【改修図】



【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	幹線設備・動力設備 改修後		E — 17
				2階平面図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	

【改修図】

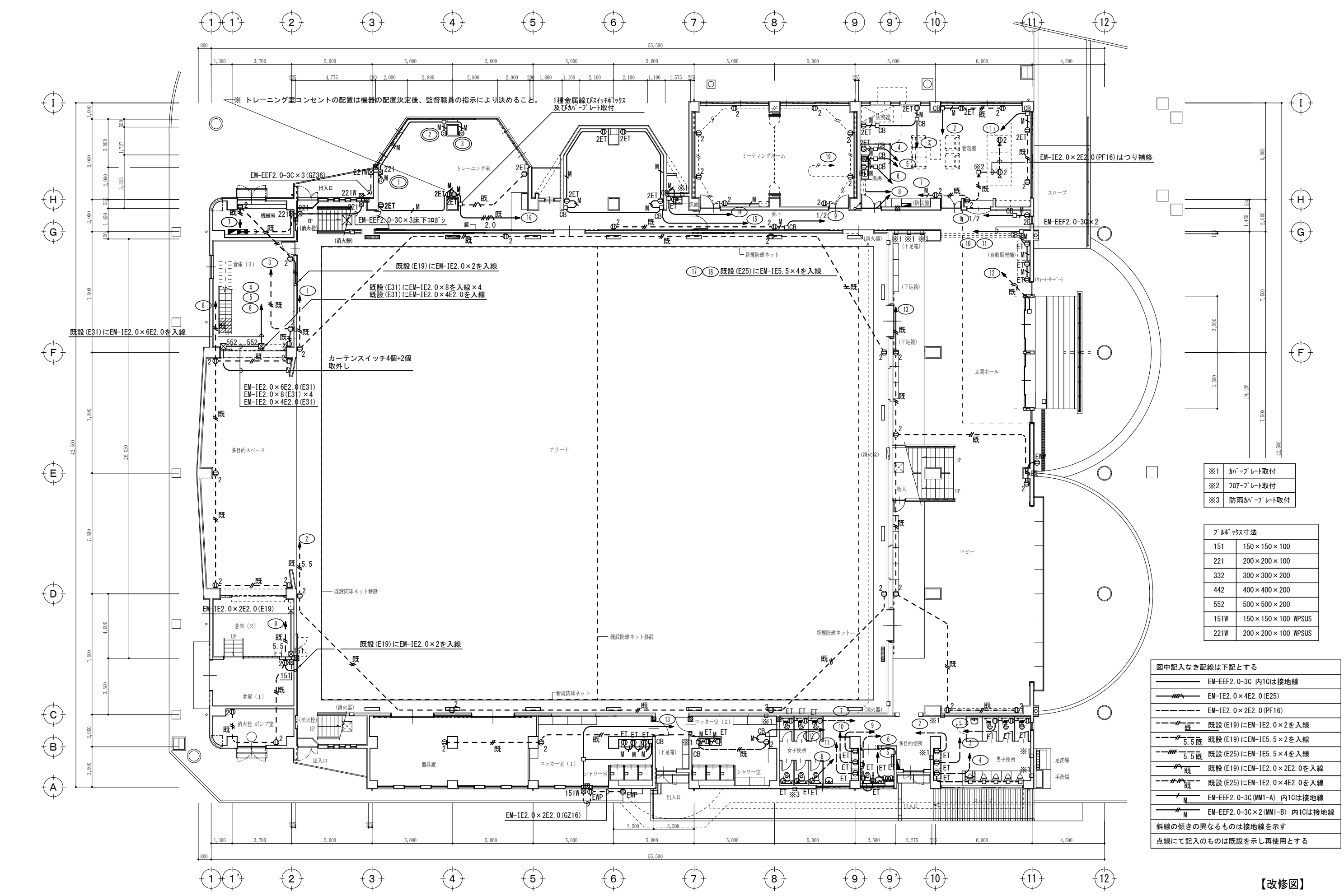


全て撤去を行うも打込み部分、本工事にて入線替え部分は配線のみ撤去とする又点線にて記入のものは既設再使用とする

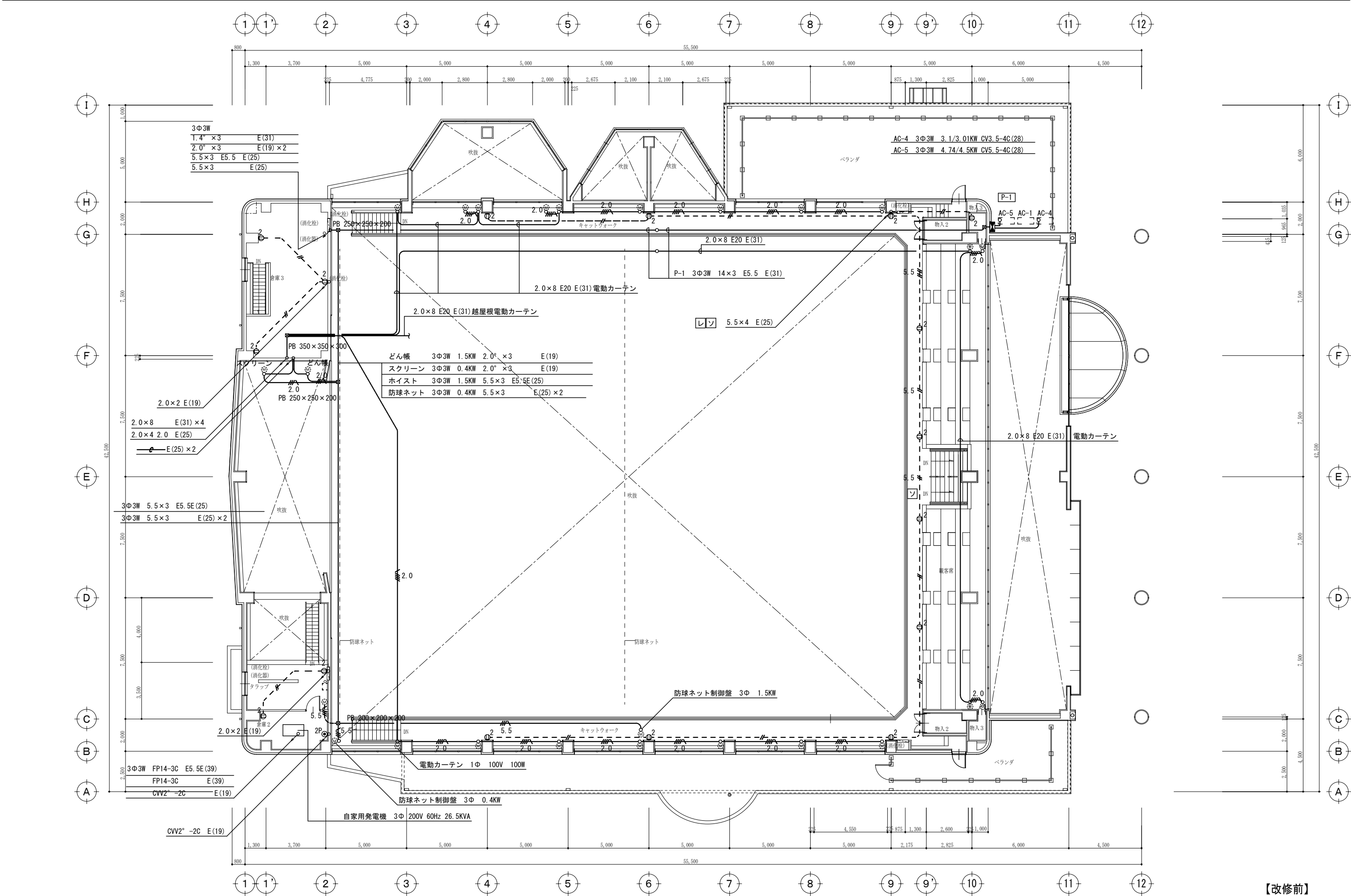
名称	内容
LT-1	総合盤内 内機のみ撤去
	1φ3W主幹 ELCB3P225/125
	分岐 MCCB2P50/20×12
	ELCB2P50/20×1
	MCCB1P50/20×1+Mg+COS+遠方押釦×2
	MCCB1P50/20×1+Mg+COS+24Hタイマー×1
	MCCB1P50/20×32
	リモコンラッス×1
K-1	総合盤内 8窓 移設
	リモコンラッス×1
LM-1	1φ3W主幹 ELCB3P225/125
	分岐 MCCB2P50/20×11
	MCCB1P50/20×17
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
	リモコンラッス×1
P-1	3φ3W 主幹 MCCB3P100/75
	屋外型 分岐 MCCB3P50/30×2

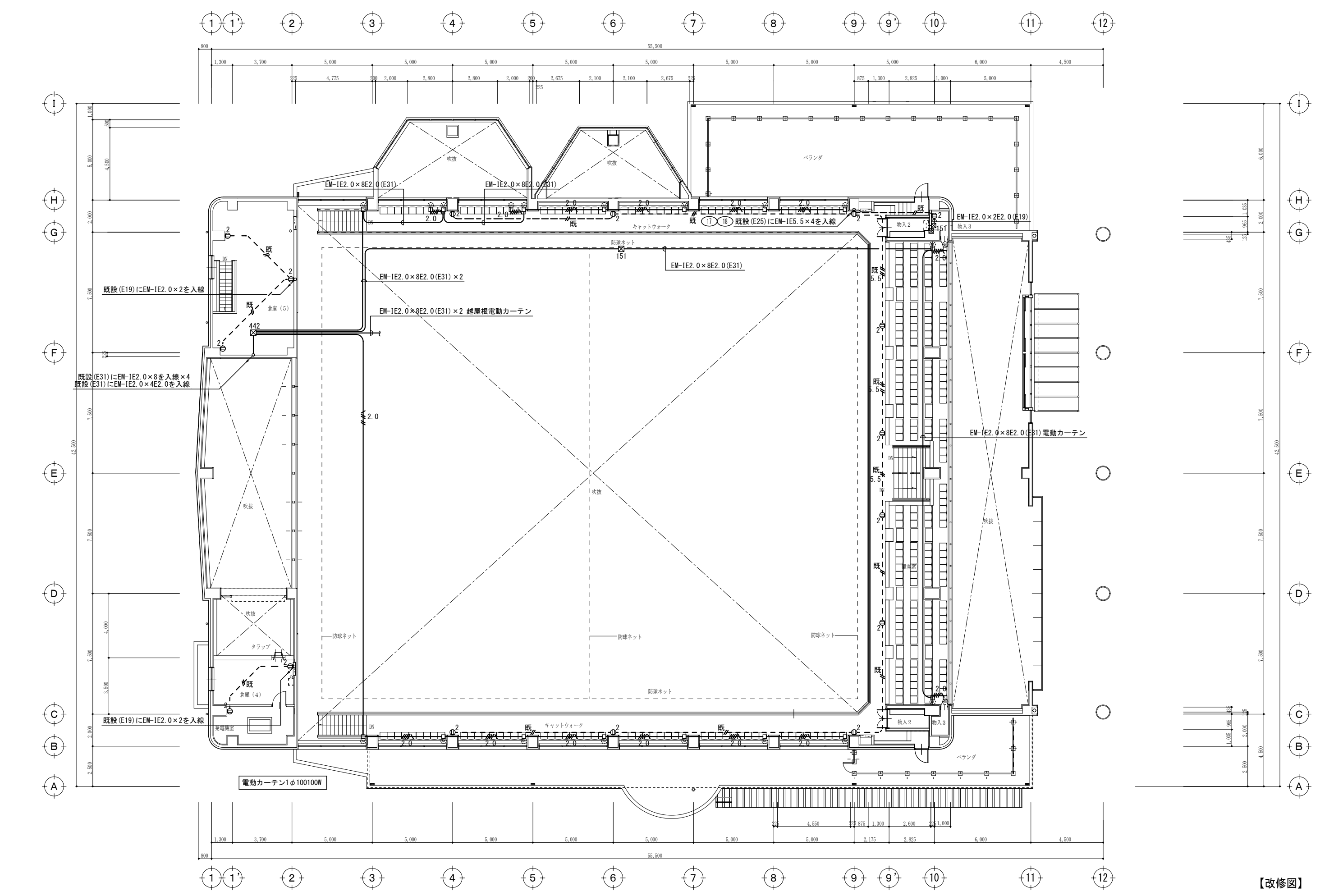
図中特記無き配線は下記とする			
2.0	IV	2.0×2	E(19) 1φ
2.0	IV	2.0×2	E2.0 E(19) 1φ
2.0	IV	2.0×4	E2.0 E(25) 1φ
2.0	IV	2.0×6	E2.0 E(25) 1φ
5.5	IV	5.5×2	E(19) 1φ
5.5	IV	5.5×2	E5.5 E(25) 1φ
5.5	IV	5.5×4	E5.5 E(25) 1φ
2.0	IV	2.0×3	E2.0 E(25) 3φ
5.5	IV	5.5×3	E5.5 E(25) 3φ
---	土間		

【改修前】



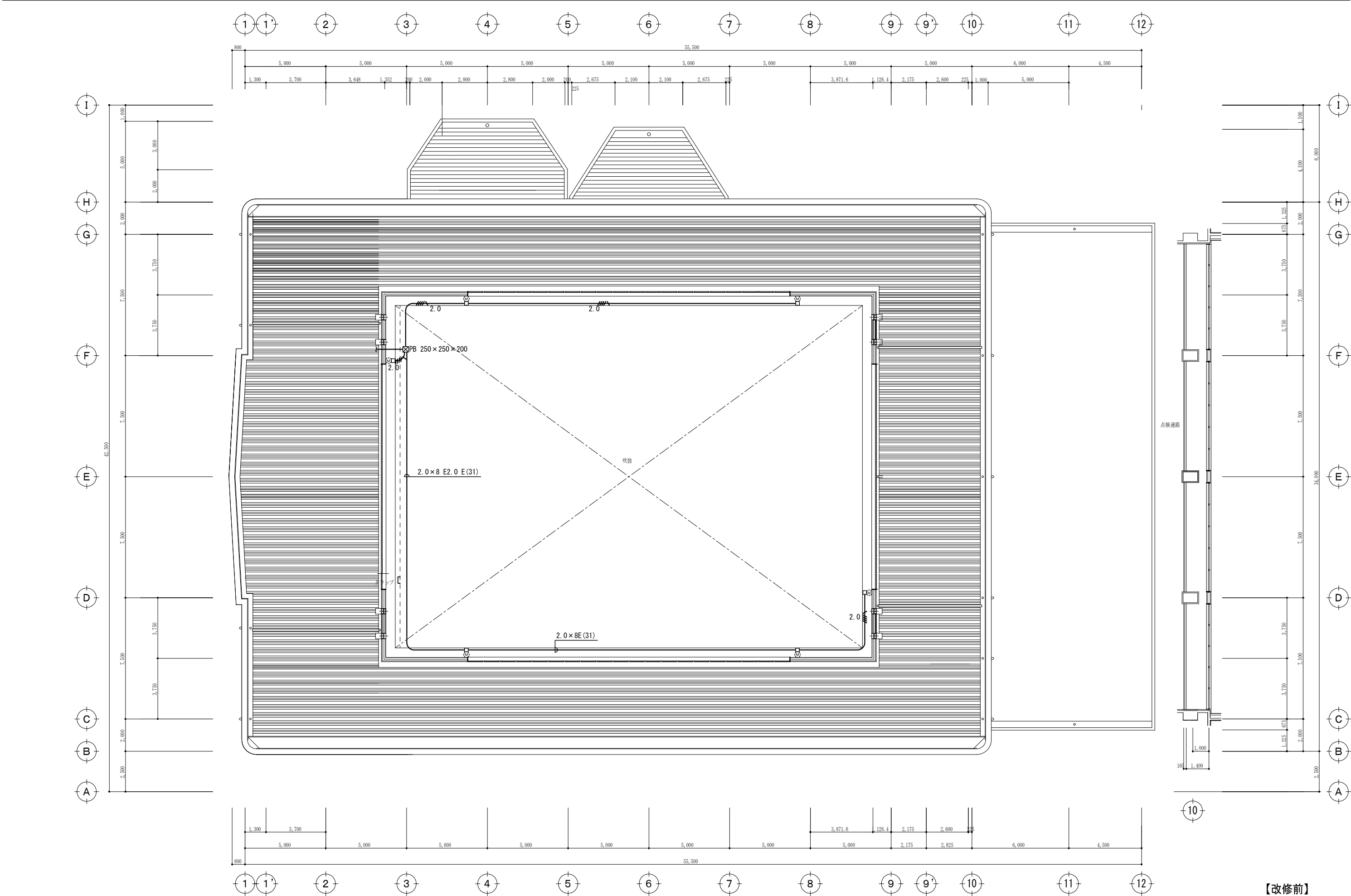
図中記入なき配線は下記とする	
	EM-EEF2.0-3C 内1Cは接地線
	EM-IE2.0×4E2.0(E25)
	EM-IE2.0×2E2.0(PF16)
	既設(E19)にEM-IE2.0×2を入線
	既設(E19)にEM-IE5.5×2を入線
	既設(E25)にEM-IE5.5×4を入線
	既設(E19)にEM-IE2.0×2E2.0を入線
	既設(E25)にEM-IE2.0×4E2.0を入線
	EM-EEF2.0-3C(MM1-A) 内1Cは接地線
	EM-EEF2.0-3C×2(MM1-B) 内1Cは接地線
斜線の傾きの異なるものは接地線を示す	
点線にて記入のものは既設を示し再使用とする	



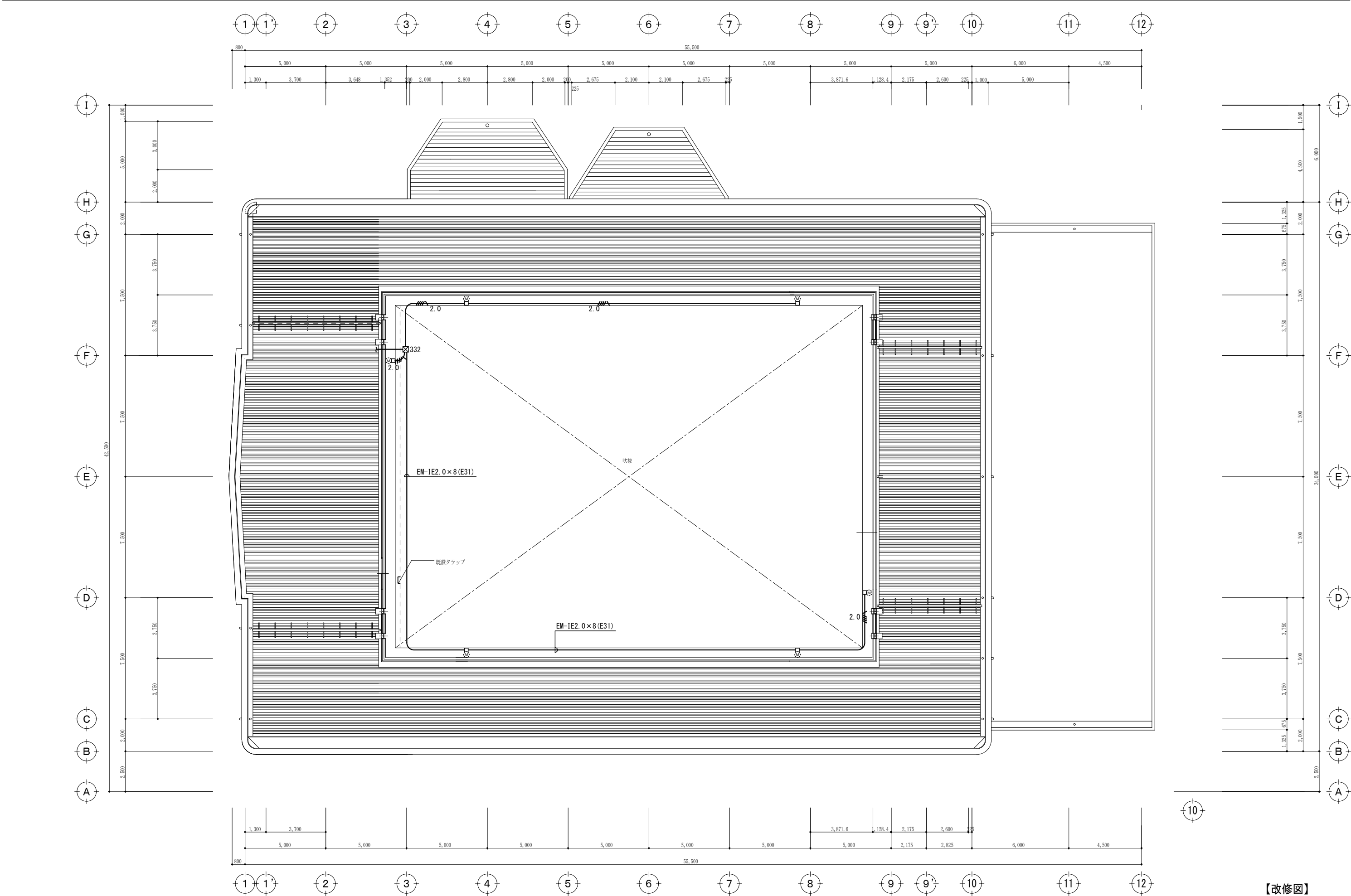


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 磯 部 ふ れ あ い 公 園 体 育 館 等 大 規 模 改 修 工 事（電 気 設 備 工 事）	コンセント設備 改修後	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 19-2
			2階平面図		

【改修図】

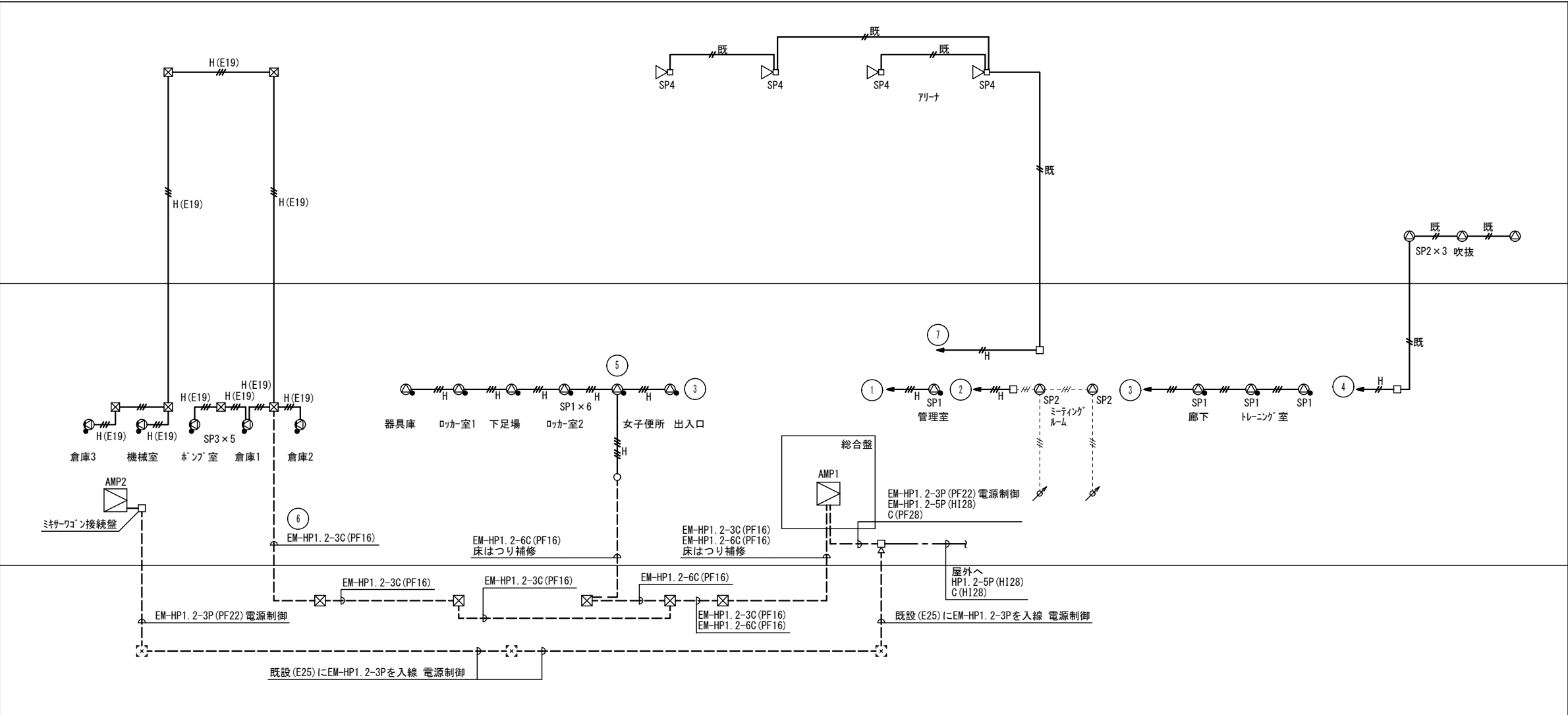


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	コンセント設備 改修前	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 20-1
			越屋根平面図		



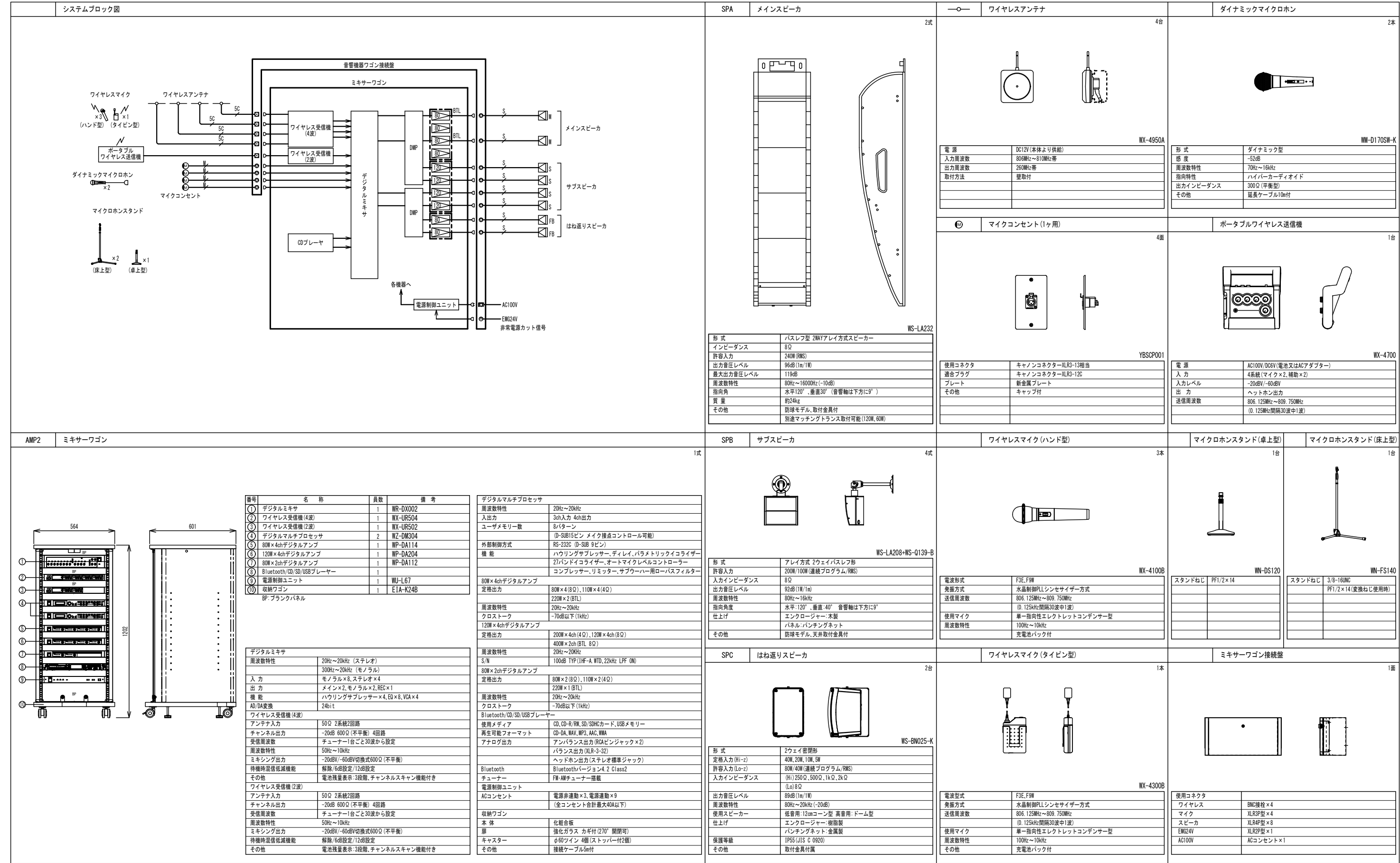
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	コンセント設備 改修後	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 20-2
			越屋根平面図		

【改修図】



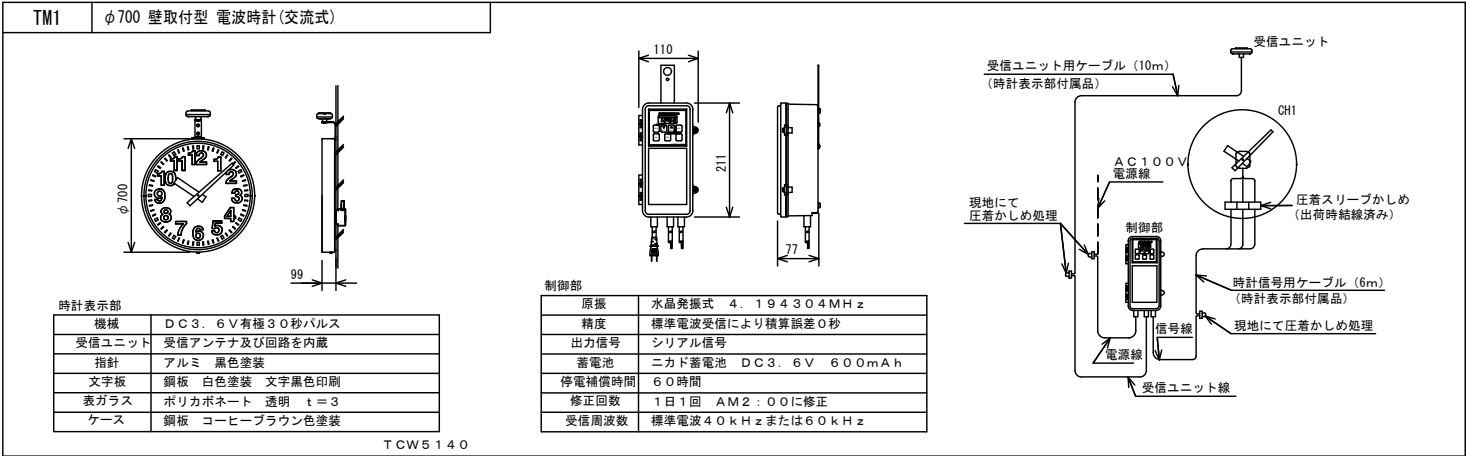
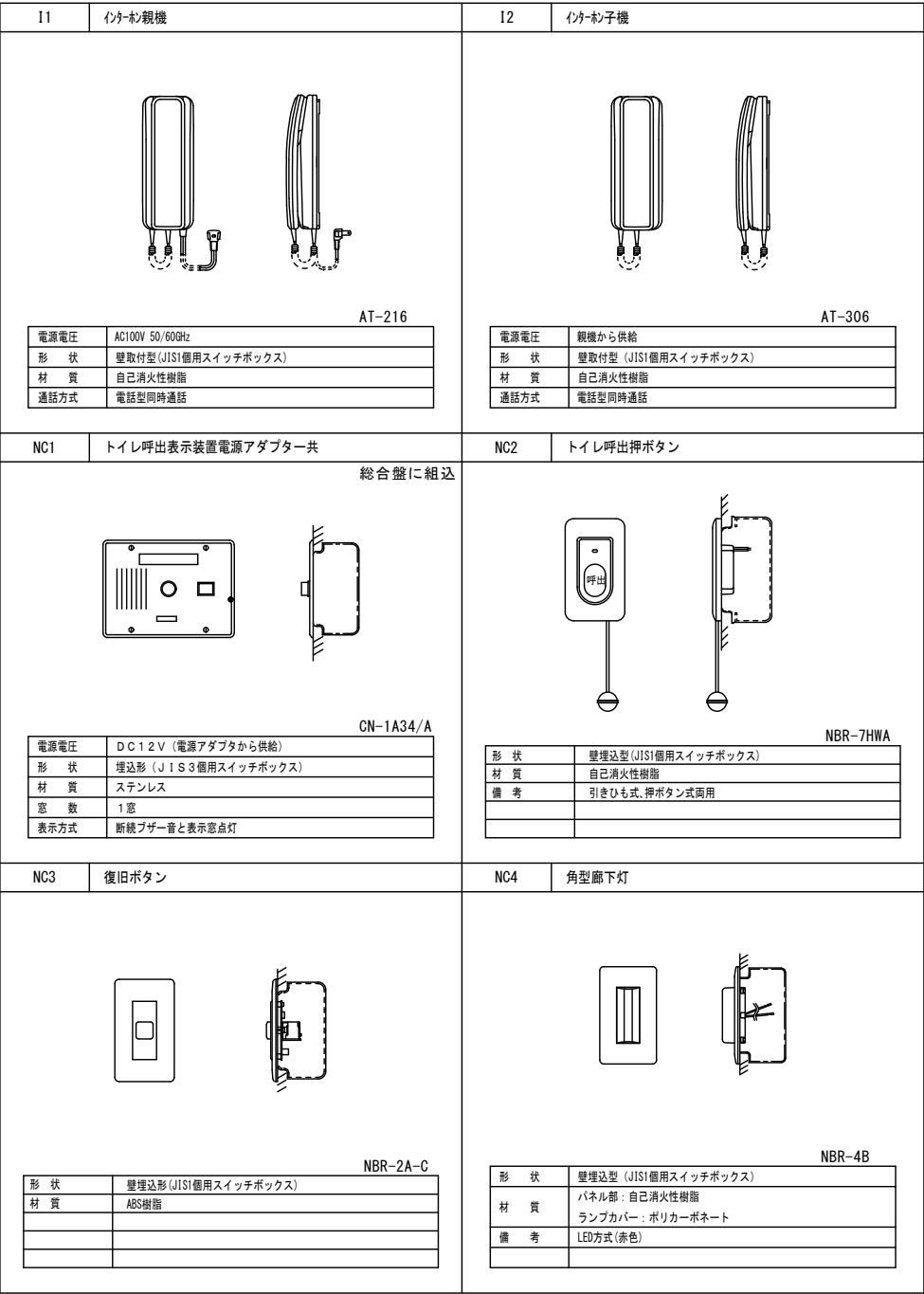
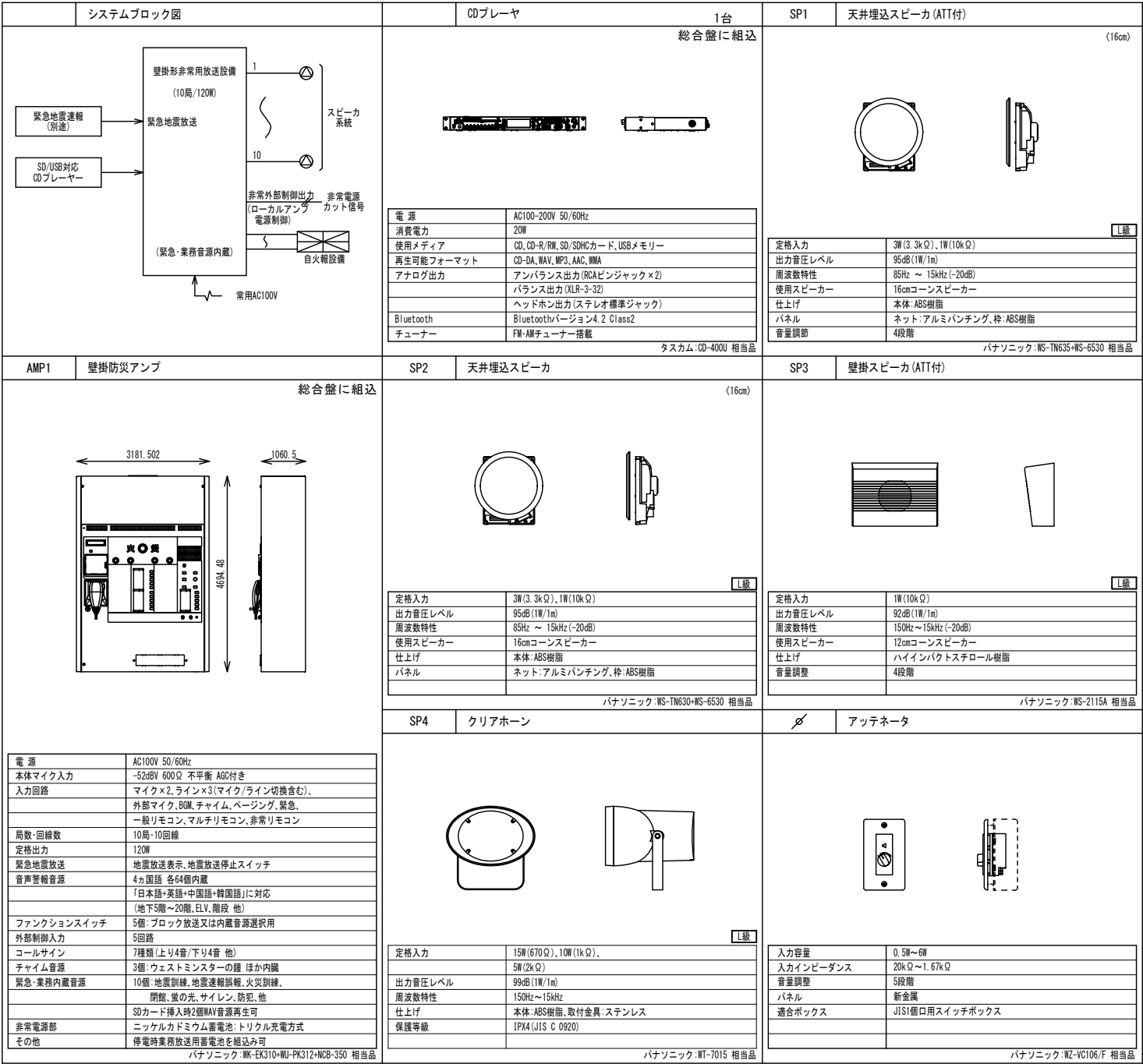
拡声設備 系統図

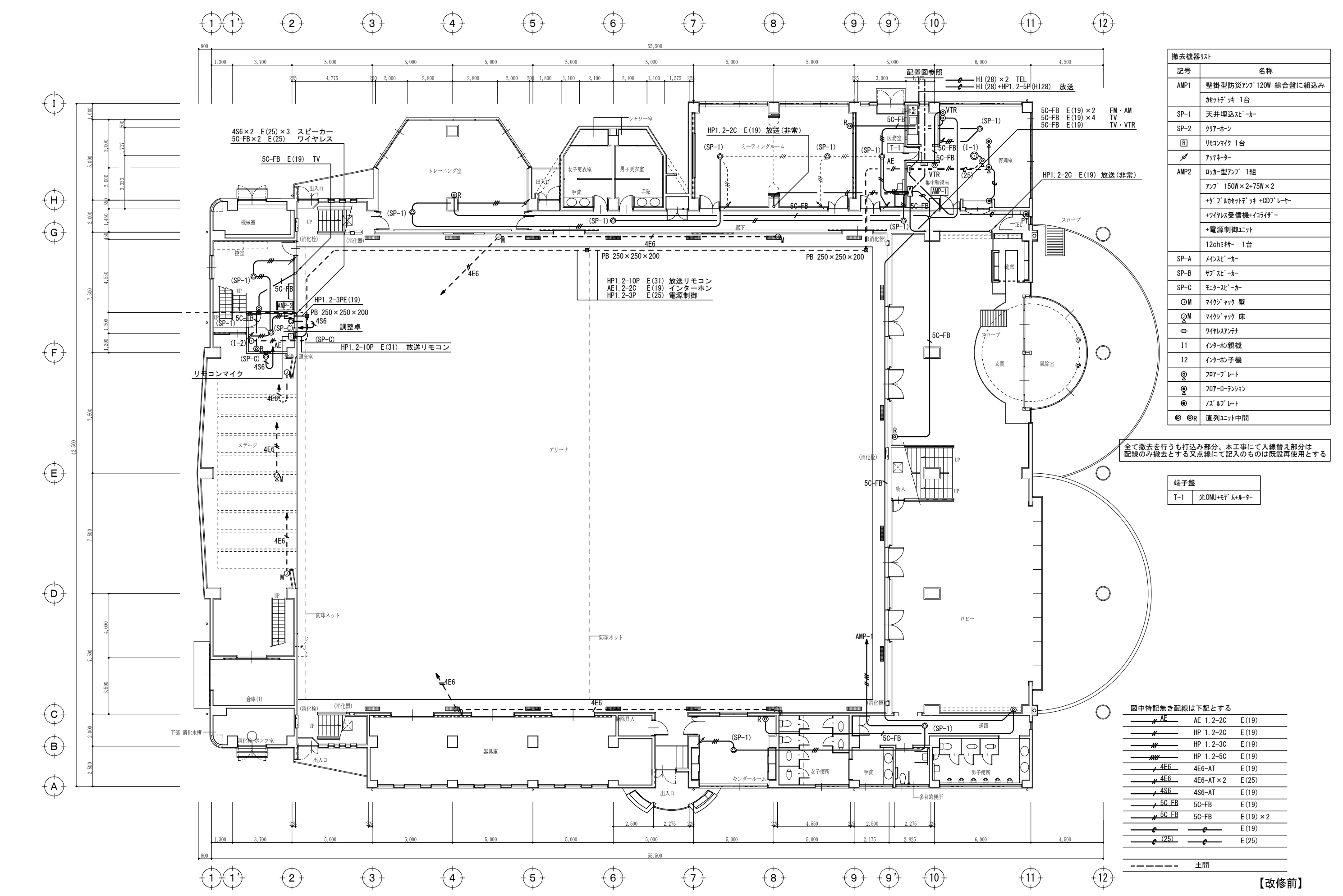
図中記入なき配線は下記とする		
	H	EM-HP1. 2-2C
	H	EM-HP1. 2-3C
	H	EM-HP1. 2-6C
	H(E19)	EM-HP1. 2-3C(E19)
	既	既設(E19)にEM-HP1. 2-2Cを入線
	既	既設(E19)にEM-HP1. 2-3Cを入線
ケーブル工において壁内部はPF管にて保護とする		
点線にて記入のものは既設再使用とする		



型番は参考とする

【改修図】





撤去機器リスト	
記号	名称
AMP1	壁掛型防災アンプ 120W 総合盤に組込み カセットデッキ 1台
SP-1	天井埋込スピーカー
SP-2	クリアホン
図	リモコンマイク 1台
ノ	アタッチター
AMP2	ロッカー型アンプ 1組 アンプ 150W×2+75W×2 +デジタルカセットデッキ+CDプレーヤー +ワイヤレス受信機+コイライザー +電源制御ユニット 12chミキサー 1台
SP-A	メインスピーカー
SP-B	サブスピーカー
SP-C	モニタースピーカー
○M	マイクジャック 壁
○M	マイクジャック 床
⇒	ワイヤレスアテナ
I1	インターホン親機
I2	インターホン子機
⊙	フロアプレート
⊙	フロアローション
⊙	バスプレート
⊙ ⊙R	直列ユニット中間

全て撤去を行うも打込み部分、本工事にて入線替え部分は配線のみ撤去とする又点線にて記入のものは既設再使用とする

端子盤	
T-1	光ONU+モデム+ルーター

図中特記無き配線は下記とする		
AE	AE 1.2-2C	E(19)
HP	HP 1.2-2C	E(19)
HP	HP 1.2-3C	E(19)
HP	HP 1.2-5C	E(19)
4E6	4E6-AT	E(19)
4E6	4E6-AT×2	E(25)
4S6	4S6-AT	E(19)
5C-FB	5C-FB	E(19)
5C-FB	5C-FB	E(19)×2
5C-FB	5C-FB	E(19)
5C-FB	5C-FB	E(25)
5C-FB	5C-FB	E(25)
---	土間	

【改修前】



図中記入なき配線は下記とする			
	H	EM-HP1. 2-2C	放送
	H	EM-HP1. 2-3C	放送
	H	EM-HP1. 2-6C	放送
	H(E19)	EM-HP1. 2-3C(E19)	放送
	既	既設(E19)にEM-HP1. 2-2Cを入線	放送
	既	既設(E19)にEM-HP1. 2-3Cを入線	放送
	既4E6	既設(E19)に4E6を入線	放送
	既4E6	既設(E25)に4E6×2を入線	放送
	C(PF16)	電話	
	CAT6(PF16)	情報	
	CAT6×2(PF22)	情報	
	EM-S-5C-FB	テレビ	
	既	既設(E19)にEM-S-5C-FBを入線	テレビ
	EM-AE1. 2-2C	テレビ呼出	
	EM-AE1. 2-3C	テレビ呼出	
	AE既	既設(E19)にEM-AE1. 2-2Cを入線	インターネット

ケーブル工事において壁内部はPF管にて保護とする

点線にて記入のものは既設再使用とする

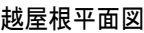
図中4E6. 4S6はエケーブルとする

端子盤	
T1-A	ハフ 収納函 壁掛型換気付 400×500×120程度 コンセント1ヶ収納
T1-B	ハフ 収納函 壁掛型換気付 400×500×120程度 コンセント1ヶ収納
T2-A	ハフ 収納函 壁掛型換気付 400×500×120程度 コンセント1ヶ収納

151	150×150×100
221	200×200×100
332	300×300×200
442	400×400×200

※1	カバープレート取付
※2	フューエルタンクを設け既設と接続 フューエルプレート取付

【改修図】



【特記事項】

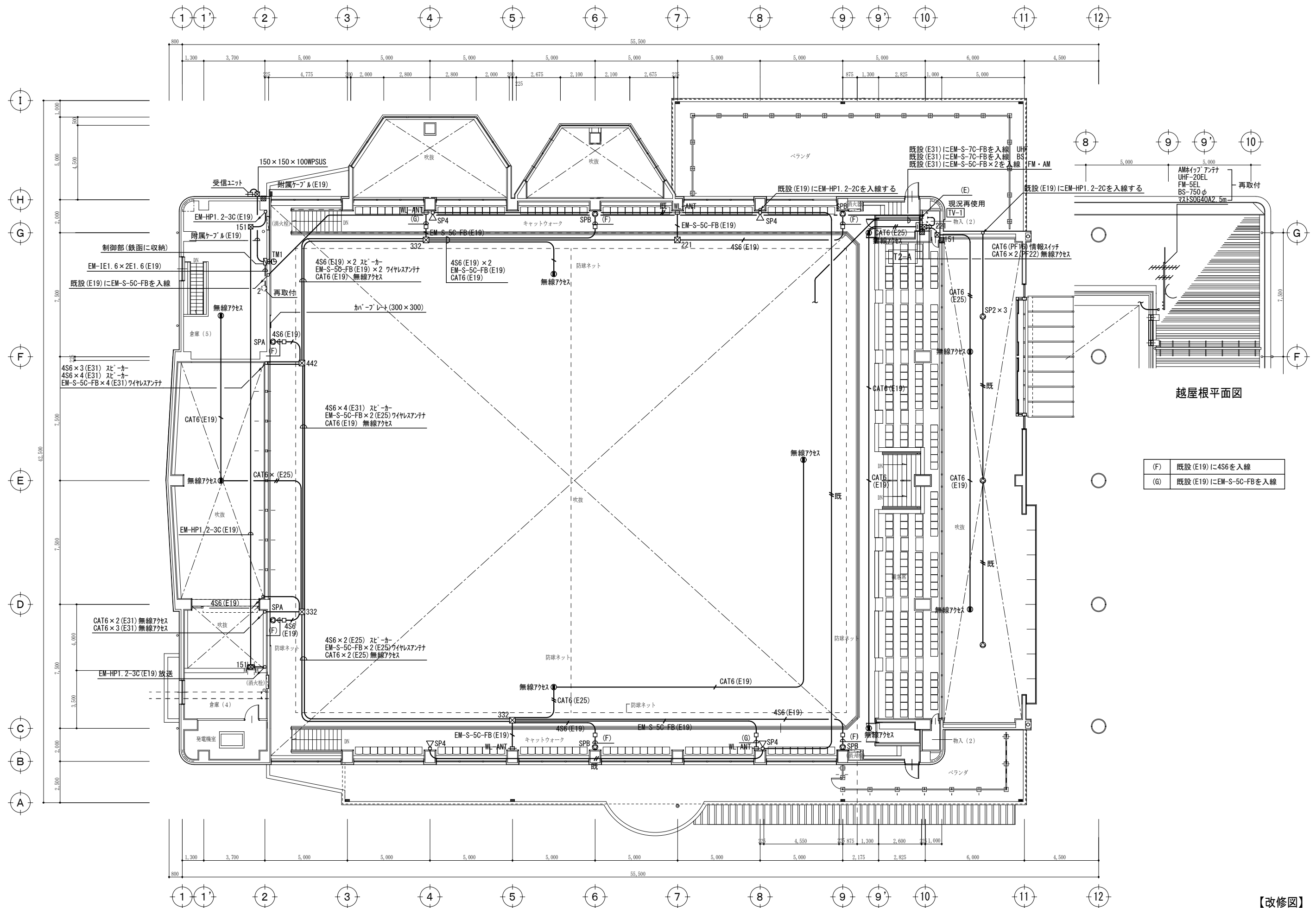
西 沢 建 築 設 計 事 務 所
一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）

弱電設備 改修前
2階平面図

A2 : 1/150 A3 : 1/211

E — 25-1



【改修図】

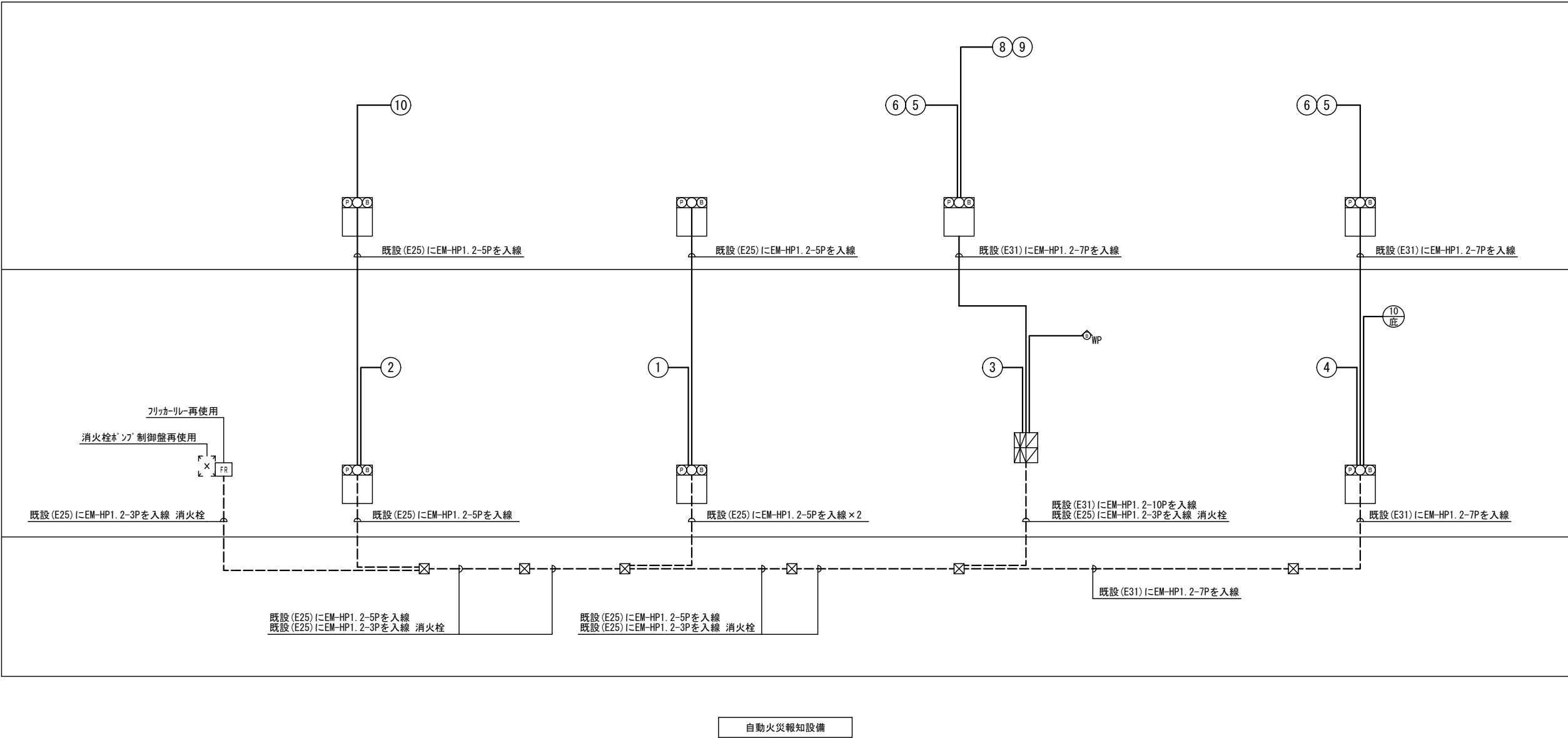
西 沢 建 築 設 計 事 務 所

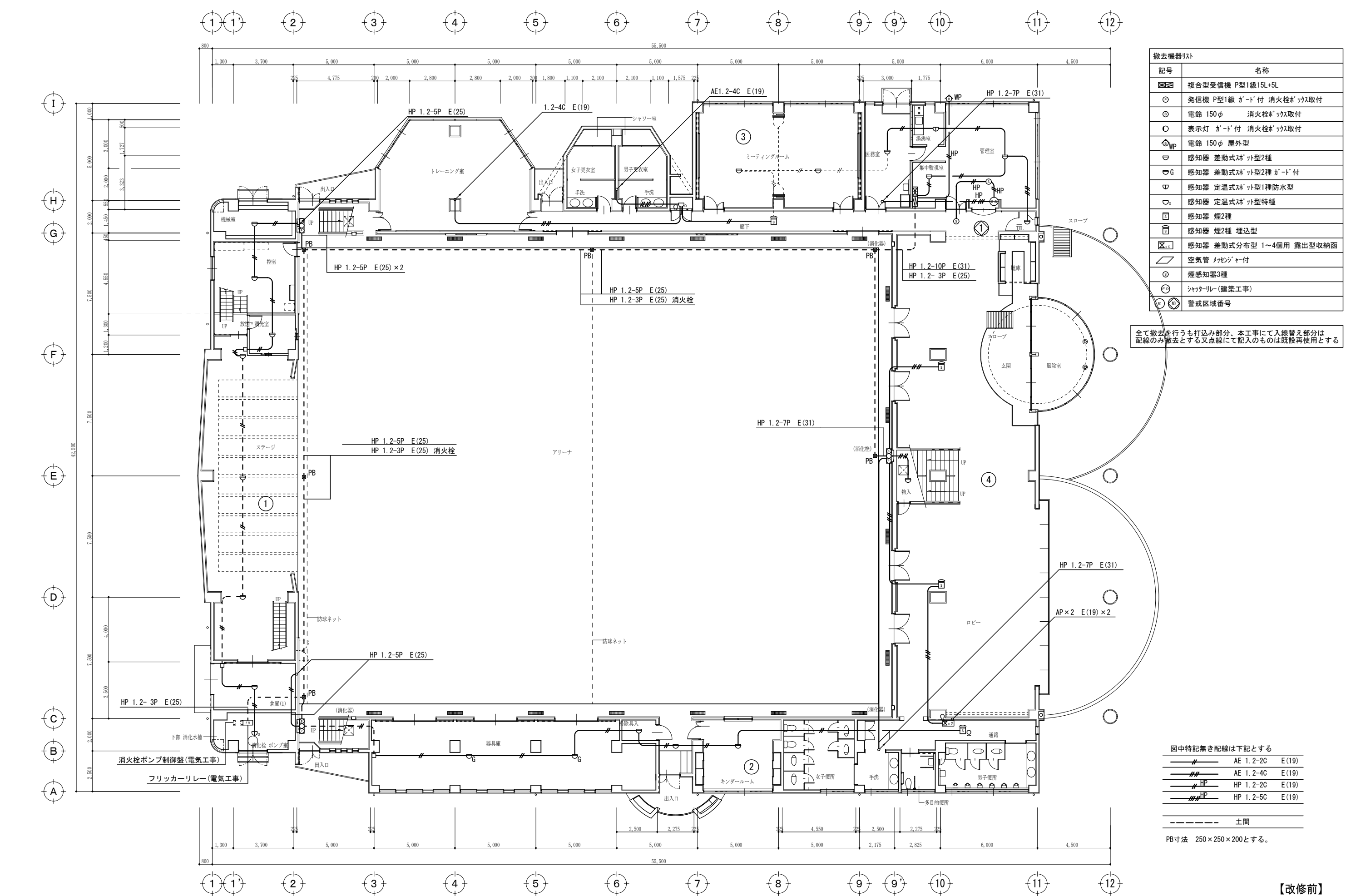
一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

弱電設備 改修後
2階平面図

E — 25-2

記号	名称
	複合型受信機 P型1級15L+5L
	発信機 P型1級 ｶﾞｰﾄﾞ付 消火栓ﾎﾞｯｸｽ取付
	電鈴 150φ 消火栓ﾎﾞｯｸｽ取付
	表示灯 ｶﾞｰﾄﾞ付 消火栓ﾎﾞｯｸｽ取付
	電鈴 150φ 屋外型
	感知器 差動式ｽﾎﾟｯﾄ型2種
	感知器 差動式ｽﾎﾟｯﾄ型2種 ｶﾞｰﾄﾞ付
	感知器 定温式ｽﾎﾟｯﾄ型1種防水型
	感知器 煙2種
	感知器 煙2種 埋込型
	感知器 差動式分布型 1～4個用 露出型収納函
	空気管 ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰ付
	煙感知器3種
	ｼｬｯﾀｰﾘｰﾙ (建築工事)
	警戒区域番号



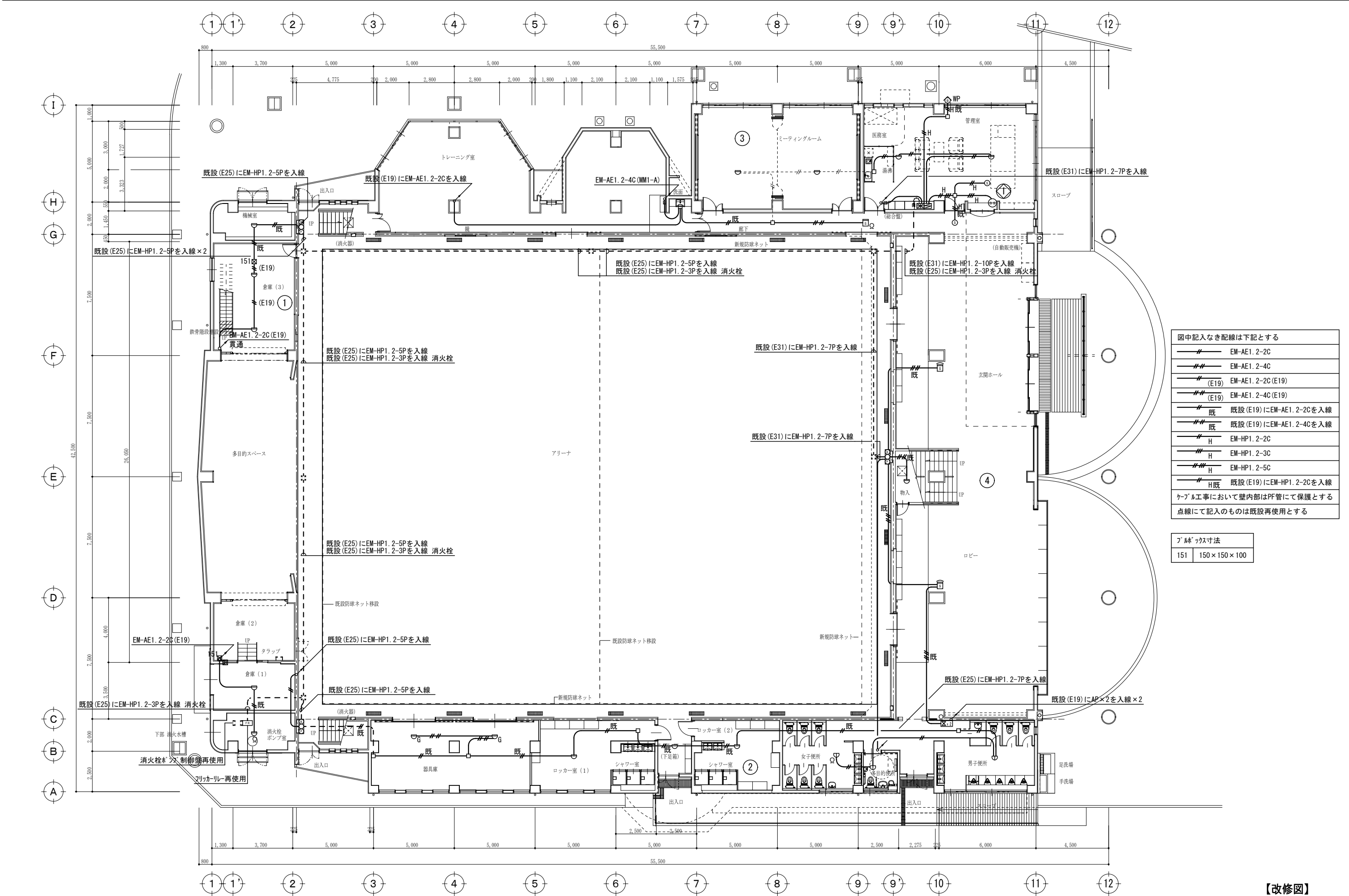


撤去機器リスト	
記号	名称
	複合型受信機 P型1級15L+5L
	発信機 P型1級 ガード付 消火栓ボックス取付
	電鈴 150φ 消火栓ボックス取付
	表示灯 ガード付 消火栓ボックス取付
	電鈴 150φ 屋外型
	感知器 差動式棒型2種
	感知器 差動式棒型2種 ガード付
	感知器 定温式棒型1種防水型
	感知器 定温式棒型1種特種
	感知器 煙2種
	感知器 煙2種 埋込型
	感知器 差動式分布型 1〜4個用 露出型収納函
	空気管 メッセンジャー付
	煙感知器3種
	シャッターリレー(建築工事)
	警戒区域番号

全て撤去を行うも打込み部分、本工事にて入線替え部分は配線のみ撤去とする又点線にて記入のものは既設再使用とする

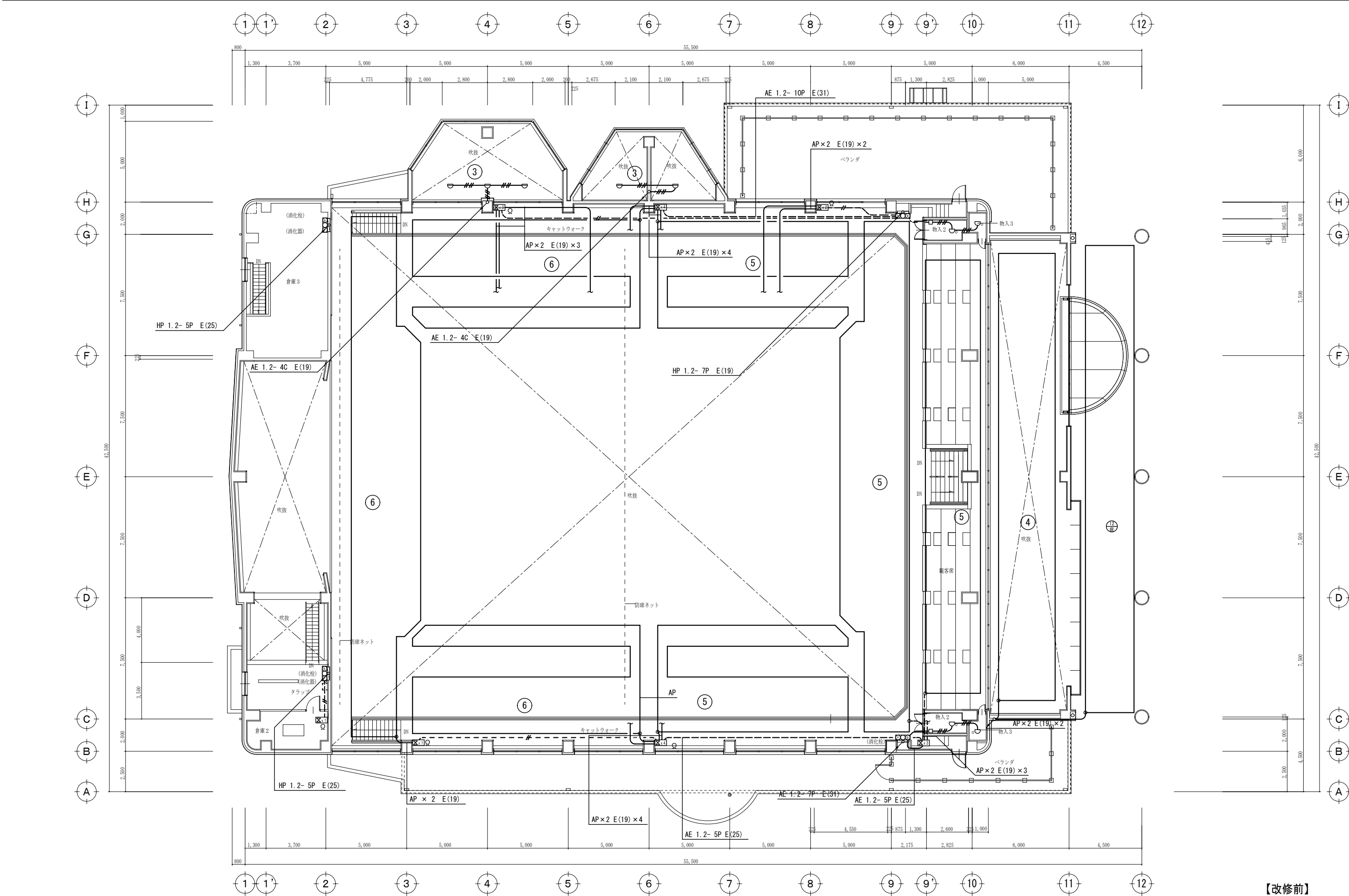
図中特記無き配線は下記とする	
	AE 1.2-2C E(19)
	AE 1.2-4C E(19)
	HP 1.2-2C E(19)
	HP 1.2-5C E(19)
	土間

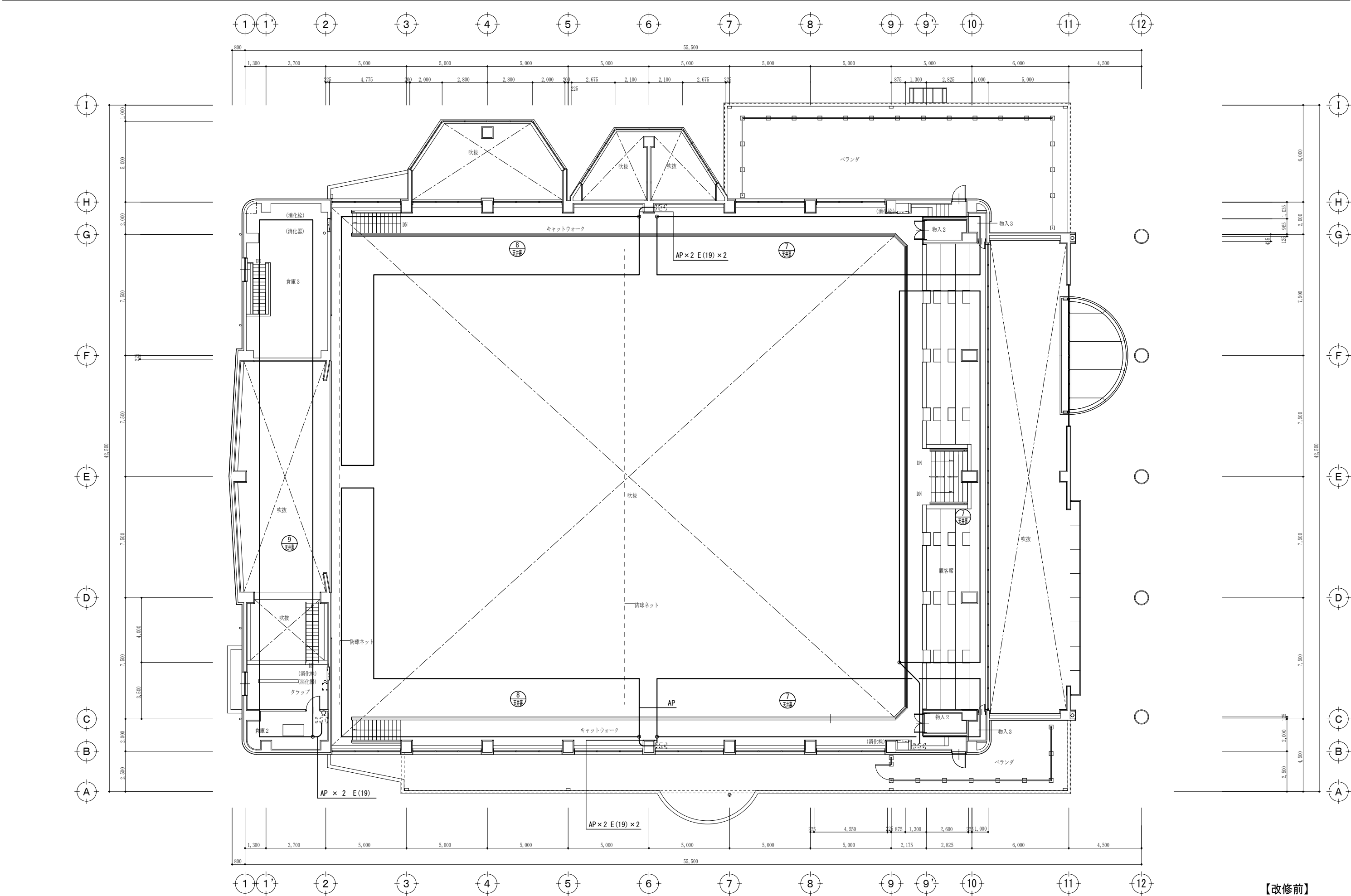
PB寸法 250×250×200とする。



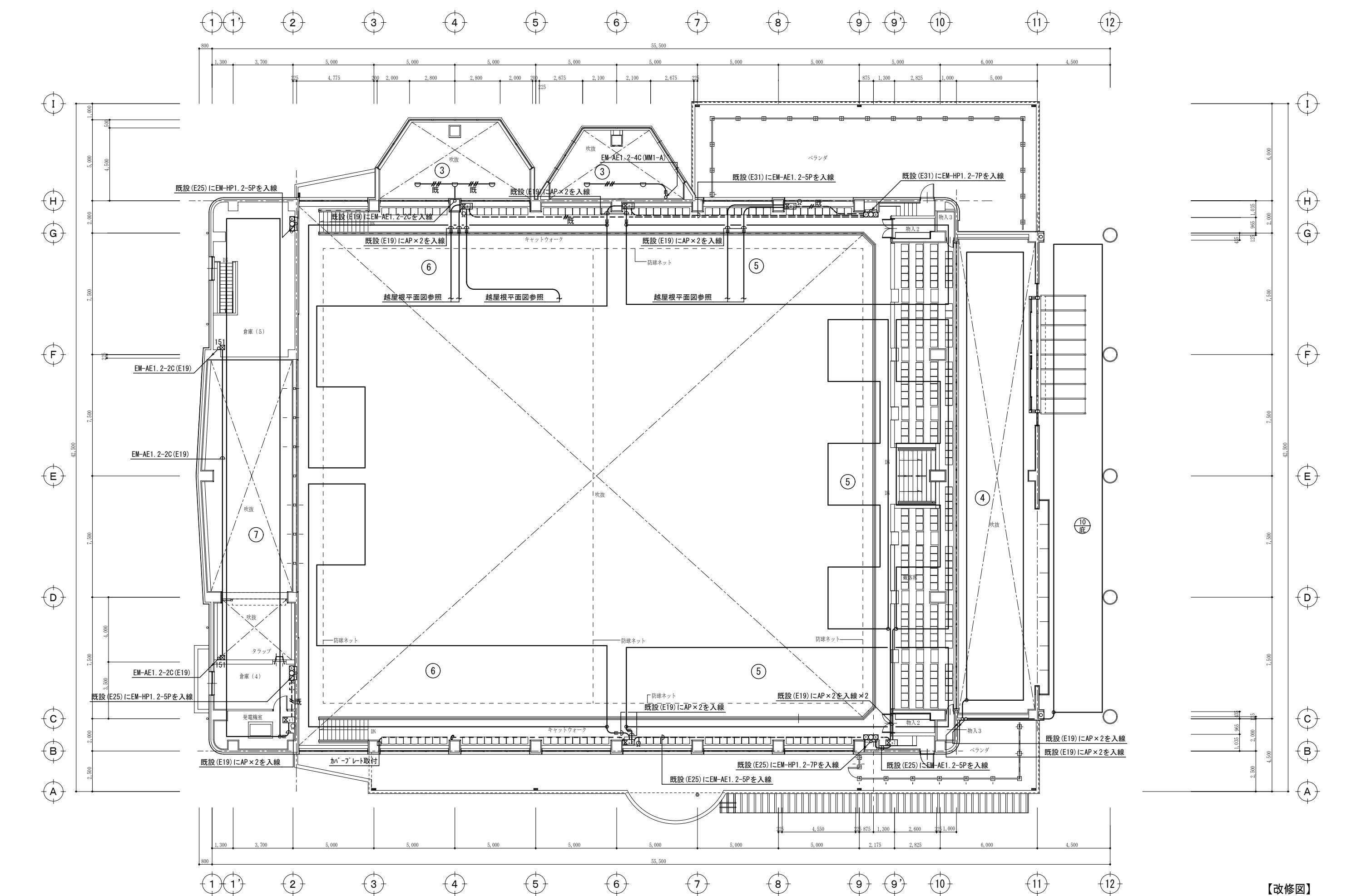
図中記入なき配線は下記とする	
	EM-AE1. 2-2C
	EM-AE1. 2-4C
	EM-AE1. 2-2C (E19)
	EM-AE1. 2-4C (E19)
	既存 (E19) に EM-AE1. 2-2C を入線
	既存 (E19) に EM-AE1. 2-4C を入線
	EM-HP1. 2-2C
	EM-HP1. 2-3C
	EM-HP1. 2-5C
	既存 (E19) に EM-HP1. 2-2C を入線
ケーブル工において壁内部はPF管にて保護とする	
点線にて記入のものは既設再使用とする	

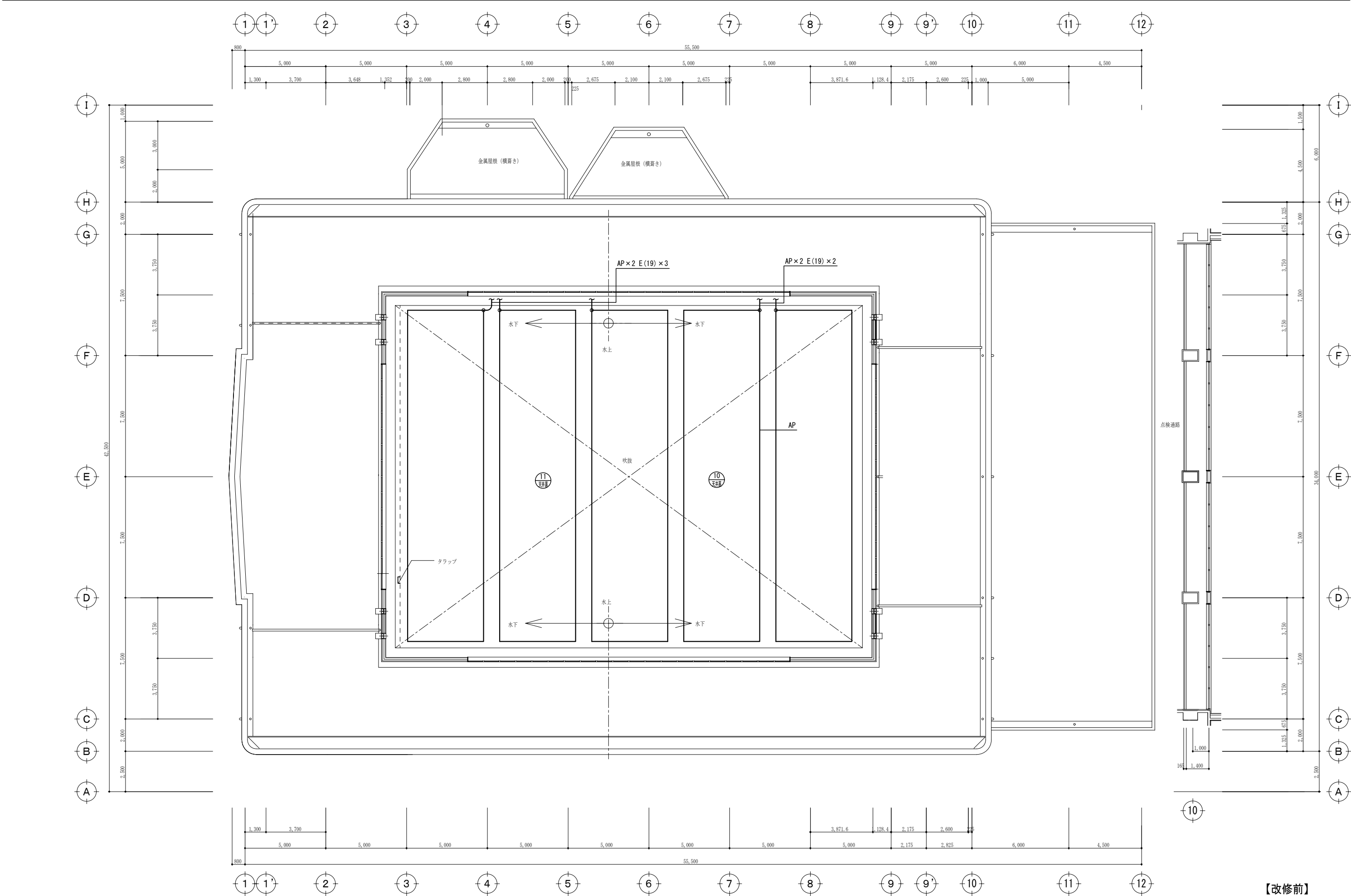
ブロック寸法	
151	150×150×100



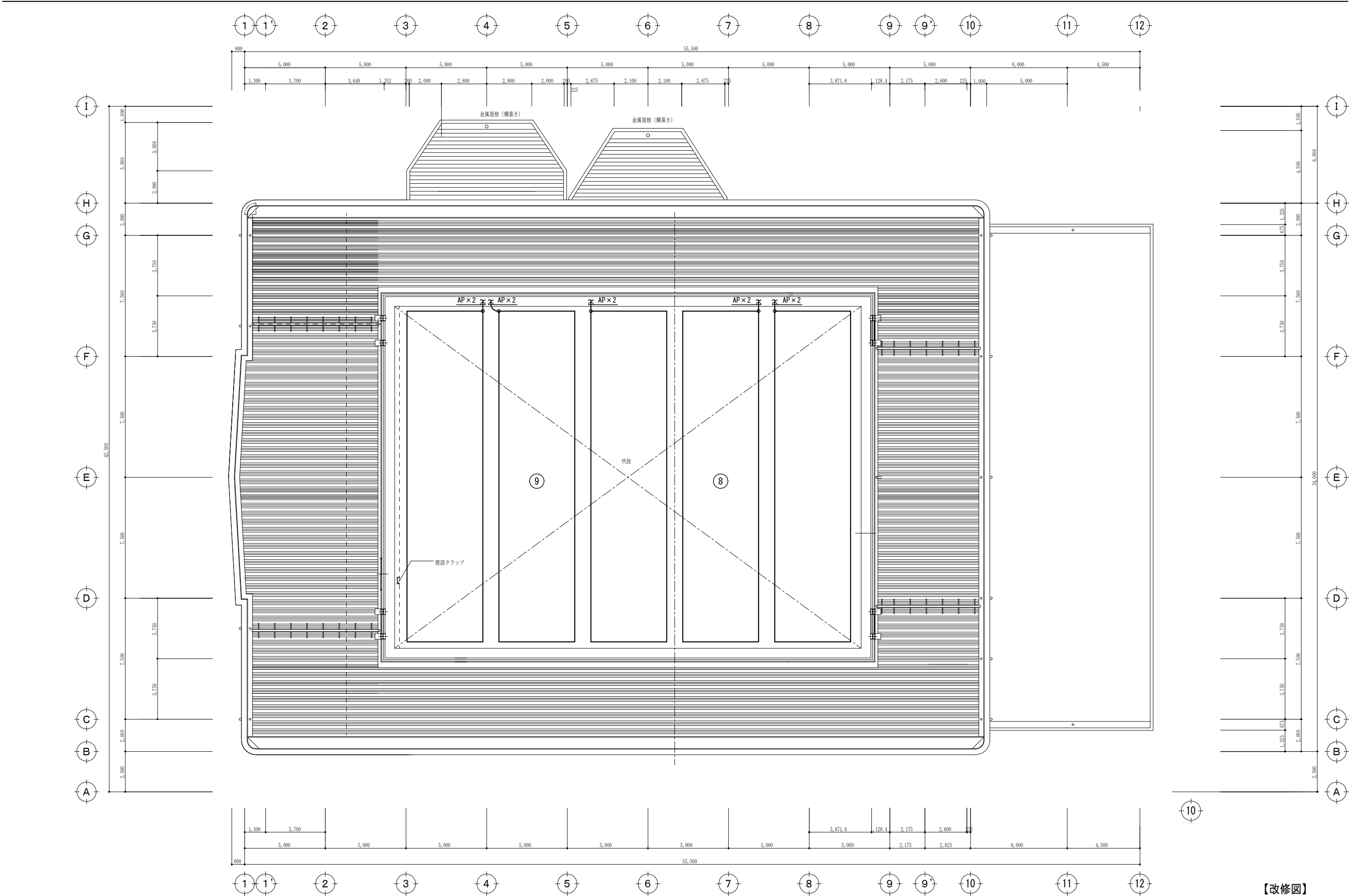


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	自動火災報知設備 改修前	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 28-2
			2階平面図(2)		

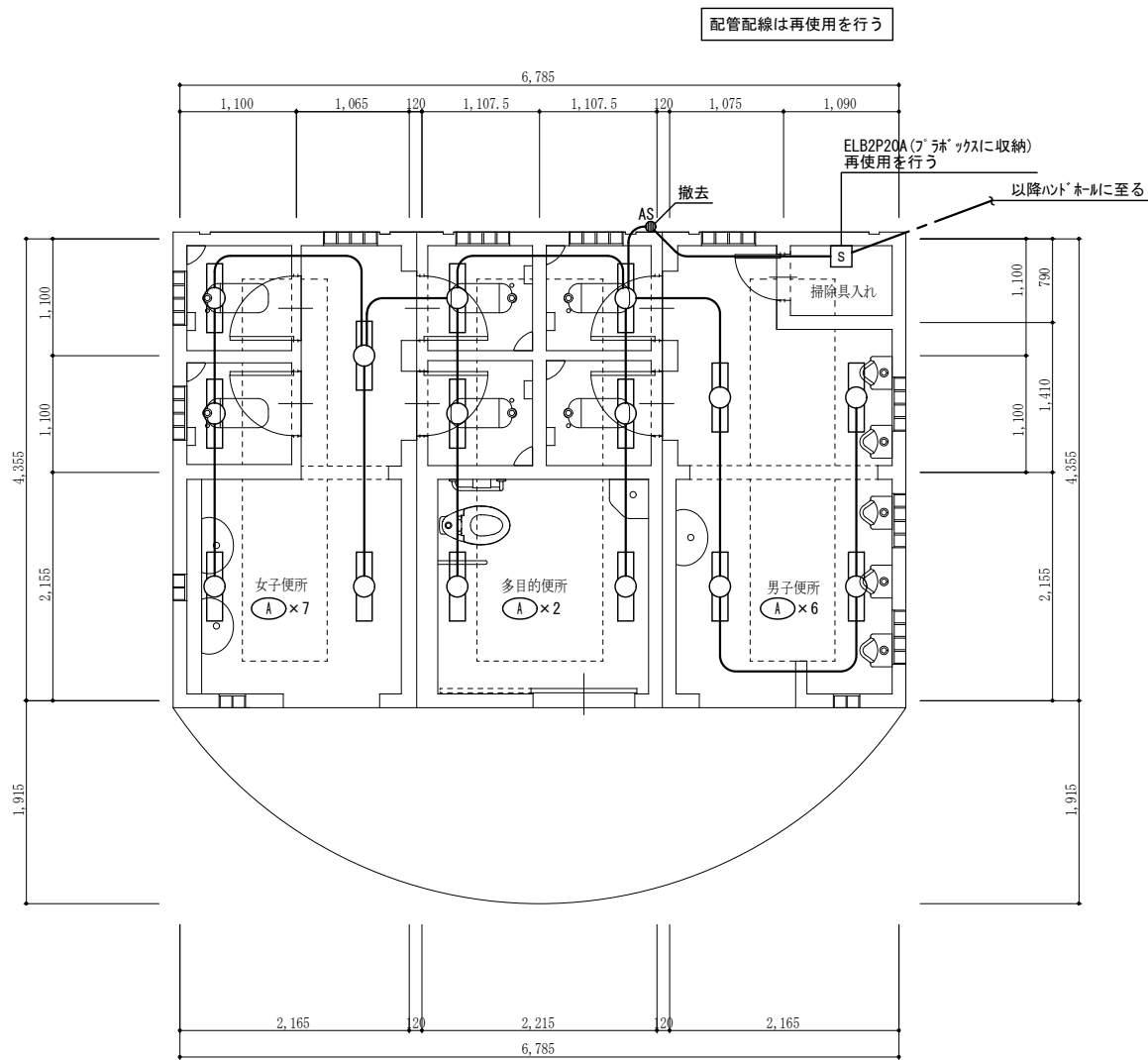




【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	自動火災報知設備 改修前	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 29-1
			越屋根平面図		

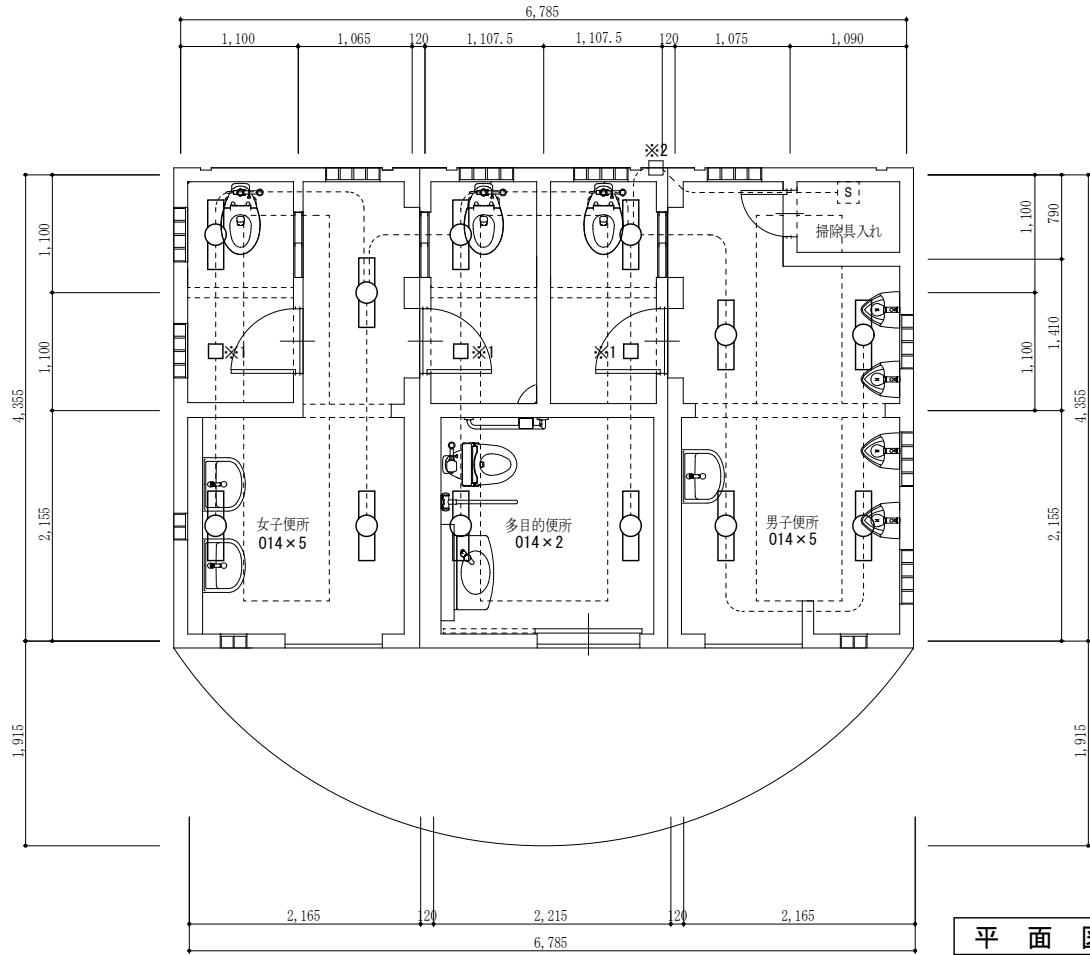


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	自動火災報知設備 改修後	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 29-2
			越屋根平面図		



平面図 1/50

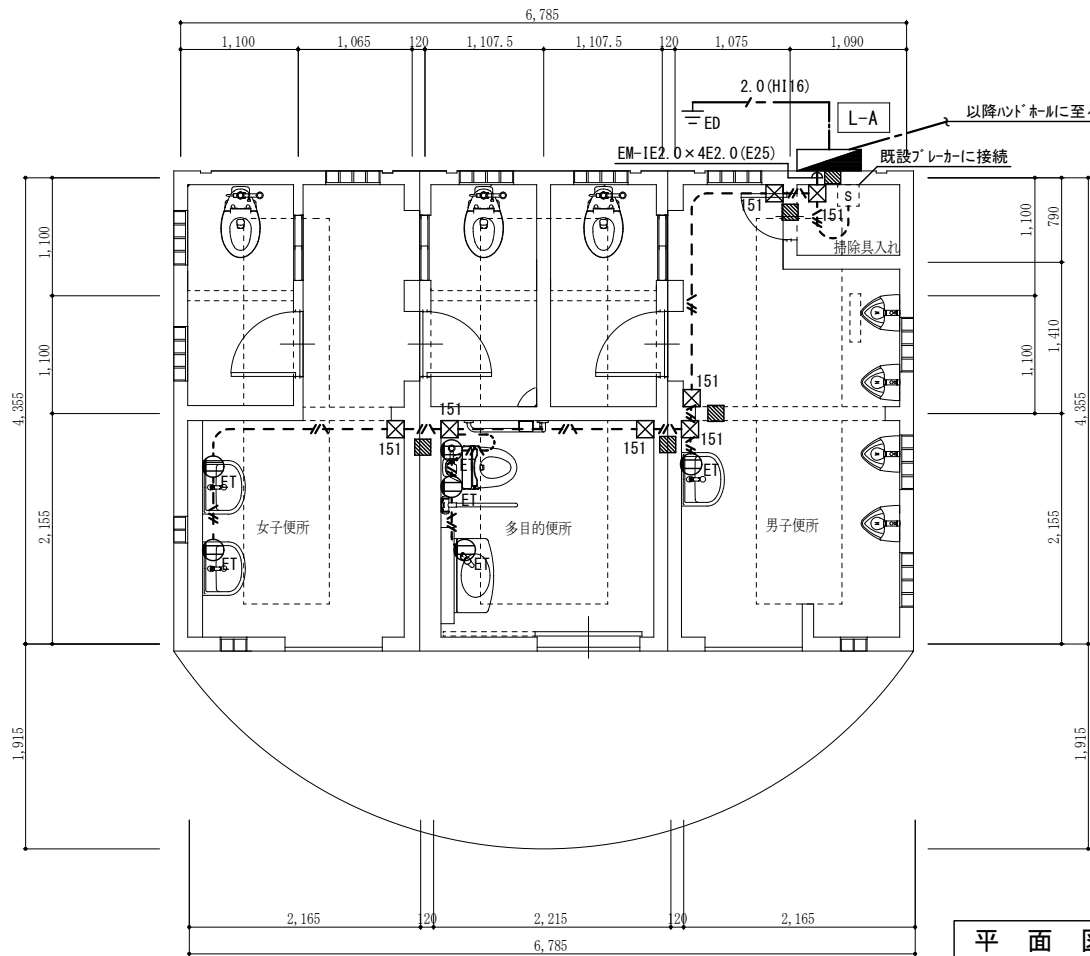
撤去照明器具リスト	
A	FL20W x 1 直付



平面図 1/50

点線にて記入のものは既設再使用を示す

※1	カバー' 'レ-ト取付
※2	カバー' 'レ-ト(防雨型) 取付

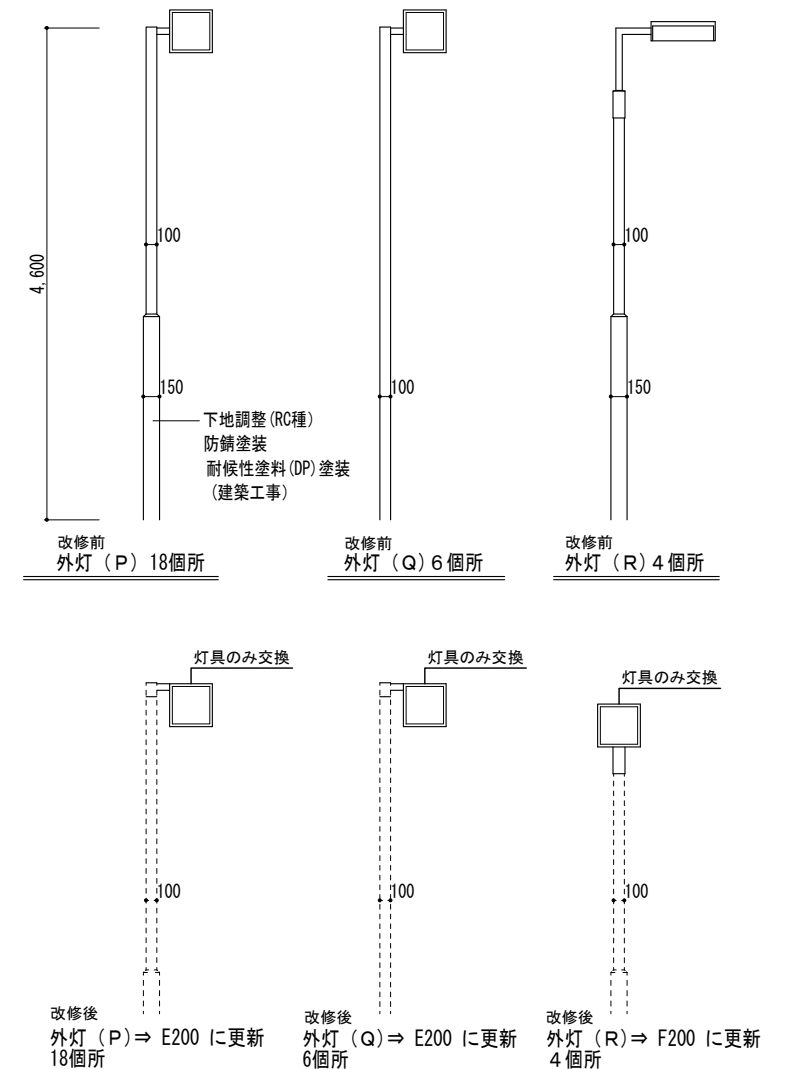
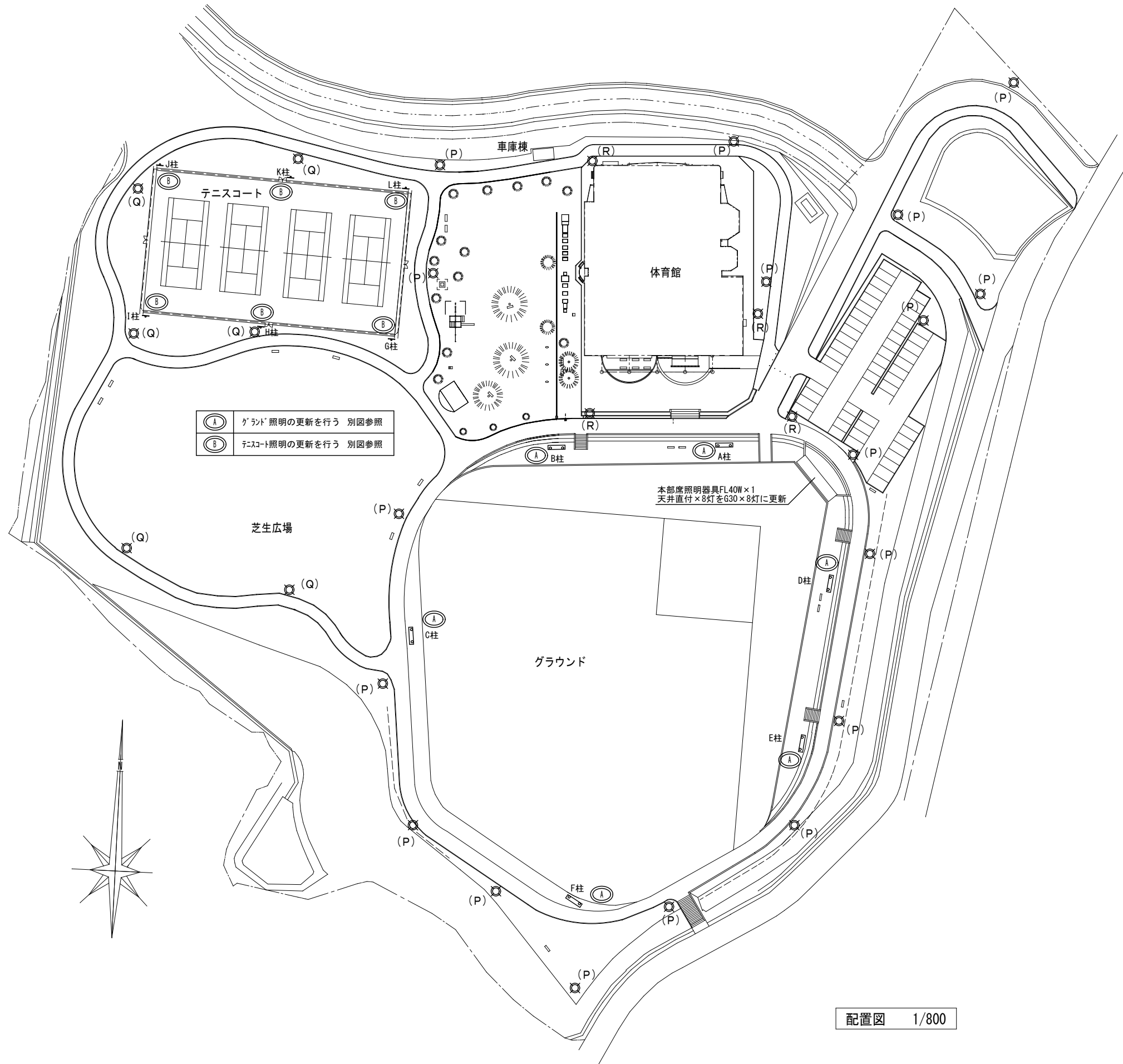


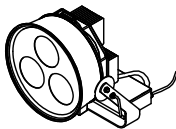
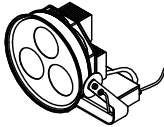
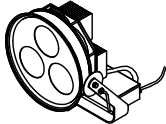
平面図 1/50

貫通補修を示す

ブ' '跡' 'ックス寸法	
151	150 x 150 x 100

図中記入なき配線は下記とする
--- EM-1E2.0 x 2E2.0(E19)

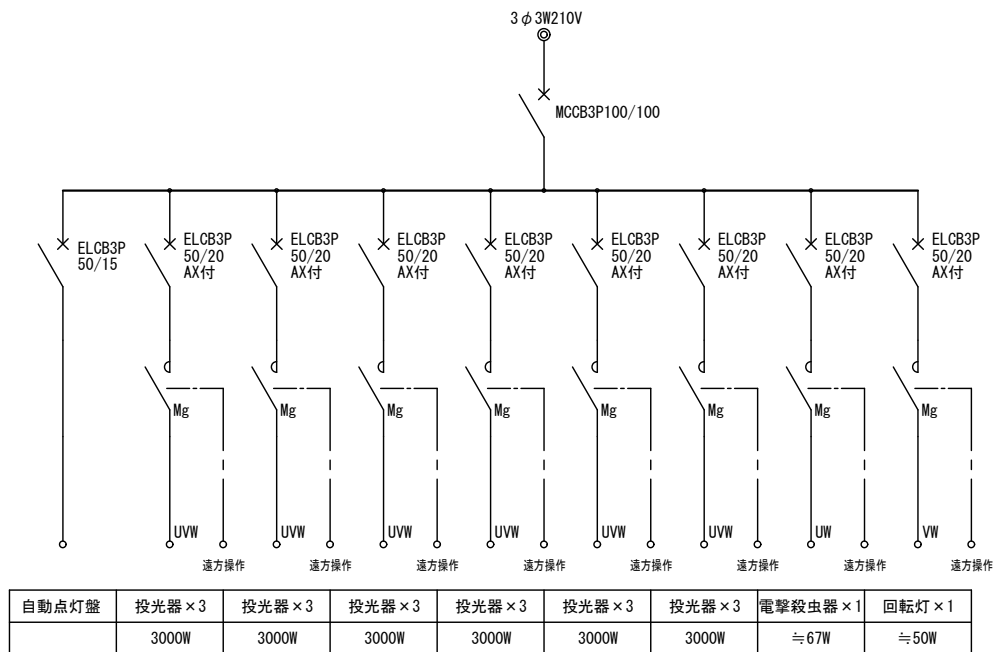


			
A500	LED 56400lm 消費電力499W 5000K 狭角形 LPJ1N-500	B500	LED 62501lm 消費電力499W 5000K 中角形 LPJ1M-500
		 FL30SBL×2 天板：ステンレス（ダークグレー） 取付金具：ステンレス製 保護カバー：丸棒（ステンレス） ビニールコーティング（黒） コンクリート柱 TEK-30226-SL27	
C500	LED 65000lm 消費電力499W 5000K 広角形 LPJ1W-500	D67	電撃殺虫器
 LED（昼白色） 寸法：幅口400×高520（灯具） 本体：ステンレス ガラス：透明強化ガラス 本体色：ダークブラウン 相關色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：70 適合ポール：□90 LED街路灯 屋外用 防雨形 LEDG-10411+POLE		 LED（昼白色） 寸法：幅口400×高520（灯具） 本体：ステンレス ガラス：透明強化ガラス 本体色：ダークブラウン 相關色温度：5000K 平均演色評価数（Ra）：70 適合ポール：□90 LED街路灯 屋外用 防雨形 LEDG-10412+JAT-10017+POLE	
E200	LED 6190lm 消費電力75.8W 灯具のみ取替	F200	LED 7000lm 消費電力75.8W 灯具のみ取替
			
G30	LED 3200lm 消費電力19.5W 5000K LSS9-4-30		

照明器具姿図

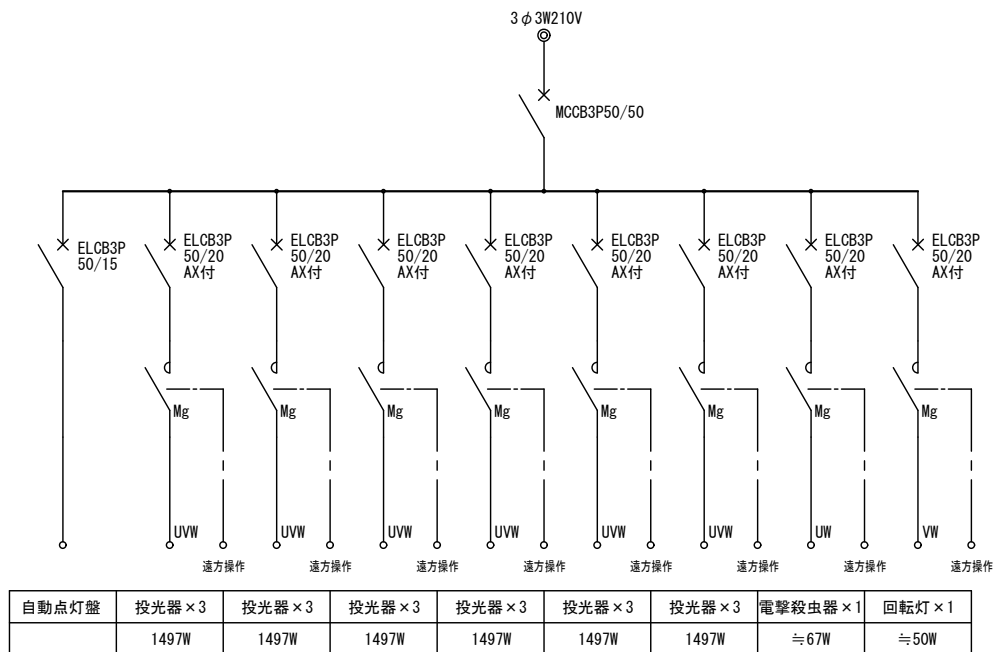
改修後

型番は参考とする



既設A柱分電盤

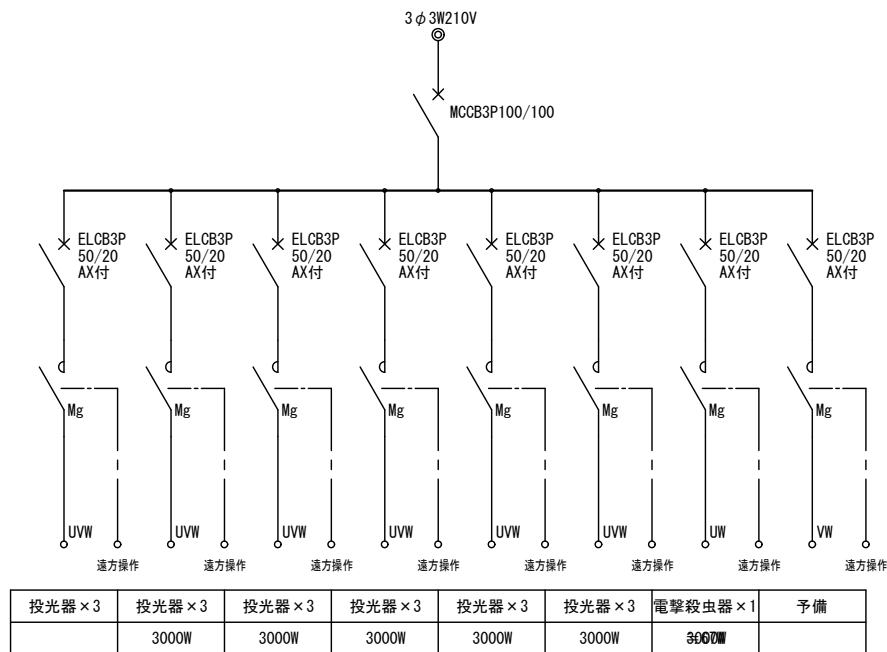
撤去



P-LA

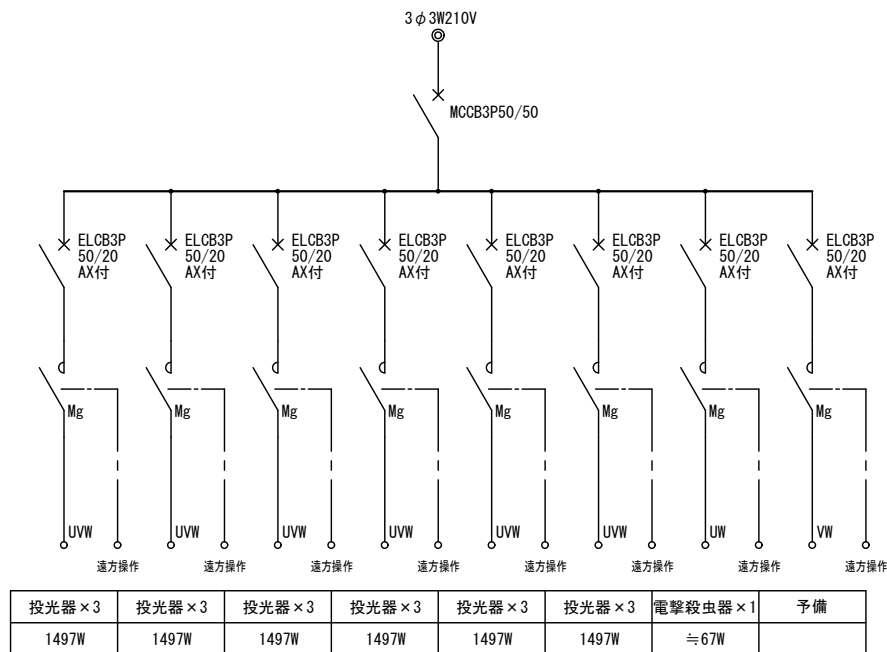
1面

屋外型 ステンレス製
計=9099VA



既設B, C, D, E, F柱分電盤

撤去



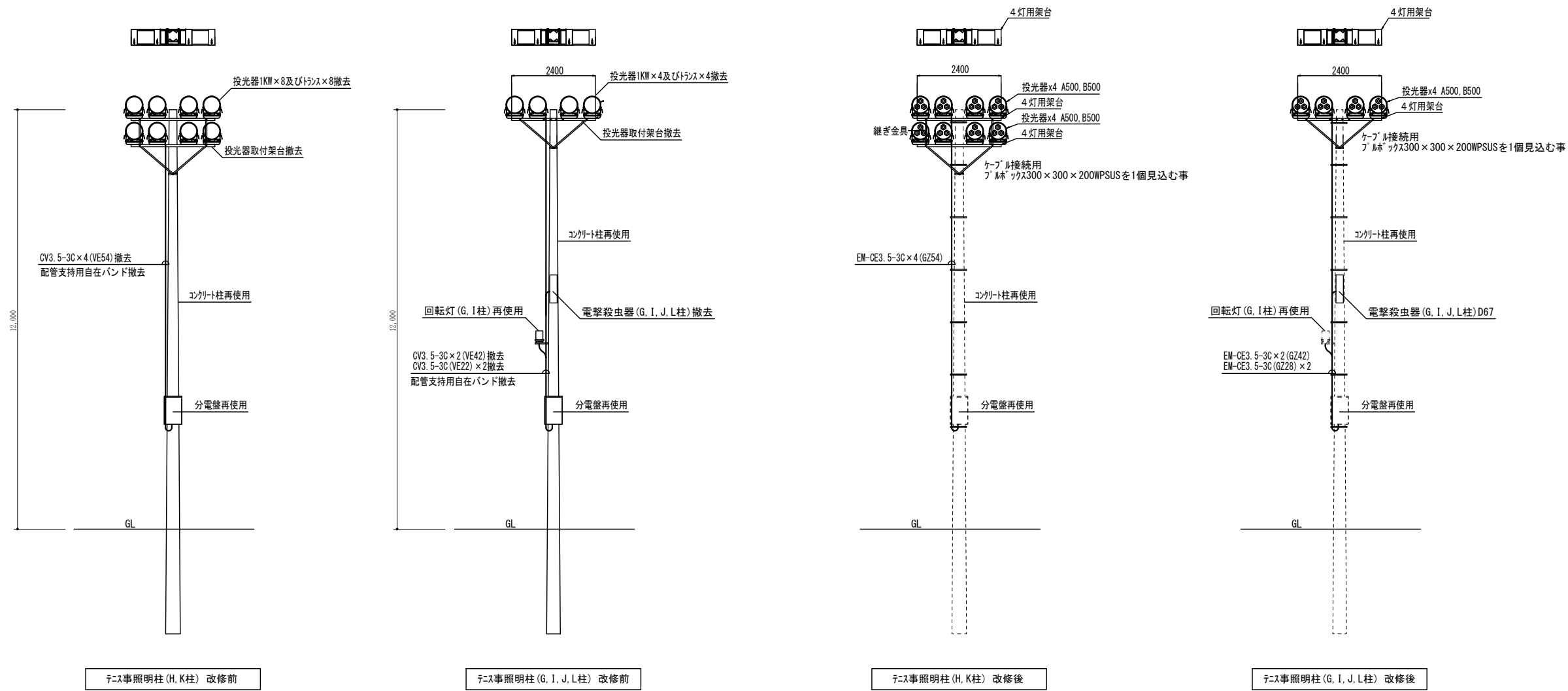
P-LB

5面

屋外型 ステンレス製
計=9049VA

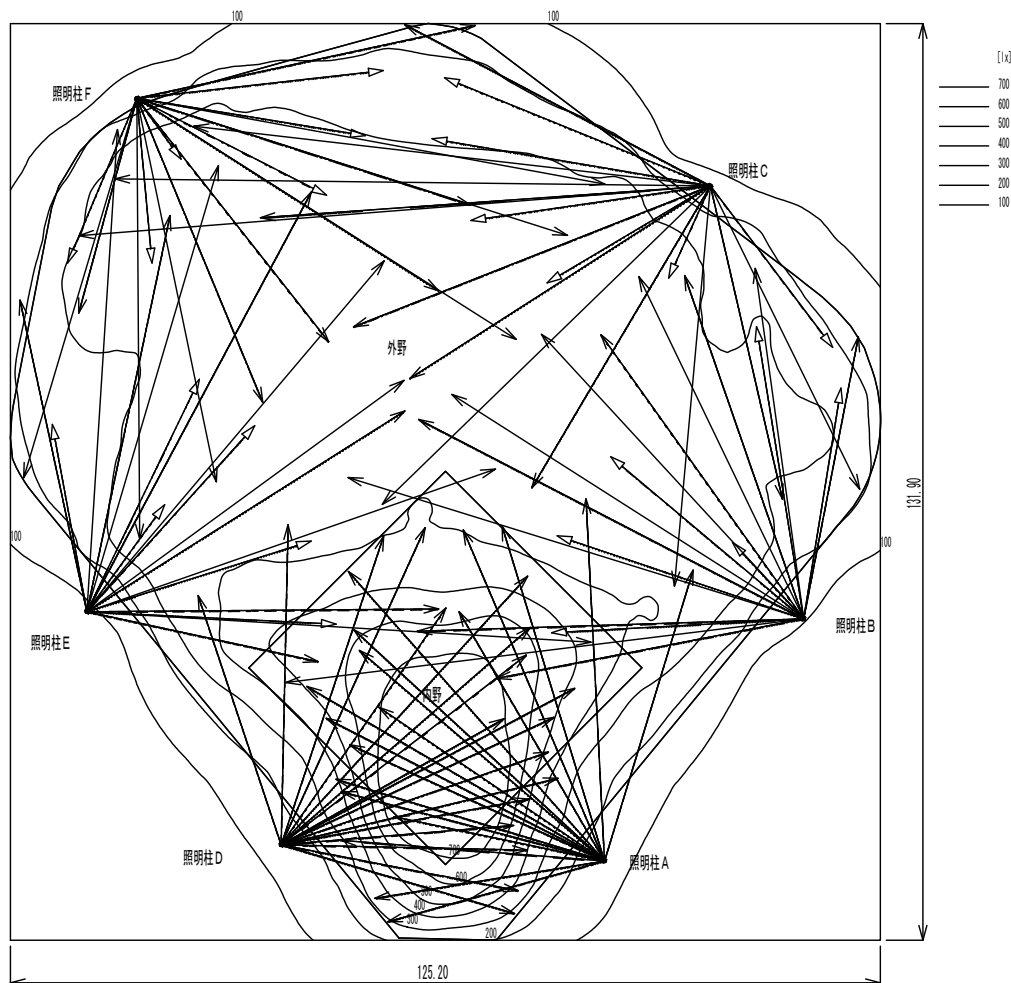
【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事）	屋外照明器具姿図 改修後		E — 32
			分電盤結線図	A2 : N・S A3 : N・S	



照明器具リスト			
	A500 (挟角)	B500 (中角)	D67
G柱	3	1	1
H柱	2	6	
I柱	3	1	1
J柱	3	1	1
K柱	2	6	
L柱	3	1	1

注記
分電盤及び1次側配線、操作線、接地線は既設を再使用とする
分電盤2次側配線は既設と同様の点滅回路となるよう施工を行う
照明器具、架台 (溶融亜鉛メッキ)、2次側配線の更新を行う
点線にて記入のものは既設再使用とする

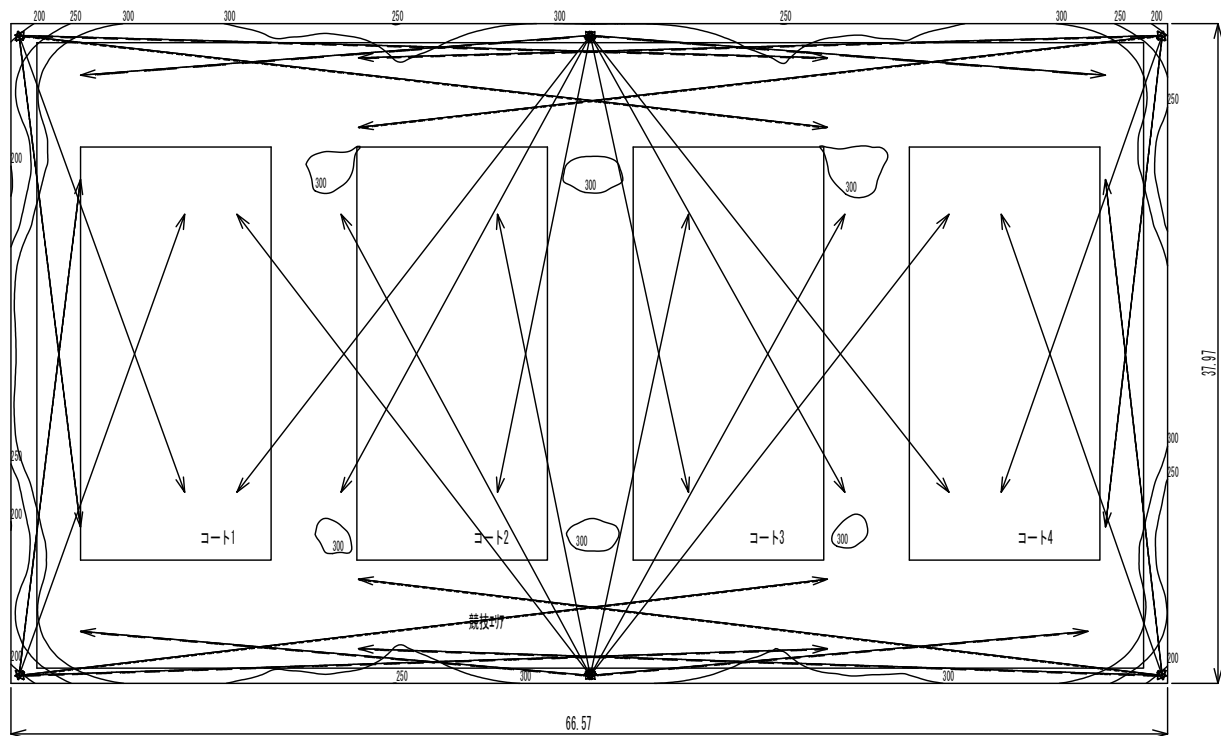


JIS照度基準
内野：500lx、外野：300lx
①硬式野球：競技区分Ⅲ：学校体育又はリクレーション、一般のトレーニング
②軟式野球：競技区分Ⅱ：一般的な運動競技会や高水準のトレーニング

記号	照明器具名	全光束〔lm〕	保守率	台数	器具高さ
→	【1kW相当狭角】LPJ1W-500	56400	0.81	24	21.500
→	【1kW相当中角】LPJ1W-500	62500	0.81	60	19.900～21.500
→	【1kW相当広角】LPJ1W-500	65000	0.81	24	19.900

	平均値 〔lx〕	最大値 〔lx〕	最小値 〔lx〕	均斉度		
				平均/最大	最小/平均	最小/最大
全体	368	885	163	0.42	0.44	0.18
内野	596	885	353	0.67	0.59	0.40
外野	328	786	163	0.42	0.50	0.21

磯部ふれあい公園 グラウンド照明 照度分布図
参考図

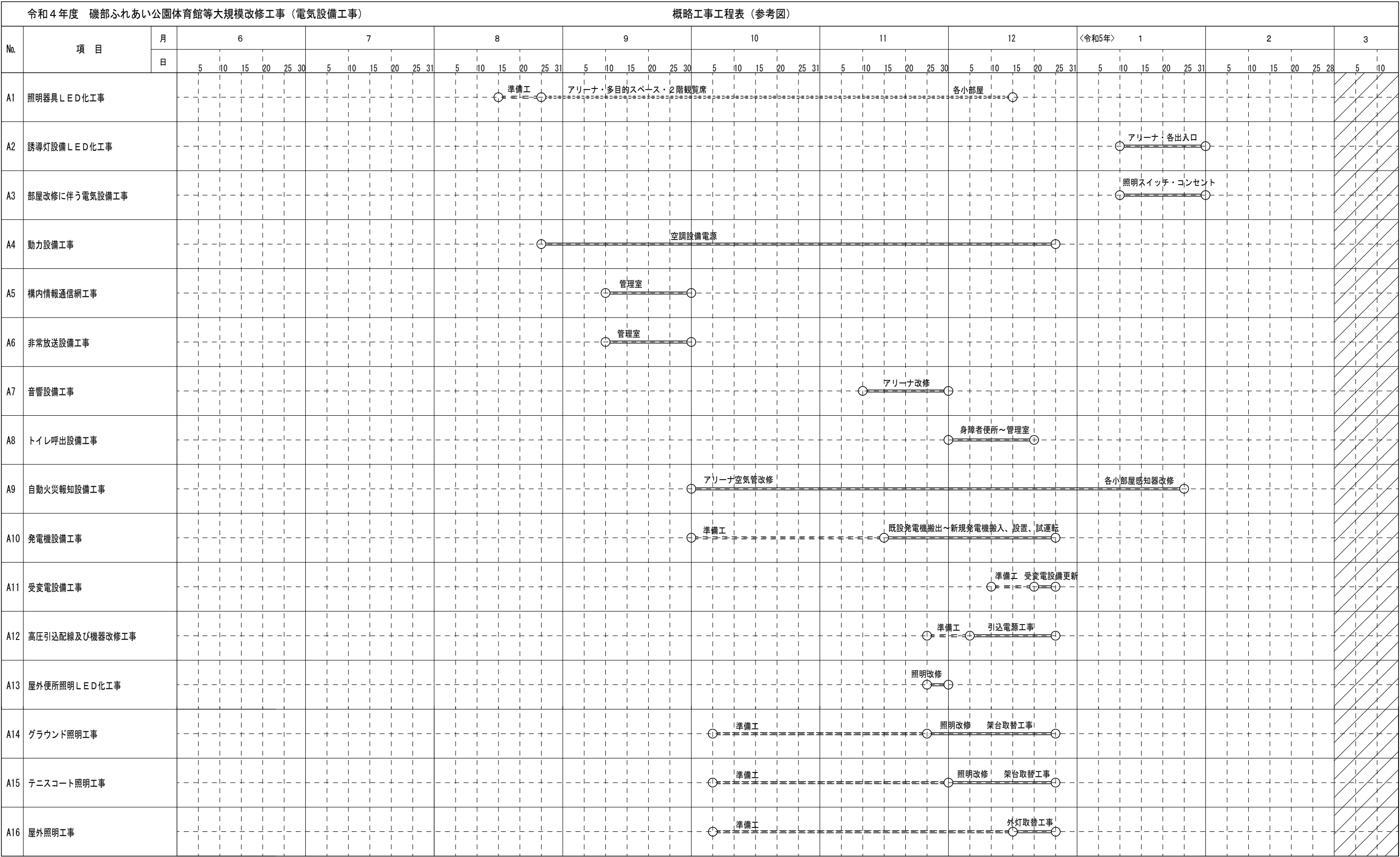


記号	照明器具名	全光束〔lm〕	保守率	台数	器具高さ
→	【1kW相当中角】LPJ1W-500	62500	0.81	16	12.000～12.750
→	【1kW相当狭角】LPJ1W-500	56400	0.81	16	12.000

● テニスコート 300lx 以上

	平均値 〔lx〕	最大値 〔lx〕	最小値 〔lx〕	均斉度		
				平均/最大	最小/平均	最小/最大
競技場7	389	599	243	0.65	0.62	0.40
コート1	388	543	301	0.71	0.78	0.56
コート2	447	599	301	0.75	0.67	0.50
コート3	447	596	304	0.75	0.68	0.51
コート4	387	544	301	0.71	0.78	0.55

磯部ふれあい公園 テニスコート照明 照度分布図
参考図



※ 9月～12月 は野球場・テニスコートの工事期間とする。体育館周囲仮囲い以外の屋外改修工事はその間に完了すること。